

注3

大学番号：067

[令和2年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

意見伺い

徳島大学大学院 創成科学研究科

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人徳島大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 課長 津川 咲子
法規係長 岡部 徹也

電話番号 088-656-7010

（夜間） 088-656-7010

F A X 088-656-7012

e-mail houkic@tokushima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院創成科学研究科

<地域創成専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	45
<臨床心理学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	48
2. 授業科目の概要	52
3. 施設・設備の整備状況、経費	59
4. 既設大学等の状況	60
5. 教員組織の状況	63
6. 附帯事項等に対する履行状況等	93
7. その他全般的事項	94
<理工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	97
2. 授業科目の概要	101
3. 施設・設備の整備状況、経費	109
4. 既設大学等の状況	110
5. 教員組織の状況	113
6. 附帯事項等に対する履行状況等	144
7. その他全般的事項	145

＜生物資源学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	148
2. 授業科目の概要	152
3. 施設・設備の整備状況、経費	159
4. 既設大学等の状況	160
5. 教員組織の状況	163
6. 附帯事項等に対する履行状況等	193
7. その他全般的事項	194

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 徳島大学

(2) 大学名

徳島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒770-8502

徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

(本部：〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ノジ スミハレ) 野地 澄晴 (平成28年4月)		
理事 副学長	(カワムラ ヤスヒコ) 河村 保彦 (令和2年4月)		
	(ササキ タクヤ) 佐々木 卓也 (平成29年4月)		
	(ヨシダ カズフミ) 吉田 和文 (平成28年4月)		
	(タムラ コウイチ) 田村 耕一 (令和2年4月)		
研究科長	(ハシヅメ マサキ) 橋爪 正樹 (令和2年4月)		
地域創成専攻長	(タカハシ シンイチ) 高橋 晋一 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
大学院創成科学研究科 地域創成専攻 修士（学術）	文学関係 社会学・社会 福祉学関係	2年	16人	該当なし	32人	総合科学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	16人 16 (—) [—]	— (—) [—]	0.68倍	一倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	13 [6]	— [—]			
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	13 [6]	— [—]			
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	13 [6]	— [—]			
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	11 [6]	— [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		0.68				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	11 [6] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	11 人	0 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<p>【研究科共通科目】 ・採用予定教員の都合による変更。(科目:「ビジネスモデル特論」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。)</p> <p>【専攻専門科目】 ・担当教員他大学転出に伴う就任辞退のため変更。(科目:「グローバル社会特論」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に、専任教員の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任教員を令和2年10月1日採用予定。令和2年3月 専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)申請中。)</p> <p>【学位論文指導科目】 ・担当教員他大学転出に伴う就任辞退のため変更。(科目:「地域創成特別演習」の専任教員の配置を「准教授21」から「准教授20」に変更。後任教員を令和2年10月1日採用予定。令和2年3月 専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)申請中。)</p> <p>【教育クラスター科目・理工学専攻】 ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「デザイン思考演習」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「7」に変更。) ・採用予定教員自己都合の理由による変更。(科目:「リスクコミュニケーション」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「10」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「防災危機管理実習」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「行政・企業のリスクマネジメント」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「12」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「ミチゲーション工学」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「5」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「自然言語理解」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「言語モデル論」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。)</p> <p>【教育クラスター科目・生物資源学専攻】 ・教員の都合による変更。(科目:「創薬科学特論」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。) ・教員の都合による変更。(科目:「微生物工学特論」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。)</p>

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	223 科目	0 科目	229 科目	6 科目 [0]	223 科目 [0]	0 科目 [0]	229 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{229} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	その他の内、借地100,403㎡を含む 借用期間：5年			
	校舎敷地	253,688㎡	㎡	㎡	253,688㎡				
	運動場用地	61,908㎡	㎡	㎡	61,908㎡				
	小 計	315,596㎡	㎡	㎡	315,596㎡				
	そ の 他	156,104㎡	㎡	㎡	156,104㎡				
	合 計	471,700㎡	㎡	㎡	471,700㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		171,909㎡ (171,909㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	171,909㎡ (171,909㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	専攻単位で特定不能なため、大学全体の数			
	116室	148室	963室	17室 (補助職員 8 人)	2室 (補助職員 2 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	大学院創成科学研究科 地域創成専攻			37 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点	点
	大学院創成科学研究科 地域創成専攻	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)	専攻単位での特定不能なため、大学全体の数	
	計	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	8,279㎡		1,092		851,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	4,836㎡		テ ニ ス コ ー ト 弓 道 場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
		共同研究費等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	徳島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
社会総合科学科	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	同上	
総合科学部	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
人間文化学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
社会創生学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
総合数理学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
医学部	-	288	3年次16	1412	-	1.00	1.01	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
医学科	6	114	-	684	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和24	同上	
医科栄養学科	4	50	-	200	学士(栄養学)	1.02	1.04	-	平成26	同上	
保健学科	4	124	3年次16	528	学士(保健学、看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	学士(看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
放射線技術科学専攻	4	37	3年次3	154	学士(保健学)	1.02	1.00	-	平成13	同上	
検査技術科学専攻	4	17	3年次3	74	学士(保健学)	1.05	1.05	-	平成13	同上	
歯学部	-	55	2年次3	315	-	1.01	1.00	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
歯学科	6	40	2年次3	255	学士(歯学)	1.01	1.00	-	昭和51	同上	
口腔保健学科	4	15	-	60	学士(口腔保健学)	1.00	1.00	-	平成19	同上	
薬学部	-	80	-	400	-	1.06	1.01	-	平成18	徳島県徳島市庄町1丁目78番地15	
薬学科	6	40	-	240	学士(薬学)	1.07	1.00	-	平成18	同上	
創製薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.04	1.02	-	平成18	同上	
理工学部	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
理工学科	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
昼間コース	4	550	3年次35	2270	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
夜間主コース	4	45	-	180	学士(理工学)	1.07	1.06	-	平成28	同上	
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
(もの作り創造システム工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(物質生命工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
化学応用工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(コンピュータ工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	

電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
光応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物資源産業学部	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業学)	1.01	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
生物資源産業学科	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業学)	1.01	1.00	-	平成28	同上	
創成科学研究科	-	375	-	375	-	0.99	0.99	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域創成専攻	-	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
修士課程	2	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
臨床心理学専攻	-	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
修士課程	2	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
理工学専攻	-	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
修士課程	2	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	同上	
生物資源学専攻	-	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
修士課程	2	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
総合科学教育部	-	4	-	59	-	0.84	1.25	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域科学専攻	-	4	-	47	-	0.80	1.25	-	平成21	同上	
博士前期課程	-	-	-	35	修士 (学術)	0.62	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.91	1.25	-	平成21	同上	
臨床心理学専攻	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士前期課程	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
医科学教育部	-	61	-	224	-	0.57	0.42	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
修士課程	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
医学専攻	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
博士課程	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
口腔科学教育部	-	25	-	88	-	0.69	0.44	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
口腔保健学専攻	-	7	-	16	-	1.02	0.42	-	-	同上	
博士前期課程	2	5	-	10	修士 (口腔保健 学)	0.70	0.40	-	平成23	同上	
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (口腔保健 学)	1.16	0.50	-	平成27	同上	
口腔科学専攻	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
博士課程	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
薬科学教育部	-	49	-	116	-	0.72	1.06	-	-	徳島県徳島市庄町1丁目7番地15	
創薬科学専攻	-	45	-	100	-	1.01	1.13	-	-	同上	
博士前期課程	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.02	1.20	-	平成22	同上	
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (薬科学)	1.00	0.90	-	平成24	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
博士課程	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
栄養生命科学教育部	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	

人間栄養科学専攻	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	同上	
博士前期課程	2	22	-	44	修士 (栄養学)	1.15	1.13	-	平成16	同上	
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (栄養学)	0.92	1.00	-	平成16	同上	
保健科学教育部	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
保健学専攻	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	同上	
博士前期課程	2	27	-	54	修士 (保健学、看護学)	1.01	0.92	-	平成18	同上	
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (保健学)	1.06	0.80	-	平成20	同上	
先端技術科学教育部	-	43	-	457	-	0.68	0.37	-	-	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
知的力学システム工学専攻	-	14	-	145	-	0.52	0.28	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	103	修士 (工学)	0.93	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	14	-	42	博士 (工学)	0.42	0.28	-	平成18	同上	
物質生命システム工学専攻	-	9	-	100	-	0.91	0.77	-	平成24	同上	
博士前期課程	-	-	-	73	修士 (工学)	0.98	-	-	平成24	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (工学)	0.88	0.77	-	平成24	同上	
システム創生工学専攻	-	20	-	212	-	0.68	0.25	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	152	修士 (工学)	0.92	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	20	-	60	博士 (工学)	0.61	0.25	-	平成18	同上	
大学全体		1908	56	7122		0.91					

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院創成科学研究科 地域創成専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	齋場 和彦 <令和2年4月>	専	教授	齋場 和彦 <令和2年4月>
		国際協力論※ 地域創成論※ 国際関係特論 地域創成特別演習			国際協力論※ 地域創成論※ 国際関係特論 地域創成特別演習
専	教授	荒武 達朗 <令和2年4月>	専	教授	荒武 達朗 <令和2年4月>
		グローバル社会文化論※ アジア文化特論※ 地域創成特別演習			グローバル社会文化論※ アジア文化特論※ 地域創成特別演習
専	教授	石田 基広 <令和2年4月>	専	教授	石田 基広 <令和2年4月>
		データサイエンス 地域創成特別演習			データサイエンス 地域創成特別演習
専	教授	衣川 仁 <令和2年4月>	専	教授	衣川 仁 <令和2年4月>
		日本歴史文化特論※ 地域創成特別演習			日本歴史文化特論※ 地域創成特別演習
専	教授	佐久間 亮 <令和2年4月>	専	教授	佐久間 亮 <令和2年4月>
		英語圏歴史文化特論 地域創成特別演習			英語圏歴史文化特論 地域創成特別演習
専	教授	佐藤 充宏 <令和2年4月>	専	教授	佐藤 充宏 <令和2年4月>
		地域創成プロジェクト研究 健康社会特論 地域創成特別演習			地域創成プロジェクト研究 健康社会特論 地域創成特別演習
専	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE <令和2年4月>	専	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションA 言語コミュニケーション特論※ 地域創成特別演習			グローバルコミュニケーションA 言語コミュニケーション特論※ 地域創成特別演習
専	教授	高橋 晋一 <令和2年4月>	専	教授	高橋 晋一 <令和2年4月>
		グローバル社会文化論※ 地域創成論※ 地域文化特論 地域創成特別演習			グローバル社会文化論※ 地域創成論※ 地域文化特論 地域創成特別演習
専	教授	堤 和博 <令和2年4月>	専	教授	堤 和博 <令和2年4月>
		日本語文化特論※ 地域創成特別演習			日本語文化特論※ 地域創成特別演習
専	教授	豊田 哲也 <令和2年4月>	専	教授	豊田 哲也 <令和2年4月>
		地域構造特論 地域創成特別演習 領域横断セミナー			地域構造特論 地域創成特別演習 領域横断セミナー
専	教授	中村 豊 <令和2年4月>	専	教授	中村 豊 <令和2年4月>
		日本歴史文化特論※ 地域創成特別演習			日本歴史文化特論※ 地域創成特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	三浦 哉 <令和2年4月>	専	教授	三浦 哉 <令和2年4月>
		応用生理学特論 行動科学※ 地域創成特別演習			応用生理学特論 行動科学※ 地域創成特別演習
専	教授	村上 敬一 <令和2年4月>	専	教授	村上 敬一 <令和2年4月>
		地域言語特論 地域創成特別演習			地域言語特論 地域創成特別演習
専	教授	矢部 拓也 <令和2年4月>	専	教授	矢部 拓也 <令和2年4月>
		地域創成論※ 地域社会特論 地域創成特別演習			地域創成論※ 地域社会特論 地域創成特別演習
専	教授	山口 鉄生 <令和2年4月>	専	教授	山口 鉄生 <令和2年4月>
		アカデミック・ライティング 健康科学特論 地域創成特別演習 領域横断セミナー			アカデミック・ライティング 健康科学特論 地域創成特別演習 領域横断セミナー
専	教授	山口 裕之 <令和2年4月>	専	教授	山口 裕之 <令和2年4月>
		アカデミック・ライティング 応用倫理学特論 地域創成特別演習			アカデミック・ライティング 応用倫理学特論 地域創成特別演習
専	教授	依岡 隆児 <令和2年4月>	専	教授	依岡 隆児 <令和2年4月>
		グローバル社会文化論※ 地域創成プロジェクト研究 ヨーロッパ文化特論※ 地域創成特別演習 領域横断セミナー			グローバル社会文化論※ 地域創成プロジェクト研究 ヨーロッパ文化特論※ 地域創成特別演習 領域横断セミナー
専	准教授	新田 元規 <令和2年4月>	専	准教授	新田 元規 <令和2年4月>
		アジア文化特論※ 地域創成特別演習			アジア文化特論※ 地域創成特別演習
専	准教授	上原 克之 <令和2年4月>	専	准教授	上原 克之 <令和2年4月>
		法学特論 地域創成特別演習			法学特論 地域創成特別演習
専	准教授	掛井 秀一 <令和2年4月>	専	准教授	掛井 秀一 <令和2年4月>
		空間デザイン特論 地域創成特別演習 領域横断セミナー			空間デザイン特論 地域創成特別演習 領域横断セミナー
			専	准教授	河田 和子 <令和2年4月>
					日本語文化特論※ 地域創成特別演習 領域横断セミナー
専	准教授	河原崎 貴光 <令和2年4月>	専	准教授	河原崎 貴光 <令和2年4月>
		アート表現特論 地域創成特別演習			アート表現特論 地域創成特別演習
専	准教授	熊坂 元大 <令和2年4月>	専	准教授	熊坂 元大 <令和2年4月>
		応用倫理学特論 地域創成特別演習			応用倫理学特論 地域創成特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	小田切 康彦 <令和2年4月>	専	准教授	小田切 康彦 <令和2年4月>
		アカデミック・ライティング 公共政策特論 地域創成特別演習			アカデミック・ライティング 公共政策特論 地域創成特別演習
専	准教授	佐原 理 <令和2年4月>	専	准教授	佐原 理 <令和2年4月>
		地域創成プロジェクト研究 映像デザイン特論 地域創成特別演習			地域創成プロジェクト研究 映像デザイン特論 地域創成特別演習
専	准教授	SCHIEDGES OLAF <令和2年4月>	専	准教授	SCHIEDGES OLAF <令和2年4月>
		日本文化特論 地域創成特別演習			日本文化特論 地域創成特別演習
専	准教授	田口 太郎 <令和2年4月>	専	准教授	田口 太郎 <令和2年4月>
		地域創成論※ 地域創成プロジェクト研究 地域計画学特論 地域創成特別演習			地域創成論※ 地域創成プロジェクト研究 地域計画学特論 地域創成特別演習
専	准教授	田中 佳 <令和2年4月>	専	准教授	田中 佳 <令和2年4月>
		ヨーロッパ文化特論※ 地域創成特別演習 領域横断セミナー			ヨーロッパ文化特論※ 地域創成特別演習 領域横断セミナー
専	准教授	趙 彤 <令和2年4月>	専	准教授	趙 彤 <令和2年4月>
		経済学特論 地域創成特別演習			経済学特論 地域創成特別演習
専	准教授	塚本 章宏 <令和2年4月>	専	准教授	塚本 章宏 <令和2年4月>
		空間情報科学特論 地域創成特別演習			空間情報科学特論 地域創成特別演習
専	准教授	土屋 敦 <令和2年4月>			
		福祉社会特論 地域創成特別演習			
専	准教授	富塚 昌輝 <令和2年4月>			
		日本語文化特論※ 地域創成特別演習 領域横断セミナー			
専	准教授	内藤 直樹 <令和2年4月>	専	准教授	内藤 直樹 <令和2年4月>
		国際協力論※ 地域創成プロジェクト研究 グローバル文化特論 地域創成特別演習			国際協力論※ 地域創成プロジェクト研究 グローバル文化特論 地域創成特別演習
専	准教授	中島 浩二 <令和2年4月>	専	准教授	中島 浩二 <令和2年4月>
		言語コミュニケーション特論※ 地域創成特別演習			言語コミュニケーション特論※ 地域創成特別演習
専	准教授	中塚 健太郎 <令和2年4月>	専	准教授	中塚 健太郎 <令和2年4月>
		地域創成論※ 健康心理学特論 地域創成特別演習			地域創成論※ 健康心理学特論 地域創成特別演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	樋口 直人 <令和2年4月>			
		グローバル社会特論 地域創成特別演習			
専	准教授	山内 暁彦 <令和2年4月>	専	准教授	山内 暁彦 <令和2年4月>
		英語圏文化特論※ 地域創成特別演習			英語圏文化特論※ 地域創成特別演習
専	准教授	山田(乾) 仁子 <令和2年4月>	専	准教授	山田(乾) 仁子 <令和2年4月>
		言語コミュニケーション特論※ 地域創成特別演習			言語コミュニケーション特論※ 地域創成特別演習
専	准教授	吉田 文美 <令和2年4月>	専	准教授	吉田 文美 <令和2年4月>
		英語圏文化特論※ 地域創成特別演習			英語圏文化特論※ 地域創成特別演習
			専	准教授	渡邊 克典 <令和2年4月>
					福祉社会特論 地域創成特別演習
兼任	教授	安間 了 <令和2年4月>	兼任	教授	安間 了 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 構造地質学特論			科学技術論D※ 構造地質学特論
兼任	教授	井澤 健一 <令和2年4月>	兼任	教授	井澤 健一 <令和2年4月>
		量子科学基礎理論			量子科学基礎理論
兼任	教授	石田 徹 <令和2年4月>	兼任	教授	石田 徹 <令和2年4月>
		生産加工学※			生産加工学※
兼任	教授	一宮 昌司 <令和2年4月>	兼任	教授	一宮 昌司 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学			科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学
兼任	教授	井戸 慶治 <令和2年4月>	兼任	教授	井戸 慶治 <令和2年4月>
		地域創成プロジェクト研究			地域創成プロジェクト研究
兼任	教授	今井 昭二 <令和2年4月>	兼任	教授	今井 昭二 <令和2年4月>
		環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※			環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※
兼任	教授	今田 泰嗣 <令和2年4月>	兼任	教授	今田 泰嗣 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 立体化学特論※			科学技術論B※ 立体化学特論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	上田 隆雄 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	上田 隆雄 ＜令和2年4月＞
		鉄筋コンクリート工学特論※			鉄筋コンクリート工学特論※
兼任	教授	上田 哲史 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	上田 哲史 ＜令和2年4月＞
		複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※			複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※
兼任	教授	右手 浩一 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	右手 浩一 ＜令和2年4月＞
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	教授	宇都 義浩 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	宇都 義浩 ＜令和2年4月＞
		創薬学特論			創薬学特論
兼任	教授	太田 光浩 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	太田 光浩 ＜令和2年4月＞
		応用流体力学特論※			応用流体力学特論※
兼任	教授	大淵 朗 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	大淵 朗 ＜令和2年4月＞
		代数構造特論			代数構造特論
兼任	教授	大山 陽介 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	大山 陽介 ＜令和2年4月＞
		数学解析特論			数学解析特論
兼任	教授	小笠原 正道 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	小笠原 正道 ＜令和2年4月＞
		科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論			科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論
兼任	教授	岡田 達也 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	岡田 達也 ＜令和2年4月＞
		機械材料物性特論※			機械材料物性特論※
兼任	教授	岡村 英一 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	岡村 英一 ＜令和2年4月＞
		物性化学特論※			物性化学特論※
兼任	教授	小川 宏樹 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	小川 宏樹 ＜令和2年4月＞
		建築計画学特論			建築計画学特論
兼任	教授	奥嶋 政嗣 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	奥嶋 政嗣 ＜令和2年4月＞
		データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※			データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	刑部 敬史 <令和2年4月>	兼任	教授	刑部 敬史 <令和2年4月>
		植物細胞工学特論			植物細胞工学特論
兼任	教授	音井 威重 <令和2年4月>	兼任	教授	音井 威重 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 動物生殖工学特論			科学技術論B※ 動物生殖工学特論
兼任	教授	小野 公輔 <令和2年4月>	兼任	教授	小野 公輔 <令和2年4月>
		データサイエンス 現象数理解析特論			データサイエンス 現象数理解析特論
兼任	教授	片山 真一 <令和2年4月>	兼任	教授	片山 真一 <令和2年4月>
		整数論特論			整数論特論
兼任	教授	金丸 芳 <令和2年4月>	兼任	教授	金丸 芳 <令和2年4月>
		食安全学特論 食品加工保蔵特論			食安全学特論 食品加工保蔵特論
兼任	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>	兼任	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>
		科学技術論A※ グリーンインフラ論※			科学技術論A※ グリーンインフラ論※
兼任	教授	川田 昌武 <令和2年4月>	兼任	教授	川田 昌武 <令和2年4月>
		電工学特論 電磁環境特論			電工学特論 電磁環境特論
兼任	教授	河田 佳樹 <令和2年4月>	兼任	教授	河田 佳樹 <令和2年4月>
		データサイエンス 多元画像処理			データサイエンス 多元画像処理
兼任	教授	岸本 豊 <令和2年4月>	兼任	教授	岸本 豊 <令和2年4月>
		超伝導物質科学			超伝導物質科学
兼任	教授	北 研二 <令和2年4月>	兼任	教授	北 研二 <令和2年4月>
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	教授	木戸口 善行 <令和2年4月>	兼任	教授	木戸口 善行 <令和2年4月>
		エネルギー環境工学※			エネルギー環境工学※
兼任	教授	木下 和彦 <令和2年4月>	兼任	教授	木下 和彦 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 情報ネットワーク※			科学技術論C※ 情報ネットワーク※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	金 成海 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	金 成海 ＜令和2年4月＞
		数理解析方法論			数理解析方法論
兼任	教授	久保 智裕 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	久保 智裕 ＜令和2年4月＞
		制御理論特論			制御理論特論
兼任	教授	上月 康則 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	上月 康則 ＜令和2年4月＞
		危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミナゲーション工学※			危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミナゲーション工学※
兼任	教授	後藤 信夫 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	後藤 信夫 ＜令和2年4月＞
		科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※			科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※
兼任	教授	齊藤 隆仁 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	齊藤 隆仁 ＜令和2年4月＞
		データサイエンス 物性計測学			データサイエンス 物性計測学
兼任	教授	櫻谷 英治 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	櫻谷 英治 ＜令和2年4月＞
		応用微生物学特論			応用微生物学特論
兼任	教授	佐藤 裕 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	佐藤 裕 ＜令和2年4月＞
		認知心理学特論 行動科学※			認知心理学特論 行動科学※
兼任	教授	獅々堀 正幹 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	獅々堀 正幹 ＜令和2年4月＞
		科学技術論C※ マルチメディア工学※			科学技術論C※ マルチメディア工学※
兼任	教授	島本 隆 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	島本 隆 ＜令和2年4月＞
		科学技術論D※ 集積回路特論※			科学技術論D※ 集積回路特論※
兼任	教授	下村 直行 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	下村 直行 ＜令和2年4月＞
		科学技術論D※ 高電圧工学特論			科学技術論D※ 高電圧工学特論
兼任	教授	杉山 茂 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	杉山 茂 ＜令和2年4月＞
		科学技術論B※ 化学反応工学特論※			科学技術論B※ 化学反応工学特論※
兼任	教授	田井 章博 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	田井 章博 ＜令和2年4月＞
		栄養生化学特論			栄養生化学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>	兼任	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>
		ロボット工学特論			ロボット工学特論
兼任	教授	高木 均 <令和2年4月>	兼任	教授	高木 均 <令和2年4月>
		材料工学※			材料工学※
兼任	教授	高田 篤 <令和2年4月>	兼任	教授	高田 篤 <令和2年4月>
		科学技術論D※ デジタル通信工学特論			科学技術論D※ デジタル通信工学特論
兼任	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>	兼任	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 応用代数特論			科学技術論C※ 応用代数特論
兼任	教授	高柳 俊夫 <令和2年4月>	兼任	教授	高柳 俊夫 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 分析・環境化学特論※			科学技術論B※ 分析・環境化学特論※
兼任	教授	竹内 敏己 <令和2年4月>	兼任	教授	竹内 敏己 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 計算数理特論			科学技術論C※ 計算数理特論
兼任	教授	田中 保 <令和2年4月>	兼任	教授	田中 保 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 食品評価特論			科学技術論B※ 食品評価特論
兼任	教授	出口 祥啓 <令和2年4月>	兼任	教授	出口 祥啓 <令和2年4月>
		分子エネルギー遷移論			分子エネルギー遷移論
兼任	教授	寺田 賢治 <令和2年4月>	兼任	教授	寺田 賢治 <令和2年4月>
		科学技術論C※ デザイン思考演習 画像応用工学 課題解決型インターンシップ (M)			科学技術論C※ デザイン思考演習 画像応用工学 課題解決型インターンシップ (M)
兼任	教授	直井 美貴 <令和2年4月>	兼任	教授	直井 美貴 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 光デバイス特論			科学技術論D※ 光デバイス特論
兼任	教授	長尾 文明 <令和2年4月>	兼任	教授	長尾 文明 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 耐風工学特論			科学技術論A※ 耐風工学特論
兼任	教授	永瀬 雅夫 <令和2年4月>	兼任	教授	永瀬 雅夫 <令和2年4月>
		ナノエレクトロニクス特論			ナノエレクトロニクス特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	中野 晋 <令和2年4月>	兼任	教授	中野 晋 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習
兼任	教授	長宗 秀明 <令和2年4月>	兼任	教授	長宗 秀明 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 細胞工学特論			科学技術論B※ 細胞工学特論
兼任	教授	中村 嘉利 <令和2年4月>	兼任	教授	中村 嘉利 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 生物化学工学特論			科学技術論B※ 生物化学工学特論
兼任	教授	中村 浩一 <令和2年4月>	兼任	教授	中村 浩一 <令和2年4月>
		固体イオニクス			固体イオニクス
兼任	教授	西尾 芳文 <令和2年4月>	兼任	教授	西尾 芳文 <令和2年4月>
		回路工学特論※			回路工学特論※
兼任	教授	西野 秀郎 <令和2年4月>	兼任	教授	西野 秀郎 <令和2年4月>
		機械材料物性特論※			機械材料物性特論※
兼任	教授	任(中川) 福継 <令和2年4月>	兼任	教授	任(中川) 福継 <令和2年4月>
		科学技術論E※ 機械翻訳特論			科学技術論E※ 機械翻訳特論
兼任	教授	橋爪 正樹 <令和2年4月>	兼任	教授	橋爪 正樹 <令和2年4月>
		電子回路特論			電子回路特論
兼任	教授	橋本 親典 <令和2年4月>	兼任	教授	橋本 親典 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 建設材料物性特論			科学技術論A※ 建設材料物性特論
兼任	教授	蓮沼 徹 <令和2年4月>	兼任	教授	蓮沼 徹 <令和2年4月>
		離散数学特論			離散数学特論
兼任	教授	長谷崎 和洋 <令和2年4月>	兼任	教授	長谷崎 和洋 <令和2年4月>
		熱力学特論			熱力学特論
兼任	教授	馬場 俊孝 <令和2年4月>	兼任	教授	馬場 俊孝 <令和2年4月>
		津波解析特論			津波解析特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	濱野 龍夫 〈令和2年4月〉	兼任	教授	濱野 龍夫 〈令和2年4月〉
		フィールド水圏生物学特論			フィールド水圏生物学特論
兼任	教授	原口 雅宣 〈令和2年4月〉	兼任	教授	原口 雅宣 〈令和2年4月〉
		科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※			科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※
兼任	教授	日野 順市 〈令和2年4月〉	兼任	教授	日野 順市 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 振動工学特論			科学技術論A※ 振動工学特論
兼任	教授	福見 稔 〈令和2年4月〉	兼任	教授	福見 稔 〈令和2年4月〉
		ヒューマンセンシング			ヒューマンセンシング
兼任	教授	泓田 正雄 〈令和2年4月〉	兼任	教授	泓田 正雄 〈令和2年4月〉
		自然言語理解			自然言語理解
兼任	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論			科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論
兼任	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉	兼任	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉
		ナノ光計測工学 光機能材料・光デバイス論2※			ナノ光計測工学 光機能材料・光デバイス論2※
兼任	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉	兼任	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉
		電気機器応用システム特論 電力システム特論			電気機器応用システム特論 電力システム特論
兼任	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉	兼任	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉
		発生情報科学特論			発生情報科学特論
兼任	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉
		量子物性物理学			量子物性物理学
兼任	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉
		情報セキュリティシステム論※			情報セキュリティシステム論※
兼任	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 集団遺伝学特論			科学技術論D※ 集団遺伝学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	松木 均 <令和2年4月>	兼任	教授	松木 均 <令和2年4月>
		生体熱力学特論			生体熱力学特論
兼任	教授	松本 健志 <令和2年4月>	兼任	教授	松本 健志 <令和2年4月>
		バイオメカニカルデザイン※			バイオメカニカルデザイン※
兼任	教授	三隅 友子 <令和2年4月>	兼任	教授	三隅 友子 <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションA			グローバルコミュニケーションA
兼任	教授	南川 慶二 <令和2年4月>	兼任	教授	南川 慶二 <令和2年4月>
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	教授	三好 徳和 <令和2年4月>	兼任	教授	三好 徳和 <令和2年4月>
		有機合成化学特論 物質化学特論※			有機合成化学特論 物質化学特論※
兼任	教授	三好 弘一 <令和2年4月>	兼任	教授	三好 弘一 <令和2年4月>
		量子化学特論			量子化学特論
兼任	教授	武藤 裕則 <令和2年4月>	兼任	教授	武藤 裕則 <令和2年4月>
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※			応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※
兼任	教授	村上 公一 <令和2年4月>	兼任	教授	村上 公一 <令和2年4月>
		非線形現象解析特論			非線形現象解析特論
兼任	教授	森賀 俊広 <令和2年4月>	兼任	教授	森賀 俊広 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 材料科学特論※			科学技術論B※ 材料科学特論※
兼任	教授	森松 文毅 <令和2年4月>	兼任	教授	森松 文毅 <令和2年4月>
		畜産物利用学特論			畜産物利用学特論
兼任	教授	守安 一峰 <令和2年4月>	兼任	教授	守安 一峰 <令和2年4月>
		力学系数理特論			力学系数理特論
兼任	教授	安井 武史 <令和2年4月>	兼任	教授	安井 武史 <令和2年4月>
		非破壊計測学※			非破壊計測学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	安澤 幹人 <令和2年4月>	兼任	教授	安澤 幹人 <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※			グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※
兼任	教授	安野 卓 <令和2年4月>	兼任	教授	安野 卓 <令和2年4月>
		制御応用工学特論			制御応用工学特論
兼任	教授	山中 英生 <令和2年4月>	兼任	教授	山中 英生 <令和2年4月>
		科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスクコミュニケーション※ 都市交通計画特論※ 都市・地域計画論※			科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスクコミュニケーション※ 都市交通計画特論 都市・地域計画論
兼任	教授	米倉 大介 <令和2年4月>	兼任	教授	米倉 大介 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 材料強度学特論			科学技術論A※ 材料強度学特論
兼任	教授	渡部 稔 <令和2年4月>	兼任	教授	渡部 稔 <令和2年4月>
		生命情報科学特論			生命情報科学特論
兼任	准教授	敷 金平 <令和2年4月>	兼任	准教授	敷 金平 <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 電子デバイス特論			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 電子デバイス特論
兼任	准教授	青矢 睦月 <令和2年4月>	兼任	准教授	青矢 睦月 <令和2年4月>
		岩石・鉱物学特論			岩石・鉱物学特論
兼任	准教授	赤松 徹也 <令和2年4月>	兼任	准教授	赤松 徹也 <令和2年4月>
		生体機能学特論			生体機能学特論
兼任	准教授	浅田 元子 <令和2年4月>	兼任	准教授	浅田 元子 <令和2年4月>
		環境生物学特論			環境生物学特論
兼任	准教授	ナカガイト ノリオ アントニオ <令和2年4月>	兼任	准教授	ナカガイト ノリオ アントニオ <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 材料工学※			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 材料工学※
兼任	准教授	池田 建司 <令和2年4月>	兼任	准教授	池田 建司 <令和2年4月>
		情報ネットワーク※			情報ネットワーク※
兼任	准教授	上野 勝利 <令和2年4月>	兼任	准教授	上野 勝利 <令和2年4月>
		地盤力学特論			地盤力学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	内海（宮川）千種 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	内海（宮川）千種 ＜令和2年4月＞
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）※ 危機管理学※			学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）※ 危機管理学※
兼任	准教授	宇野 剛史 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	宇野 剛史 ＜令和2年4月＞
		確率計画法特論			確率計画法特論
兼任	准教授	上手 洋子 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	上手 洋子 ＜令和2年4月＞
		回路工学特論※			回路工学特論※
兼任	准教授	大石 篤哉 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	大石 篤哉 ＜令和2年4月＞
		データサイエンス 計算力学特論			データサイエンス 計算力学特論
兼任	准教授	大石 昌嗣 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	大石 昌嗣 ＜令和2年4月＞
		エネルギー環境工学※			エネルギー環境工学※
兼任	准教授	大沼 正樹 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	大沼 正樹 ＜令和2年4月＞
		関数方程式特論			関数方程式特論
兼任	准教授	大野 恭秀 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	大野 恭秀 ＜令和2年4月＞
		デバイスプロセス特論			デバイスプロセス特論
兼任	准教授	岡本 敏弘 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	岡本 敏弘 ＜令和2年4月＞
		光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論 1 ※			光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論 1 ※
兼任	准教授	刑部 祐里子 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	刑部 祐里子 ＜令和2年4月＞
		植物分子生物学特論			植物分子生物学特論
兼任	准教授	加藤 雅裕 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	加藤 雅裕 ＜令和2年4月＞
		化学反応工学特論※			化学反応工学特論※
兼任	准教授	川上 竜巳 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	川上 竜巳 ＜令和2年4月＞
		酵素化学特論			酵素化学特論
兼任	准教授	河口 洋一 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	河口 洋一 ＜令和2年4月＞
		環境生態学特論			環境生態学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	川崎 祐 <令和2年4月>	兼任	准教授	川崎 祐 <令和2年4月>
		強相関物質科学			強相関物質科学
兼任	准教授	岸川 博紀 <令和2年4月>	兼任	准教授	岸川 博紀 <令和2年4月>
		光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※			光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※
兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS <令和2年4月>	兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS <令和2年4月>
		グローバル社会文化論			グローバル社会文化論
兼任	准教授	コインカー バンカジ <令和2年4月>	兼任	准教授	コインカー バンカジ <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーション B グローバルコミュニケーション C 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※			グローバルコミュニケーション B グローバルコミュニケーション C 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※
兼任	准教授	越山 顕一郎 <令和2年4月>	兼任	准教授	越山 顕一郎 <令和2年4月>
		バイオマテリアル※			バイオマテリアル※
兼任	准教授	佐々木(田村)千鶴 <令和2年4月>	兼任	准教授	佐々木(田村)千鶴 <令和2年4月>
		資源利用学特論			資源利用学特論
兼任	准教授	佐藤 高則 <令和2年4月>			
		生物化学特論			
兼任	准教授	佐藤 征弥 <令和2年4月>	兼任	准教授	佐藤 征弥 <令和2年4月>
		植物保護学特論			植物保護学特論
兼任	准教授	佐野 雅彦 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	佐野 雅彦 <令和2年4月> 博士(工学)
		情報セキュリティシステム論※			情報セキュリティシステム論※
兼任	准教授	重光 亨 <令和2年4月>	兼任	准教授	重光 亨 <令和2年4月>
		応用流体力学特論※			応用流体力学特論※
兼任	准教授	蔦 景彩 <令和2年4月>	兼任	准教授	蔦 景彩 <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 斜面減災工学特論			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 斜面減災工学特論
兼任	准教授	鈴木 良尚 <令和2年4月>	兼任	准教授	鈴木 良尚 <令和2年4月>
		物性化学特論※			物性化学特論※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	宋 天 <令和2年4月>	兼任	准教授	宋 天 <令和2年4月>
		データサイエンス グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 集積回路特論※			データサイエンス グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 集積回路特論※
兼任	准教授	玉井 伸岳 <令和2年4月>	兼任	准教授	玉井 伸岳 <令和2年4月>
		生物物理化学特論			生物物理化学特論
兼任	准教授	田村 隆雄 <令和2年4月>	兼任	准教授	田村 隆雄 <令和2年4月>
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※			応用水理学特論※ 流域水管理工学※
兼任	准教授	寺西 研二 <令和2年4月>	兼任	准教授	寺西 研二 <令和2年4月>
		プラズマ応用工学特論			プラズマ応用工学特論
兼任	准教授	富田 卓朗 <令和2年4月>	兼任	准教授	富田 卓朗 <令和2年4月>
		光材料科学特論			光材料科学特論
兼任	准教授	友安 俊文 <令和2年4月>	兼任	准教授	友安 俊文 <令和2年4月>
		先端生命科学特論			先端生命科学特論
兼任	准教授	中田 成智 <令和2年4月>	兼任	准教授	中田 成智 <令和2年4月>
		耐震工学特論			耐震工学特論
兼任	准教授	永田 裕一 <令和2年4月>	兼任	准教授	永田 裕一 <令和2年4月>
		自律知能システム			自律知能システム
兼任	准教授	中山 慎一 <令和2年4月>	兼任	准教授	中山 慎一 <令和2年4月>
		組合せ最適化特論			組合せ最適化特論
兼任	准教授	名田 謙 <令和2年4月>	兼任	准教授	名田 謙 <令和2年4月>
		燃焼工学			燃焼工学
兼任	准教授	鍋島 克輔 <令和2年4月>	兼任	准教授	鍋島 克輔 <令和2年4月>
		数式処理特論			数式処理特論
兼任	准教授	滑川 達 <令和2年4月>	兼任	准教授	滑川 達 <令和2年4月>
		プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	西野 克志 <令和2年4月>	兼任	准教授	西野 克志 <令和2年4月>
		半導体工学特論			半導体工学特論
兼任	准教授	西山 賢一 <令和2年4月>	兼任	准教授	西山 賢一 <令和2年4月>
		環境・防災地質学特論			環境・防災地質学特論
兼任	准教授	服部 武文 <令和2年4月>	兼任	教授	服部 武文 <令和2年4月>
		森林代謝科学特論			森林代謝科学特論
			兼任	准教授	平田 章 <令和2年4月>
					生物化学特論
兼任	准教授	平野 朋広 <令和2年4月>	兼任	准教授	平野 朋広 <令和2年4月>
		立体化学特論※			立体化学特論※
兼任	准教授	深貝 暢良 <令和2年4月>	兼任	准教授	深貝 暢良 <令和2年4月>
		微分方程式特論			微分方程式特論
兼任	准教授	堀河 俊英 <令和2年4月>	兼任	准教授	堀河 俊英 <令和2年4月>
		分離工学特論			分離工学特論
兼任	准教授	水野 義紀 <令和2年4月>	兼任	准教授	水野 義紀 <令和2年4月>
		代数学特論			代数学特論
兼任	准教授	三戸 太郎 <令和2年4月>	兼任	准教授	三戸 太郎 <令和2年4月>
		分子発生生物学特論			分子発生生物学特論
兼任	准教授	南川 丈夫 <令和2年4月>	兼任	准教授	南川 丈夫 <令和2年4月>
		分光計測学			分光計測学
兼任	准教授	宮脇 克行 <令和2年4月>	兼任	准教授	宮脇 克行 <令和2年4月>
		生産システム制御工学特論			生産システム制御工学特論
兼任	准教授	三輪 昌史 <令和2年4月>	兼任	准教授	三輪 昌史 <令和2年4月>
		アクチュエータ理論			アクチュエータ理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	向井(高橋)理恵 <令和2年4月>	兼任	准教授	向井(高橋)理恵 <令和2年4月>
		機能性食品学特論			機能性食品学特論
兼任	准教授	村井 啓一郎 <令和2年4月>	兼任	准教授	村井 啓一郎 <令和2年4月>
		材料科学特論※			材料科学特論※
兼任	准教授	森田 和宏 <令和2年4月>	兼任	准教授	森田 和宏 <令和2年4月>
		自然言語理解			自然言語理解
兼任	准教授	山城 考 <令和2年4月>	兼任	准教授	山城 考 <令和2年4月>
		分子生態学特論			分子生態学特論
兼任	准教授	山本 圭 <令和2年4月>	兼任	准教授	山本 圭 <令和2年4月>
		分子組織代謝学特論			分子組織代謝学特論
兼任	准教授	山本 孝 <令和2年4月>	兼任	准教授	山本 孝 <令和2年4月>
		環境物理化学特論 物質化学特論※			環境物理化学特論 物質化学特論※
兼任	准教授	湯浅 恵造 <令和2年4月>	兼任	准教授	湯浅 恵造 <令和2年4月>
		細胞情報学特論			細胞情報学特論
兼任	准教授	横谷 謙次 <令和2年4月>	兼任	准教授	横谷 謙次 <令和2年4月>
		家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)			家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
兼任	准教授	渡邊 健 <令和2年4月>	兼任	准教授	渡邊 健 <令和2年4月>
		鉄筋コンクリート工学特論※			鉄筋コンクリート工学特論※
兼任	講師	芥川 正武 <令和2年4月>	兼任	講師	芥川 正武 <令和2年4月>
		生体工学特論※			生体工学特論※
兼任	講師	石川 真志 <令和2年4月>	兼任	講師	石川 真志 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 生産システム論			科学技術論A※ 生産システム論
兼任	講師	伊藤(大淵) 桃代 <令和2年4月>	兼任	講師	伊藤(大淵) 桃代 <令和2年4月>
		ヒューマンセンシング			ヒューマンセンシング

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	犬飼 宗弘 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	犬飼 宗弘 ＜令和2年4月＞
		磁気共鳴科学			磁気共鳴科学
兼任	講師	上野 雅晴 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	上野 雅晴 ＜令和2年4月＞
		グリーンケミストリー特論 物質化学特論※			グリーンケミストリー特論 物質化学特論※
兼任	講師	浮田 浩行 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	浮田 浩行 ＜令和2年4月＞
		デジタル制御論			デジタル制御論
兼任	講師	櫻本 崇宏 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	櫻本 崇宏 ＜令和2年4月＞
		生体工学特論※			生体工学特論※
兼任	講師	大野 将樹 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	大野 将樹 ＜令和2年4月＞
		マルチメディア工学※			マルチメディア工学※
兼任	講師	岡 直宏 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	岡 直宏 ＜令和2年4月＞
		水産植物学特論			水産植物学特論
兼任	講師	岡本 邦也 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	岡本 邦也 ＜令和2年4月＞
		応用解析学特論			応用解析学特論
兼任	講師	押村 美幸 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	押村 美幸 ＜令和2年4月＞
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	講師	折戸（窪） 玲子 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	折戸（窪） 玲子 ＜令和2年4月＞
		宇宙線計測学特論			宇宙線計測学特論
兼任	講師	カルンガル ステファン ギ ディンシ ＜令和2年4月＞	兼任	講師	カルンガル ステファン ギ ディンシ ＜令和2年4月＞
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学
兼任	講師	岸本 幸治 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	岸本 幸治 ＜令和2年4月＞
		再生医学特論			再生医学特論
兼任	講師	北岡 和義 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	北岡 和義 ＜令和2年4月＞
		デザイン思考演習			デザイン思考演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	日下 一也 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	日下 一也 ＜令和2年4月＞
		非破壊計測学※			非破壊計測学※
兼任	講師	甲田 宗良 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	甲田 宗良 ＜令和2年4月＞
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開※			産業・労働分野に関する理論と支援の展開※
兼任	講師	佐藤 克也 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	佐藤 克也 ＜令和2年4月＞
		バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※			バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※
兼任	講師	白井 昭博 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	白井 昭博 ＜令和2年4月＞
		微生物工学特論			微生物工学特論
兼任	講師	白根 竹人 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	白根 竹人 ＜令和2年4月＞
		幾何学特論			幾何学特論
兼任	講師	田端 厚之 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	田端 厚之 ＜令和2年4月＞
		微生物検査学特論			微生物検査学特論
兼任	講師	津村 秀樹 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	津村 秀樹 ＜令和2年4月＞
		心の健康教育に関する理論と実践			心の健康教育に関する理論と実践
兼任	講師	中村 光裕 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	中村 光裕 ＜令和2年4月＞
		有機機能性物質化学特論 物質化学特論※			有機機能性物質化学特論 物質化学特論※
兼任	講師	西内 優騎 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	西内 優騎 ＜令和2年4月＞
		有機化学特論			有機化学特論
兼任	講師	西出 俊 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	西出 俊 ＜令和2年4月＞
		機械翻訳特論			機械翻訳特論
兼任	講師	橋本 直史 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	橋本 直史 ＜令和2年4月＞
		農業市場学特論 農業経済学特論			農業市場学特論 農業経済学特論
兼任	講師	島 一樹 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	島 一樹 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	久田 旭彦 <令和2年4月>	兼任	講師	久田 旭彦 <令和2年4月>
		極限環境物性学			極限環境物性学
兼任	講師	水口 仁志 <令和2年4月>	兼任	講師	水口 仁志 <令和2年4月>
		分析・環境化学特論※			分析・環境化学特論※
兼任	講師	水科 晴樹 <令和2年4月>	兼任	講師	水科 晴樹 <令和2年4月>
		ディスプレイ論 視覚情報処理			ディスプレイ論 視覚情報処理
兼任	講師	溝淵 啓 <令和2年4月>	兼任	准教授	溝淵 啓 <令和2年4月>
		生産加工学※			生産加工学※
兼任	講師	光原 弘幸 <令和2年4月>	兼任	准教授	光原 弘幸 <令和2年4月>
		マルチメディア工学※			マルチメディア工学※
兼任	講師	山下 聡 <令和2年4月>	兼任	講師	山下 聡 <令和2年4月>
		森林生物学特論			森林生物学特論
兼任	講師	山田 久嗣 <令和2年4月>	兼任	講師	山田 久嗣 <令和2年4月>
		ケミカルバイオロジー特論			ケミカルバイオロジー特論
兼任	講師	山中 亮一 <令和2年4月>	兼任	講師	山中 亮一 <令和2年4月>
		防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※			防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※
兼任	講師	吉田 健 <令和2年4月>	兼任	講師	吉田 健 <令和2年4月>
		物理化学特論※			物理化学特論※
兼任	講師	吉田 稔 <令和2年4月>	兼任	講師	吉田 稔 <令和2年4月>
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	助教	油井 毅 <令和2年4月>	兼任	助教	油井 毅 <令和2年4月>
		デザイン思考演習			デザイン思考演習
兼任	助教	伊藤 伸一 <令和2年4月>	兼任	講師	伊藤 伸一 <令和2年4月>
		科学技術論C※ ヒューマンセンシング			科学技術論C※ ヒューマンセンシング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	尾野(岩切) 薫 <令和2年4月>			
		都市交通計画特論※ 都市・地域計画論※			
兼任	助教	金井 純子 <令和2年4月>	兼任	助教	金井 純子 <令和2年4月>
		デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスクア※ 行政・企業のリスクマネジメント※			デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスクア※ 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	助教	康 鑫 <令和2年4月>	兼任	助教	康 鑫 <令和2年4月>
		データサイエンス 機械翻訳特論			データサイエンス 機械翻訳特論
兼任	助教	笹尾 知世 <令和2年4月>			
		ビジネスモデル特論			
兼任	助教	谷岡 広樹 <令和2年4月>	兼任	助教	谷岡 広樹 <令和2年4月>
		データサイエンス 情報セキュリティシステム論※			データサイエンス 情報セキュリティシステム論※
兼任	助教	松本 和幸 <令和2年4月>	兼任	准教授	松本 和幸 <令和2年4月>
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	助教	山本 祐平 <令和2年4月>	兼任	講師	山本 祐平 <令和2年4月>
		環境無機化学特論※ 物質化学特論※			環境無機化学特論※ 物質化学特論※
兼任	助教	湯浅 恭史 <令和2年4月>	兼任	助教	湯浅 恭史 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習
兼任	助教	渡辺 公次郎 <令和2年4月>	兼任	准教授	渡辺 公次郎 <令和2年4月>
		都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※			都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※
兼任	講師	青木 正繁 <令和2年4月>	兼任	講師	青木 正繁 <令和2年4月>
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	磯打 千雅子 <令和2年4月>	兼任	講師	磯打 千雅子 <令和2年4月>
		危機管理学※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※			危機管理学※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 民武 <令和2年4月>	兼任	講師	伊藤 民武 <令和2年4月>
		光機能材料・光デバイス論 2 ※			光機能材料・光デバイス論 2 ※
兼任	講師	井面 仁志 <令和2年4月>	兼任	講師	井面 仁志 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション ※			リスクコミュニケーション ※
			兼任	講師	井若 和久 <令和2年4月> ミテージョン工学 ※
兼任	講師	上岡 義典 <令和2年4月>	兼任	講師	上岡 義典 <令和2年4月>
		学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開) ※			学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開) ※
			兼任	講師	大喜多 一範 <令和2年4月> デザイン思考演習
兼任	講師	梶谷 義雄 <令和2年4月>	兼任	講師	梶谷 義雄 <令和2年4月>
		行政・企業のリスクマネジメント ※			行政・企業のリスクマネジメント ※
兼任	講師	黒崎 ひろみ <令和2年4月>	兼任	講師	黒崎 ひろみ <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション ※			リスクコミュニケーション ※
兼任	講師	黒田 泰弘 <令和2年4月>	兼任	講師	黒田 泰弘 <令和2年4月>
		メンタルヘルスケア ※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント ※			メンタルヘルスケア ※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント ※
			兼任	講師	小山 博幸 <令和2年4月> デザイン思考演習
兼任	講師	坂本 考史 <令和2年4月>	兼任	講師	坂本 考史 <令和2年4月>
		光機能材料・光デバイス論 1 ※			光機能材料・光デバイス論 1 ※
			兼任	講師	志方 重之 <令和2年4月> デザイン思考演習
兼任	講師	白木 渡 <令和2年4月>	兼任	講師	白木 渡 <令和2年4月>
		危機管理学 ※			危機管理学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高原 龍二 <令和2年4月>	兼任	講師	高原 龍二 <令和2年4月>
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開※			産業・労働分野に関する理論と支援の展開※
			兼任	講師	高山 幸秀 <令和2年4月>
					言語モデル論※
			兼任	講師	津田 和彦 <令和2年4月>
					自然言語理解
兼任	講師	長濱 慎一 <令和2年4月>	兼任	講師	長濱 慎一 <令和2年4月>
		光機能材料・光デバイス論 1 ※			光機能材料・光デバイス論 1 ※
兼任	講師	根来 慎太郎 <令和2年4月>	兼任	講師	根来 慎太郎 <令和2年4月>
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	野々村 敦子 <令和2年4月>	兼任	講師	野々村 敦子 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※
兼任	講師	萩池 昌信 <令和2年4月>	兼任	講師	萩池 昌信 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※			危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※ 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	坂東 淳 <令和2年4月>	兼任	講師	坂東 淳 <令和2年4月>
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
			兼任	講師	平井 研 <令和2年4月>
					ミチゲーション工学※
兼任	講師	平石 香奈子 <令和2年4月>	兼任	講師	平石 香奈子 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	平尾 智広 <令和2年4月>	兼任	講師	平尾 智広 <令和2年4月>
		メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※			メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※ 防災危機管理実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	藤澤 一仁 <令和2年4月>	兼任	講師	藤澤 一仁 <令和2年4月>
		防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※			防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※
兼任	講師	松本 秀應 <令和2年4月>	兼任	講師	松本 秀應 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※			リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※
兼任	講師	水ノ上智邦 <令和2年4月>	兼任	講師	水ノ上智邦 <令和2年4月>
		国際経済特論			国際経済特論
兼任	講師	向井 孝志 <令和2年4月>	兼任	講師	向井 孝志 <令和2年4月>
		光機能材料・光デバイス論 1 ※			光機能材料・光デバイス論 1 ※
兼任	講師	森 伸一郎 <令和2年4月>	兼任	講師	森 伸一郎 <令和2年4月>
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	森 卓史 <令和2年4月>	兼任	講師	森 卓史 <令和2年4月>
		ビジネスモデル特論			ビジネスモデル特論
			兼任	講師	山本 秀一 <令和2年4月>
					ミテゲーション工学※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・土屋 敦准教授, 令和2年3月就任辞退。
- ・富塚 昌輝准教授, 令和2年3月就任辞退。
- ・樋口 直人准教授, 令和2年3月就任辞退。令和2年10月に専任教員採用予定。(「専任教員採用等変更書(AC)」提出中。)
- ・河田 和子准教授, 令和2年4月就任。(令和2年2月教員審査済)
- ・渡邊 克典准教授, 令和2年4月就任。(令和2年2月教員審査済)

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
3 名	2 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
17	21	0	0	38	0	17	20	0	0	37	0
(17)	(20)	(0)	(0)	(37)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
36	2	0				35	2	0			
(35)	(2)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	20	0	0	37	0	17	21	0	0	38	0
[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
35	2	0				36	2	0			
[Δ1]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{38} = \boxed{97.36} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	土屋 敦	R2.3	必修	地域創成特別演習	①	R2.3 他大学へ転出のため就任辞退（2）						
				選択	福祉社会特論	①							
2	准教授	富塚 昌輝	R2.3	必修	地域創成特別演習	①	R2.3 他大学へ転出のため就任辞退（2）						
				選択	領域横断セミナー	①							
3	准教授	樋口 直人	R2.3	必修	地域創成特別演習	①	R2.3 他大学へ転出のため就任辞退（2）						
				選択	グローバル社会特論	③							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
3	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
3	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	1	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{38} = 7.89\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

樋口直人准教授が担当を予定していた「グローバル社会特論」は、当初前期の開講を予定していたが、後期に開講するよう変更し、授業開始までに後任教員の選考及びAC教員審査を完了させることを計画している。既に後任教員は、令和2年3月に「専任教員採用等設置計画変更書 (AC)」を提出し、審査結果待ちである。学生には年度当初より、シラバス及び時間割表において、後期に開講する旨を周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
	<p>徳島県の課題を解決するために示した、3つの高度職業人のタイプと本専攻が養成する人材像や教育課程との関係が学生及び社会人に明確に伝わる広報を行うこと。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>地域創成専攻においては、グローバル化する地域の社会・文化・健康の各課題の解決に貢献できる3つの高度職業人を養成するために、「社会・政策系」「文化・情報系」「健康・福祉系」の3つの地域課題対応型の科目群を柱として、グローバルな視点を涵養する科目や、他専攻の関連科目を幅広く履修させるというカリキュラムを構成している。このような、専攻で養成する具体的な人材像と教育課程との関係、さらには専攻修了後に想定される進路に関する情報等を、大学院入試説明会で具体的に説明するとともに（説明会資料はホームページにも掲載）（シート6参考資料①、③）、専攻案内パンフレット（シート6参考資料②）、専攻ホームページ（シート6参考資料③）を通じて広報している。</p>	<p>履行済</p>
<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>1 研究科として設置する必要性の一つとして、「研究分野を超えた修士論文指導体制」を掲げており、その手法として、副指導教員及びアドバイザー教員を、他専攻・他コースの教員が柔軟に選任するとしており、着実な履行が求められる。また、アドバイザー教員がどのような役割をするのか、学生に対してわかりやすく周知すること。【4専攻共通】</p>	<p>遵守事項</p>	<p>地域創成専攻においては、「研究分野を超えた修士論文指導体制」を実質化するため、副指導教員（2名以上）のうち少なくとも1名は他専攻から選任することとしている。この方針に基づき、4月末日までに、新入生全員の主指導教員・副指導教員・アドバイザー教員を確定し、分野横断的観点を踏まえ、具体的な研究指導を進める体制を整えた。副指導教員は、本専攻の専任教員1名と、臨床心理学専攻・理工学専攻・生物資源学専攻のいずれかの専攻の専任教員1名の計2名が実際に就任している。また、大学院における研究指導体制と、主指導教員・副指導教員・アドバイザー教員のそれぞれの役割について、専攻の『履修の手引』（シート6参考資料④）に掲載するとともに、4月に実施した新入生オリエンテーションで説明した。特に、アドバイザー教員の「直接研究指導を行わず、客観的な立場で大学における学修・生活支援を行う」という役割について、オリエンテーション及び主指導教員を通じて学生に分かりやすく周知した。</p>	<p>履行済</p>

<p>「グローバルコミュニケーションC」のシラバスだけでは、学生がどういったプログラムに参加できるのか不明確なため、学生に対しては今までの海外プログラムの実績と内容を具体的に説明するなど、学生の科目履修に際しての配慮に努めること。また、文系の海外プログラムの更なる充実に努めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>「グローバルコミュニケーションC」は、本学大学院先端技術科学教育部開講科目「国際先端技術科学特論2」を継承・発展した科目であり、これまで国立台湾科学技術大学やマレーシア工科大学等の海外プログラム派遣の実績がある。本専攻では、国際交流・異文化理解にもとづく地域創成といった観点を踏まえ、「グローバルコミュニケーションC」の文系の海外プログラムとして、「ラトビア文化交流研修」「ポルトガル文化交流研修」「台湾育達科技大学文化交流研修」「ベトナム・スタディー・ツアー」の4つのプログラムを、令和2年度に新たに設定した。令和2年4月に実施した専攻の新入生オリエンテーションにおいて、新入生に対し、「グローバルコミュニケーションC」の授業概要と、現時点で選択可能なプログラムの研修地・研修期間・研修目的・事前指導・事後指導、参加費用等の詳細な説明を行うことで、学生が具体的にどのようなプログラムに参加することができ、各プログラムを通してどのような能力を身に付けることができるかを明確にした。</p>	<p>履行済</p>	
<p>研究科代議員の各専攻からの選考方法は公平性と透明性を担保される方策の充実に努めること。【4専攻共通】</p>	<p>遵守事項</p>	<p>研究科代議員は、別添「徳島大学大学院創成科学研究科代議員会内規」（シート6参考資料⑤）第2条に基づき、各専攻の副専攻長、コース長など、公平性と透明性を担保された方法で選出された者により構成され、各専攻の代議員数に偏りがないよう組織されている。</p>	<p>履行済</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院創成科学研究科 地域創成専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・地域創成専攻教務・入学試験委員会・地域創成専攻FD委員会・地域創成専攻教育プログラム評価委員会 （規則は別紙のとおり） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・地域創成専攻教務・入学試験委員会 毎月1回開催予定（委員4名が参加）・地域創成専攻FD委員会 年間4回程度開催予定（委員4名が参加）・地域創成専攻教育プログラム評価委員会 年間3回程度開催予定（委員3名が参加） <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>別紙規則のとおり</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・専門教育及び入学試験の実施・シラバス、授業計画、教材等の作成・教育の質の保証・向上及び授業評価・上記に係る講演会、研修会、ワークショップ、ポスター発表及びアンケートの実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・全学FD委員会及び各専攻FD委員会等が連携して講演会、研修会等を開催する。・在学生にアンケートを実施し、結果を分析する。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>総合科学部、総合科学教育部、創成科学研究科地域創成専攻、臨床心理学専攻合同FD企画</p> <ul style="list-style-type: none">・第1回FD委員会主催 FD企画「manabaを利用した遠隔授業の紹介」（開催：令和2年4月9日 参加者：35人） 創成科学研究科地域創成専攻FD委員会・令和2年5月7日開催予定のFD委員会において、授業評価アンケートの様式等について検討予定 <p>全学FD</p> <ul style="list-style-type: none">・全学FD遠隔講義ツール説明会（開催：令和2年4月6日 参加者：225人）

・すぐ使える90分セミナー「学生の学習を促す質問の作り方」（開催：令和2年4月23日 参加者：10人）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

早急に遠隔授業に対応しなければならない状況の中、FD企画の実施によって、実例の紹介及び意見交換を行うことで、遠隔授業実施を円滑化することができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（各学期末に実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

ホームページ掲載等により、教員及び学生への公開を予定している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成をするため、計画に基づき実施している。今後更なる教育・研究の水準向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年度 公表予定

b 公表方法

・徳島大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・徳島大学は、令和元年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、その結果「大学評価基準を満たしており、内部質保証が優れて機能している」と判定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 徳島大学

(2) 大学名

徳島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒770-8502

徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

(本部：〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ノジ スミハレ) 野地 澄晴 (平成28年4月)		
理事 副学長	(カワムラ ヤスヒコ) 河村 保彦 (令和2年4月)		
	(ササキ タクヤ) 佐々木 卓也 (平成29年4月)		
	(ヨシダ カズフミ) 吉田 和文 (平成28年4月)		
	(タムラ コウイチ) 田村 耕一 (令和2年4月)		
研究科長	(ハンヅメ マサキ) 橋爪 正樹 (令和2年4月)		
臨床心理学専攻長	(サトウ ケンイチ) 佐藤 健一 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻 修士（臨床心理学）	文学関係	2年	12人	該当なし	24人	総合科学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	12人 12 (—) [—]	— (—) [—]	0.83倍	一倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	18 [0]	(—) [—]			
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	17 [0]	(—) [—]			
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	13 [0]	(—) [—]			
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	10 [0]	(—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		0.83				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	10 [0] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)	10 [0] (-)

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	10 人	0 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	データサイエンス	1前	2									9	
	小計(1科目)		2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	国際協力論	1前		1								2	
	グローバル社会文化論	1前		1								4	
	グローバルコミュニケーションA	1前		1								2	
	グローバルコミュニケーションB	1・2通		1								7	
	グローバルコミュニケーションC	1・2通		1								2	
	小計(5科目)		0	5	0	0	0	0	0	0	0	15	
	科学技術論A	1前		1								8	
	科学技術論B	1前		1								8	
	科学技術論C	1前		1								8	
	科学技術論D	1前		1								8	
	科学技術論E	1前		1								8	
	ビジネスモデル特論	1後		1								3	
デザイン思考演習	1・2前		1								4		
小計(7科目)		0	7	0	0	0	0	0	0	0	45		
必修科目	臨床心理学特論A ※	1前	2			2							
	臨床心理学特論B ※	2後	2			2							
	臨床心理面接特論A (心理支援に関する理論と実践) ※	1後	2				2						
	臨床心理面接特論B ※	2前	2				2						
	臨床心理査定演習A (心理的アセスメントに関する理論と実践) ※	1前	2			2	1						
	臨床心理査定演習B ※	2前	2				1	1					
	臨床心理基礎実習A ※	1前	1			1	2					1	
	臨床心理基礎実習B ※	1後	1			1	2					1	
	臨床心理実習A (心理実践実習Ⅱ) ※	2前	1			1	2	2				3	
	臨床心理実習B ※	2後	1			1	2	2				3	
	小計(10科目)		16	0	0	2	4	2	0	0	0	4	
	選択科目	認知心理学特論	1・2前	2			1						
		認知心理学特論演習 ※	1・2前	2			1						
生涯発達心理学特論 ※		1・2後	2			1							
社会心理学特論 ※		1・2前	2			1						1	
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) ※		1・2前	2									2	
障害臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) ※		1・2前	2									1	
心理療法特論 ※		1・2前	2				1					1	
臨床心理的地域援助特論 ※		1・2前	2				1					1	
小計(8科目)			0	16	0	3	2	0	0	0	0	5	
自由科目		学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2前			2		1					1
		犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) ※	1・2後			2							1
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後			2			1				1	
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後			2		1						
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2後			2			1					
	心理実践実習Ⅰ ※	1後		1	2	4	2						
	心理実践実習Ⅲ ※	2通		2	2	4	2						
	心理実践実習Ⅳ ※	2通		2	2	4	2						
	心理実践実習Ⅴ ※	2通		2	2	4	2						
	心理実践実習Ⅵ ※	2通		2	2	4	2						
	小計(10科目)		0	0	19	2	4	2	0	0	0	3	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	データサイエンス	1前	2									9	
	小計(1科目)		2	0	0	1	0	0	0	0	0	9	
	国際協力論	1前		1								2	
	グローバル社会文化論	1前		1								4	
	グローバルコミュニケーションA	1前		1								2	
	グローバルコミュニケーションB	1・2通		1								7	
	グローバルコミュニケーションC	1・2通		1								2	
	小計(5科目)		0	5	0	0	0	0	0	0	0	15	
	科学技術論A	1前		1								8	
	科学技術論B	1前		1								8	
	科学技術論C	1前		1								8	
	科学技術論D	1前		1								8	
	科学技術論E	1前		1								8	
	ビジネスモデル特論	1後		1								2	
デザイン思考演習	1・2前		1								7		
小計(7科目)		0	7	0	0	0	0	0	0	0	47		
必修科目	臨床心理学特論A ※	1前	2			2							
	臨床心理学特論B ※	2後	2			2							
	臨床心理面接特論A (心理支援に関する理論と実践) ※	1後	2					2					
	臨床心理面接特論B ※	2前	2					2					
	臨床心理査定演習A (心理的アセスメントに関する理論と実践) ※	1前	2			2	1						
	臨床心理査定演習B ※	2前	2					1	1				
	臨床心理基礎実習A ※	1前	1			1	2					1	
	臨床心理基礎実習B ※	1後	1			1	2					1	
	臨床心理実習A (心理実践実習Ⅱ) ※	2前	1			1	2	2				3	
	臨床心理実習B ※	2後	1			1	2	2				3	
	小計(10科目)		16	0	0	2	4	2	4	2	0	0	4
	選択科目	認知心理学特論	1・2前	2			1						
		認知心理学特論演習 ※	1・2前	2			1						
生涯発達心理学特論 ※		1・2後	2			1							
社会心理学特論 ※		1・2前	2			1						1	
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) ※		1・2前	2									2	
障害臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) ※		1・2前	2									1	
心理療法特論 ※		1・2前	2					1				1	
臨床心理的地域援助特論 ※		1・2前	2					1				1	
小計(8科目)			0	16	0	3	2	0	0	0	0	5	
自由科目		学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2前			2		1					1
		犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) ※	1・2後			2							1
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後			2				1			1	
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後			2		1						
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2後			2				1				
	心理実践実習Ⅰ ※	1後		1	2	4	2						
	心理実践実習Ⅲ ※	2通		2	2	4	2						
	心理実践実習Ⅳ ※	2通		2	2	4	2						
	心理実践実習Ⅴ ※	2通		2	2	4	2						
	心理実践実習Ⅵ ※	2通		2	2	4	2						
	小計(10科目)		0	0	19	2	4	2	4	2	0	0	3

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
地域創成専攻	地域計画学特論	1・2前	2							1
	地域社会特論	1・2後	2							1
	公共政策特論	1・2前	2							1
	法学特論	1・2後	2							1
	経済学特論	1・2前	2							1
	地域構造特論	1・2前	2							1
	空間情報科学特論	1・2前	2							1
	地域文化特論	1・2前	2							1
	地域言語特論	1・2後	2							1
	日本歴史文化特論	1・2後	2							2
	アート表現特論	1・2前	2							1
	映像デザイン特論	1・2後	2							1
	空間デザイン特論	1・2後	2							1
	健康社会特論	1・2前	2							1
	応用生理学特論	1・2前	2							1
	福祉社会特論	1・2前	2							1
	行動科学	1・2後	2			1				1
	健康科学特論	1・2後	2							1
	健康心理学特論	1・2前	2							1
	グローバル社会特論	1・2前	2							1
	グローバル文化特論	1・2後	2							1
	国際関係特論	1・2後	2							1
	国際経済特論	1・2前	2							1
	応用倫理学特論	1・2後	2							2
	言語コミュニケーション特論	1・2後	2							3
	英語圏文化特論	1・2後	2							2
	英語圏歴史文化特論	1・2後	2							1
	ヨーロッパ文化特論	1・2前	2							2
アジア文化特論	1・2後	2							2	
日本語文化特論	1・2前	2							2	
日本文化特論	1・2前	2							1	
小計(31科目)			0	62	0	1	0	0	0	38
教育クラスター科目	耐震工学特論	1・2前	2							1
	耐風工学特論	1後	2							1
	斜面減災工学特論	1後	2							1
	津波解析特論	1・2前	2							1
	地盤力学特論	1前	2							1
	応用水理学特論	1・2前	2							2
	鉄筋コンクリート工学特論	1後	4							2
	建設材料物性特論	1・2前	2							1
	リスクコミュニケーション	1前	2							10
	危機管理学	1前	2			1				9
	メンタルヘルスケア	1後	2							4
	防災危機管理実習	1後	1							9
	行政・企業のリスクマネジメント	1後	2							12
	事業継続計画(BCP)の策定と実践	2前	2							6
	行政・企業防災・危機管理実務演習	2後	1							4
	都市交通計画特論	1・2前	2							1
	建築計画学特論	1前	2							1
	都市・地域計画論	1・2後	2							1
	プロジェクトマネジメント	1前	2							1
	都市交通システム計画	1・2後	2							2
	都市地域情報システム	1・2前	2							2
	流域水管理工学	1後	2							2
	ミチゲーション工学	1後	2							5
	環境生態学特論	1・2後	2							1
	グリーンインフラ論	1・2後	2							3
	生産システム論	1後	2							1
	応用流体力学特論	1前	2							2
	材料強度学特論	1前	2							1
	燃焼工学	1後	2							1
	生産加工学	1前	2							2
	バイオメカニカルデザイン	1後	2							2
バイオマテリアル	1後	2							2	
機械材料物性特論	1前	2							2	
計算力学特論	1前	2							1	
流体エネルギー変換工学	1後	2							1	
振動工学特論	1前	2							1	
材料工学	1前	2							2	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
地域創成専攻	地域計画学特論	1・2前	2							1
	地域社会特論	1・2後	2							1
	公共政策特論	1・2前	2							1
	法学特論	1・2後	2							1
	経済学特論	1・2前	2							1
	地域構造特論	1・2前	2							1
	空間情報科学特論	1・2前	2							1
	地域文化特論	1・2前	2							1
	地域言語特論	1・2後	2							1
	日本歴史文化特論	1・2後	2							2
	アート表現特論	1・2前	2							1
	映像デザイン特論	1・2後	2							1
	空間デザイン特論	1・2後	2							1
	健康社会特論	1・2前	2							1
	応用生理学特論	1・2前	2							1
	福祉社会特論	1・2前	2							1
	行動科学	1・2後	2			1				1
	健康科学特論	1・2後	2							1
	健康心理学特論	1・2前	2							1
	グローバル社会特論	1・2後	2							0
	グローバル文化特論	1・2後	2							1
	国際関係特論	1・2後	2							1
	国際経済特論	1・2前	2							1
	応用倫理学特論	1・2後	2							2
	言語コミュニケーション特論	1・2後	2							3
	英語圏文化特論	1・2後	2							2
	英語圏歴史文化特論	1・2後	2							1
	ヨーロッパ文化特論	1・2前	2							2
	アジア文化特論	1・2後	2							2
	日本語文化特論	1・2前	2							2
	日本文化特論	1・2前	2							1
小計(31科目)			0	62	0	1	0	0	0	37
教育クラスター科目	耐震工学特論	1・2前	2							1
	耐風工学特論	1後	2							1
	斜面減災工学特論	1後	2							1
	津波解析特論	1・2前	2							1
	地盤力学特論	1前	2							1
	応用水理学特論	1・2前	2							2
	鉄筋コンクリート工学特論	1後	4							2
	建設材料物性特論	1・2前	2							1
	リスクコミュニケーション	1前	2							10
	危機管理学	1前	2			1				9
	メンタルヘルスケア	1後	2							4
	防災危機管理実習	1後	1							9
	行政・企業のリスクマネジメント	1後	2							12
	事業継続計画(BCP)の策定と実践	2前	2							6
	行政・企業防災・危機管理実務演習	2後	1							4
	都市交通計画特論	1・2前	2							1
	建築計画学特論	1前	2							1
	都市・地域計画論	1・2後	2							1
	プロジェクトマネジメント	1前	2							1
	都市交通システム計画	1・2後	2							2
	都市地域情報システム	1・2前	2							2
	流域水管理工学	1後	2							2
	ミチゲーション工学	1後	2							5
	環境生態学特論	1・2後	2							1
	グリーンインフラ論	1・2後	2							3
	生産システム論	1後	2							1
	応用流体力学特論	1前	2							2
	材料強度学特論	1前	2							1
	燃焼工学	1後	2							1
	生産加工学	1前	2							2
	バイオメカニカルデザイン	1後	2							2
バイオマテリアル	1後	2							2	
機械材料物性特論	1前	2							2	
計算力学特論	1前	2							1	
流体エネルギー変換工学	1後	2							1	
振動工学特論	1前	2							1	
材料工学	1前	2							2	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育クラスター科目 理工学専攻	エネルギー環境工学	1前	2									2
	熱力学特論	1後	2									1
	分光計測学	1後	2									1
	ロボット工学特論	1前	2									1
	デジタル制御論	1後	2									1
	分子エネルギー遷移論	1後	2									1
	非破壊計測学	1前	2									2
	アクチュエータ理論	1前	2									1
	立体化学特論	1後	2									2
	有機化学特論	1・2前	2									1
	高分子化学特論	1後	2									3
	物理化学特論	1前	2									2
	量子化学特論	1前	2									1
	分析・環境化学特論	1後	2									2
	物性化学特論	1前	2									2
	化学反応工学特論	1前	2									2
	分離工学特論	1前	2									1
	材料科学特論	1前	2									2
	電工学特論	1・2後	2									1
	電磁環境特論	1・2後	2									1
	制御理論特論	1前	2									1
	高電圧工学特論	1後	2									1
	デジタル通信工学特論	1後	2									1
	光デバイス特論	1前	2									1
	ナノエレクトロニクス特論	1前	2									1
	回路工学特論	1後	2									2
	電子回路特論	1前	2									1
	電気機器応用システム特論	1・2後	2									1
	電力システム特論	1・2後	2									1
	制御応用工学特論	1前	2									1
	電子デバイス特論	1前	2									1
	デバイスプロセス特論	1前	2									1
	集積回路特論	1前	2									2
	プラズマ応用工学特論	1後	2									1
	光材料科学特論	1後	2									1
	半導体工学特論	1前	2									1
	生体工学特論	1後	2									2
	自律知能システム	1前	2									1
	複雑系システム工学特論	1前	2									1
	情報ネットワーク	1前	2									2
情報セキュリティシステム論	1前	2									4	
画像応用工学	1前	2									2	
ヒューマンセンシング	1前	2									3	
自然言語理解	1後	2									3	
言語モデル論	1後	2									4	
機械翻訳特論	1後	2									3	
マルチメディア工学	1後	2									3	
光物性工学	1・2前	2									2	
フォトニックデバイス	1・2前	2									2	
ナノ光計測工学	1・2後	2									1	
ナノ材料工学	1・2後	2									1	
光機能材料・光デバイス論1	1後	1									5	
光機能材料・光デバイス論2	1前	1									3	
ディスプレイ論	1・2後	2									1	
視覚情報処理	1・2前	2									1	
多元画像処理	1・2前	2									1	
光通信システム工学特論	1・2前	2									2	
フォトニックネットワーク	1・2前	2									2	
代数構造特論	1前	2									1	
力学系数理解論	1後	2									1	
離散数学特論	1前	2									1	
組合せ最適化特論	1前	2									1	
数式処理特論	1前	2									1	
幾何学特論	1後	2									1	
現象数理解析特論	1後	2									1	
整数論特論	1前	2									1	
非線形現象解析特論	1後	2									1	
確率計画法特論	1後	2									1	
関数方程式特論	1前	2									1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育クラスター科目 理工学専攻	エネルギー環境工学	1前	2									2
	熱力学特論	1後	2									1
	分光計測学	1後	2									1
	ロボット工学特論	1前	2									1
	デジタル制御論	1後	2									1
	分子エネルギー遷移論	1後	2									1
	非破壊計測学	1前	2									2
	アクチュエータ理論	1前	2									1
	立体化学特論	1後	2									2
	有機化学特論	1・2前	2									1
	高分子化学特論	1後	2									3
	物理化学特論	1前	2									2
	量子化学特論	1前	2									1
	分析・環境化学特論	1後	2									2
	物性化学特論	1前	2									2
	化学反応工学特論	1前	2									2
	分離工学特論	1前	2									1
	材料科学特論	1前	2									2
	電工学特論	1・2後	2									1
	電磁環境特論	1・2後	2									1
	制御理論特論	1前	2									1
	高電圧工学特論	1後	2									1
	デジタル通信工学特論	1後	2									1
	光デバイス特論	1前	2									1
	ナノエレクトロニクス特論	1前	2									1
	回路工学特論	1後	2									2
	電子回路特論	1前	2									1
	電気機器応用システム特論	1・2後	2									1
	電力システム特論	1・2後	2									1
	制御応用工学特論	1前	2									1
	電子デバイス特論	1前	2									1
	デバイスプロセス特論	1前	2									1
	集積回路特論	1前	2									2
	プラズマ応用工学特論	1後	2									1
	光材料科学特論	1後	2									1
	半導体工学特論	1前	2									1
	生体工学特論	1後	2									2
	自律知能システム	1前	2									1
	複雑系システム工学特論	1前	2									1
	情報ネットワーク	1前	2									2
情報セキュリティシステム論	1前	2									4	
画像応用工学	1前	2									2	
ヒューマンセンシング	1前	2									3	
自然言語理解	1後	2									3	
言語モデル論	1後	2									4	
機械翻訳特論	1後	2									3	
マルチメディア工学	1後	2									3	
光物性工学	1・2前	2									2	
フォトニックデバイス	1・2前	2									2	
ナノ光計測工学	1・2後	2									1	
ナノ材料工学	1・2後	2									1	
光機能材料・光デバイス論1	1後	1									5	
光機能材料・光デバイス論2	1前	1									3	
ディスプレイ論	1・2後	2									1	
視覚情報処理	1・2前	2									1	
多元画像処理	1・2前	2									1	
光通信システム工学特論	1・2前	2									2	
フォトニックネットワーク	1・2前	2									2	
代数構造特論	1前	2									1	
力学系数理解論	1後	2									1	
離散数学特論	1前	2									1	
組合せ最適化特論	1前	2									1	
数式処理特論	1前	2									1	
幾何学特論	1後	2									1	
現象数理解析特論	1後	2									1	
整数論特論	1前	2									1	
非線形現象解析特論	1後	2									1	
確率計画法特論	1後	2									1	
関数方程式特論	1前	2									1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
理工学専攻	量子科学基礎理論	1前	2							1	
	宇宙素粒子科学特論	1前	2							1	
	宇宙線計測学特論	1後	2							1	
	量子物性物理学	1後	2							1	
	超伝導物質科学	1前	2							1	
	強相関物質科学	1後	2							1	
	固体イオニクス	1後	2							1	
	磁気共鳴科学	1前	2							1	
	物性計測学	1前	2							1	
	極限環境物性学	1後	2							1	
	環境物理化学特論	1後	2							1	
	グリーンケミストリー特論	1後	2							1	
	有機機能性物質化学特論	1後	2							1	
	環境無機化学特論	1後	2							2	
	環境分析化学特論	1前	2							1	
	有機合成化学特論	1前	2							1	
	物質化学特論	1前	2							7	
	有機金属化学特論	1前	2							1	
	生物化学特論	1前	2							1	
	発生情報科学特論	1前	2							1	
	生命情報科学特論	1後	2							1	
	集団遺伝学特論	1後	2							1	
	構造地質学特論	1後	2							1	
	環境・防災地質学特論	1前	2							1	
	岩石・鉱物学特論	1後	2							1	
	計算数理特論	1後	2							1	
	応用代数特論	1後	2							1	
	数理解析方法論	1後	2							1	
	微分方程式特論	1後	2							1	
	代数学特論	1後	2							1	
	応用解析学特論	1後	2							1	
	数学解析特論	1後	2							1	
	課題解決型インターンシップ(M)	1・2通	4							1	
	小計(139科目)			0	278	0	0	1	0	0	182
	教育クラスター科目	創薬学特論	1前	2							1
		細胞工学特論	1前	2							1
		生物化学工学特論	1前	2							1
		生体熱力学特論	1前	2							1
		生物物理化学特論	1前	2							1
		先端生命科学特論	1前	2							1
		環境生物学特論	1前	2							1
		再生医学特論	1後	2							1
		微生物工学特論	1後	2							1
ケミカルバイオロジー特論		1後	2							1	
細胞情報学特論		1後	2							1	
微生物検査学特論		1後	2							1	
食安全学特論		1前	2							1	
酵素化学特論		1前	2							1	
応用微生物学特論		1後	2							1	
生体機能学特論		1前	2							1	
機能性食品学特論		1前	2							1	
栄養生化学特論		1後	2							1	
食品評価特論		1後	2							1	
分子組織代謝学特論		1後	2							1	
食品加工保蔵特論		1後	2							1	
資源利用学特論		1後	2							1	
植物細胞工学特論		1前	2							1	
動物生殖工学特論		1前	2							1	
フィールド水圏生物学特論		1前	2							1	
畜産物利用学特論		1前	2							1	
植物保護学特論		1前	2							1	
森林代謝科学特論		1前	2							1	
分子発生生物学特論		1前	2							1	
生産システム制御工学特論		1後	2							1	
分子生態学特論		1後	2							1	
植物分子生物学特論		1後	2							1	
水産植物学特論		1後	2							1	
農業市場学特論		1後	2							1	
森林生物学特論		1後	2							1	
農業経済学特論		2前	2							1	
小計(36科目)			0	72	0	0	0	0	0	34	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
理工学専攻	量子科学基礎理論	1前	2							1	
	宇宙素粒子科学特論	1前	2							1	
	宇宙線計測学特論	1後	2							1	
	量子物性物理学	1後	2							1	
	超伝導物質科学	1前	2							1	
	強相関物質科学	1後	2							1	
	固体イオニクス	1後	2							1	
	磁気共鳴科学	1前	2							1	
	物性計測学	1前	2							1	
	極限環境物性学	1後	2							1	
	環境物理化学特論	1後	2							1	
	グリーンケミストリー特論	1後	2							1	
	有機機能性物質化学特論	1後	2							1	
	環境無機化学特論	1後	2							2	
	環境分析化学特論	1前	2							1	
	有機合成化学特論	1前	2							1	
	物質化学特論	1前	2							7	
	有機金属化学特論	1前	2							1	
	生物化学特論	1前	2							1	
	発生情報科学特論	1前	2							1	
	生命情報科学特論	1後	2							1	
	集団遺伝学特論	1後	2							1	
	構造地質学特論	1後	2							1	
	環境・防災地質学特論	1前	2							1	
	岩石・鉱物学特論	1後	2							1	
	計算数理特論	1後	2							1	
	応用代数特論	1後	2							1	
	数理解析方法論	1後	2							1	
	微分方程式特論	1後	2							1	
	代数学特論	1後	2							1	
	応用解析学特論	1後	2							1	
	数学解析特論	1後	2							1	
	課題解決型インターンシップ(M)	1・2通	4							1	
	小計(139科目)			0	278	0	0	1	0	0	186
	教育クラスター科目	創薬学特論	1後	2							1
		細胞工学特論	1前	2							1
		生物化学工学特論	1前	2							1
		生体熱力学特論	1前	2							1
		生物物理化学特論	1前	2							1
		先端生命科学特論	1前	2							1
		環境生物学特論	1前	2							1
		再生医学特論	1後	2							1
		微生物工学特論	1前	2							1
ケミカルバイオロジー特論		1後	2							1	
細胞情報学特論		1後	2							1	
微生物検査学特論		1後	2							1	
食安全学特論		1前	2							1	
酵素化学特論		1前	2							1	
応用微生物学特論		1後	2							1	
生体機能学特論		1前	2							1	
機能性食品学特論		1前	2							1	
栄養生化学特論		1後	2							1	
食品評価特論		1後	2							1	
分子組織代謝学特論		1後	2							1	
食品加工保蔵特論		1後	2							1	
資源利用学特論		1後	2							1	
植物細胞工学特論		1前	2							1	
動物生殖工学特論		1前	2							1	
フィールド水圏生物学特論		1前	2							1	
畜産物利用学特論		1前	2							1	
植物保護学特論		1前	2							1	
森林代謝科学特論		1前	2							1	
分子発生生物学特論		1前	2							1	
生産システム制御工学特論		1後	2							1	
分子生態学特論		1後	2							1	
植物分子生物学特論		1後	2							1	
水産植物学特論		1後	2							1	
農業市場学特論		1後	2							1	
森林生物学特論		1後	2							1	
農業経済学特論		2前	2							1	
小計(36科目)			0	72	0	0	0	0	0	34	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
指学 導位 科目 論文	臨床心理学特別演習	1~2通	8			3	4	2				
	臨床心理分野横断セミナー	1後	2			1	1					
	小計(2科目)		10	0	0	3	4	2	0	0	0	0
合計(249科目)			-	28	440	19	3	4	2	0	0	271
卒業要件及び履修方法												
<p>・修了要件は、修士課程に2年間以上在学し、専攻規則で定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p> <p>・修了までに修得すべき単位は、研究科共通科目4単位以上(データサイエンス科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上)、専攻専門科目24単位以上、教育クラスター科目6単位以上(自コース以外の提供科目から2単位以上履修)、学位論文指導科目10単位、計44単位以上とする。</p> <p>【備考】専攻専門科目・教育クラスター科目欄の※印の科目は、専攻専門科目としてのみ開講する。</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
指学 導位 科目 論文	臨床心理学特別演習	1~2通	8			3	4	2				
	臨床心理分野横断セミナー	1後	2			1	1					
	小計(2科目)		10	0	0	3	4	2	0	0	0	0
合計(249科目)			-	28	440	19	3	4	2	0	0	276
卒業要件及び履修方法												
<p>・修了要件は、修士課程に2年間以上在学し、専攻規則で定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p> <p>・修了までに修得すべき単位は、研究科共通科目4単位以上(データサイエンス科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上)、専攻専門科目24単位以上、教育クラスター科目6単位以上(自コース以外の提供科目から2単位以上履修)、学位論文指導科目10単位、計44単位以上とする。</p> <p>【備考】専攻専門科目・教育クラスター科目欄の※印の科目は、専攻専門科目としてのみ開講する。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<p>【研究科共通科目】 ・採用予定教員の都合による変更。(科目:「ビジネスモデル特論」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。)</p> <p>【教育クラスター科目・地域創成専攻】 ・担当教員他大学転出に伴う就任辞退のため変更。(科目:「グローバル社会特論」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に、兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。後任教員を令和2年10月1日採用予定。令和2年3月 専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)申請中)</p> <p>【教育クラスター科目・理工学専攻】 ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「デザイン思考演習」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「7」に変更。) ・採用予定教員自己都合の理由による変更。(科目:「リスクコミュニケーション」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「10」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「防災危機管理実習」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「行政・企業のリスクマネジメント」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「12」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「ミテゲーション工学」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「5」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「自然言語理解」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。) ・教育課程充実の理由による変更。(科目:「言語モデル論」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。)</p> <p>【教育クラスター科目・生物資源学専攻】 ・教員の都合による変更。(科目:「創薬科学特論」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。) ・教員の都合による変更。(科目:「微生物工学特論」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。)</p>

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	226 科目	10 科目	249 科目	13 科目 [0]	226 科目 [0]	10 科目 [0]	249 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{249} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	その他の内、借地100,403㎡を含む 借用期間：5年			
	校舎敷地	253,688㎡	㎡	㎡	253,688㎡				
	運動場用地	61,908㎡	㎡	㎡	61,908㎡				
	小 計	315,596㎡	㎡	㎡	315,596㎡				
	そ の 他	156,104㎡	㎡	㎡	156,104㎡				
	合 計	471,700㎡	㎡	㎡	471,700㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	171,909㎡ (171,909㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	171,909㎡ (171,909㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	専攻単位で特定不能なため、大学全体の数			
	116室	148室	963室	17室 (補助職員 8 人)	2室 (補助職員 2 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻			9 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位での特定不能なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種						〔うち外国書〕
	大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)		
	計	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	8,279㎡		1,092		851,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,836㎡		テニスコート 弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
		共同研究費等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	徳島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
社会総合科学科	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	同上	
総合科学部	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
人間文化学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
社会創生学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
総合数理学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
医学部	-	288	3年次16	1412	-	1.00	1.01	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
医学科	6	114	-	684	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和24	同上	
医科栄養学科	4	50	-	200	学士(栄養学)	1.02	1.04	-	平成26	同上	
保健学科	4	124	3年次16	528	学士(保健学、看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	学士(看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
放射線技術科学専攻	4	37	3年次3	154	学士(保健学)	1.02	1.00	-	平成13	同上	
検査技術科学専攻	4	17	3年次3	74	学士(保健学)	1.05	1.05	-	平成13	同上	
歯学部	-	55	2年次3	315	-	1.01	1.00	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
歯学科	6	40	2年次3	255	学士(歯学)	1.01	1.00	-	昭和51	同上	
口腔保健学科	4	15	-	60	学士(口腔保健学)	1.00	1.00	-	平成19	同上	
薬学部	-	80	-	400	-	1.06	1.01	-	平成18	徳島県徳島市庄町1丁目78番地15	
薬学科	6	40	-	240	学士(薬学)	1.07	1.00	-	平成18	同上	
創製薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.04	1.02	-	平成18	同上	
理工学部	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
理工学科	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
昼間コース	4	550	3年次35	2270	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
夜間主コース	4	45	-	180	学士(理工学)	1.07	1.06	-	平成28	同上	
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
(もの作り創造システム工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(物質生命工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
化学応用工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(コンピュータ工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	

電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
光応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物資源産業学部	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業学)	1.01	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
生物資源産業学科	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業学)	1.01	1.00	-	平成28	同上	
創成科学研究科	-	375	-	375	-	0.99	0.99	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域創成専攻	-	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
修士課程	2	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
臨床心理学専攻	-	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
修士課程	2	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
理工学専攻	-	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
修士課程	2	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	同上	
生物資源学専攻	-	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
修士課程	2	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
総合科学教育部	-	4	-	59	-	0.84	1.25	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域科学専攻	-	4	-	47	-	0.80	1.25	-	平成21	同上	
博士前期課程	-	-	-	35	修士 (学術)	0.62	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.91	1.25	-	平成21	同上	
臨床心理学専攻	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士前期課程	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
医科学教育部	-	61	-	224	-	0.57	0.42	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
修士課程	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
医学専攻	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
博士課程	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
口腔科学教育部	-	25	-	88	-	0.69	0.44	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
口腔保健学専攻	-	7	-	16	-	1.02	0.42	-	-	同上	
博士前期課程	2	5	-	10	修士 (口腔保健 学)	0.70	0.40	-	平成23	同上	
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (口腔保健 学)	1.16	0.50	-	平成27	同上	
口腔科学専攻	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
博士課程	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
薬科学教育部	-	49	-	116	-	0.72	1.06	-	-	徳島県徳島市庄町1丁目7番地15	
創薬科学専攻	-	45	-	100	-	1.01	1.13	-	-	同上	
博士前期課程	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.02	1.20	-	平成22	同上	
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (薬科学)	1.00	0.90	-	平成24	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
博士課程	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
栄養生命科学教育部	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	

人間栄養科学専攻	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	同上	
博士前期課程	2	22	-	44	修士 (栄養学)	1.15	1.13	-	平成16	同上	
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (栄養学)	0.92	1.00	-	平成16	同上	
保健科学教育部	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
保健学専攻	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	同上	
博士前期課程	2	27	-	54	修士 (保健学、看護学)	1.01	0.92	-	平成18	同上	
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (保健学)	1.06	0.80	-	平成20	同上	
先端技術科学教育部	-	43	-	457	-	0.68	0.37	-	-	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
知的力学システム工学専攻	-	14	-	145	-	0.52	0.28	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	103	修士 (工学)	0.93	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	14	-	42	博士 (工学)	0.42	0.28	-	平成18	同上	
物質生命システム工学専攻	-	9	-	100	-	0.91	0.77	-	平成24	同上	
博士前期課程	-	-	-	73	修士 (工学)	0.98	-	-	平成24	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (工学)	0.88	0.77	-	平成24	同上	
システム創生工学専攻	-	20	-	212	-	0.68	0.25	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	152	修士 (工学)	0.92	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	20	-	60	博士 (工学)	0.61	0.25	-	平成18	同上	
大学全体		1908	56	7122		0.91					

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 <就任(予定)年月>		氏名 <就任(予定)年月>
	担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授 佐藤 健二 <令和2年4月> 臨床心理学特論A※ 臨床心理学特論B※ 臨床心理査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)※ 臨床心理基礎実習A※ 臨床心理基礎実習B※ 社会心理学特論※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー	専	教授 佐藤 健二 <令和2年4月> 臨床心理学特論A※ 臨床心理学特論B※ 臨床心理査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)※ 臨床心理基礎実習A※ 臨床心理基礎実習B※ 社会心理学特論※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー
専	教授 佐藤 裕 <令和2年4月> 認知心理学特論 認知心理学特論演習 臨床心理学特別演習 行動科学※	専	教授 佐藤 裕 <令和2年4月> 認知心理学特論 認知心理学特論演習 臨床心理学特別演習 行動科学※
専	教授 山本 真由美 <令和2年4月> 臨床心理学特論A※ 臨床心理学特論B※ 臨床心理査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)※ 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅰ) 臨床心理実習B 生涯発達心理学特論 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習	専	教授 山本 真由美 <令和2年4月> 臨床心理学特論A※ 臨床心理学特論B※ 臨床心理査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)※ 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅰ) 臨床心理実習B 生涯発達心理学特論 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習
専	准教授 内海(宮川) 千種 <令和2年4月> 臨床心理面接特論A(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理基礎実習A※ 臨床心理基礎実習B※ 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習 危機管理学※	専	准教授 内海(宮川) 千種 <令和2年4月> 臨床心理面接特論A(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理基礎実習A※ 臨床心理基礎実習B※ 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習 危機管理学※
専	准教授 福森 崇貴 <令和2年4月> 臨床心理面接特論B※ 臨床心理査定演習B※ 臨床心理基礎実習A※ 臨床心理基礎実習B※ 心理療法特論※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習	専	准教授 福森 崇貴 <令和2年4月> 臨床心理面接特論B※ 臨床心理査定演習B※ 臨床心理基礎実習A※ 臨床心理基礎実習B※ 心理療法特論※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習
専	准教授 山本 哲也 <令和2年4月> 臨床心理面接特論A(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理面接特論B※ 臨床心理査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)※ 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅰ) 臨床心理実習B 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー	専	准教授 山本 哲也 <令和2年4月> 臨床心理面接特論A(心理支援に関する理論と実践)※ 臨床心理面接特論B※ 臨床心理査定演習A(心理的アセスメントに関する理論と実践)※ 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅰ) 臨床心理実習B 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習 臨床心理分野横断セミナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	横谷 謙次 <令和2年4月>	専	准教授	横谷 謙次 <令和2年4月>
		臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B 臨床心理的地域援助特論 家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習			臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B 臨床心理的地域援助特論 家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習
専	講師	甲田 宗良 <令和2年4月>	専	講師	甲田 宗良 <令和2年4月>
		臨床心理査定演習B※ 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B 産業・労働分野に関する理論と支援の展開※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習			臨床心理査定演習B※ 臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B 産業・労働分野に関する理論と支援の展開※ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習
専	講師	津村 秀樹 <令和2年4月>	専	講師	津村 秀樹 <令和2年4月>
		臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習			臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ 臨床心理学特別演習
兼任	教授	齋場 和彦 <令和2年4月>	兼任	教授	齋場 和彦 <令和2年4月>
		国際協力論※ 国際関係特論			国際協力論※ 国際関係特論
兼任	教授	荒武 達朗 <令和2年4月>	兼任	教授	荒武 達朗 <令和2年4月>
		グローバル社会文化論 アジア文化特論			グローバル社会文化論 アジア文化特論
兼任	教授	安間 了 <令和2年4月>	兼任	教授	安間 了 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 構造地質学特論			科学技術論D※ 構造地質学特論
兼任	教授	井澤 健一 <令和2年4月>	兼任	教授	井澤 健一 <令和2年4月>
		量子科学基礎理論			量子科学基礎理論
兼任	教授	石田 徹 <令和2年4月>	兼任	教授	石田 徹 <令和2年4月>
		生産加工学※			生産加工学※
兼任	教授	石田 基広 <令和2年4月>	兼任	教授	石田 基広 <令和2年4月>
		データサイエンス			データサイエンス
兼任	教授	一宮 昌司 <令和2年4月>	兼任	教授	一宮 昌司 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学			科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	今井 昭二 <令和2年4月>	兼任	教授	今井 昭二 <令和2年4月>
		環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※			環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※
兼任	教授	今田 泰嗣 <令和2年4月>	兼任	教授	今田 泰嗣 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 立体化学特論※			科学技術論B※ 立体化学特論※
兼任	教授	上田 隆雄 <令和2年4月>	兼任	教授	上田 隆雄 <令和2年4月>
		鉄筋コンクリート工学特論※			鉄筋コンクリート工学特論※
兼任	教授	上田 哲史 <令和2年4月>	兼任	教授	上田 哲史 <令和2年4月>
		複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※			複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※
兼任	教授	右手 浩一 <令和2年4月>	兼任	教授	右手 浩一 <令和2年4月>
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	教授	宇都 義浩 <令和2年4月>	兼任	教授	宇都 義浩 <令和2年4月>
		創薬学特論			創薬学特論
兼任	教授	太田 光浩 <令和2年4月>	兼任	教授	太田 光浩 <令和2年4月>
		応用流体力学特論※			応用流体力学特論※
兼任	教授	大淵 朗 <令和2年4月>	兼任	教授	大淵 朗 <令和2年4月>
		代数構造特論			代数構造特論
兼任	教授	大山 陽介 <令和2年4月>	兼任	教授	大山 陽介 <令和2年4月>
		数学解析特論			数学解析特論
兼任	教授	小笠原 正道 <令和2年4月>	兼任	教授	小笠原 正道 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論			科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論
兼任	教授	岡田 達也 <令和2年4月>	兼任	教授	岡田 達也 <令和2年4月>
		機械材料物性特論※			機械材料物性特論※
兼任	教授	岡村 英一 <令和2年4月>	兼任	教授	岡村 英一 <令和2年4月>
		物性化学特論※			物性化学特論※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	小川 宏樹 <令和2年4月>	兼任	教授	小川 宏樹 <令和2年4月>
		建築計画学特論			建築計画学特論
兼任	教授	奥嶋 政嗣 <令和2年4月>	兼任	教授	奥嶋 政嗣 <令和2年4月>
		データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※			データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※
兼任	教授	刑部 敬史 <令和2年4月>	兼任	教授	刑部 敬史 <令和2年4月>
		植物細胞工学特論			植物細胞工学特論
兼任	教授	音井 威重 <令和2年4月>	兼任	教授	音井 威重 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 動物生殖工学特論			科学技術論B※ 動物生殖工学特論
兼任	教授	小野 公輔 <令和2年4月>	兼任	教授	小野 公輔 <令和2年4月>
		データサイエンス 現象数理解析特論			データサイエンス 現象数理解析特論
兼任	教授	片山 真一 <令和2年4月>	兼任	教授	片山 真一 <令和2年4月>
		整数論特論			整数論特論
兼任	教授	金丸 芳 <令和2年4月>	兼任	教授	金丸 芳 <令和2年4月>
		食安全学特論 食品加工保蔵特論			食安全学特論 食品加工保蔵特論
兼任	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>	兼任	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>
		科学技術論A※ グリーンインフラ論※			科学技術論A※ グリーンインフラ論※
兼任	教授	川田 昌武 <令和2年4月>	兼任	教授	川田 昌武 <令和2年4月>
		電工学特論 電磁環境特論			電工学特論 電磁環境特論
兼任	教授	河田 佳樹 <令和2年4月>	兼任	教授	河田 佳樹 <令和2年4月>
		データサイエンス 多元画像処理			データサイエンス 多元画像処理
兼任	教授	岸本 豊 <令和2年4月>	兼任	教授	岸本 豊 <令和2年4月>
		超伝導物質科学			超伝導物質科学
兼任	教授	北 研二 <令和2年4月>	兼任	教授	北 研二 <令和2年4月>
		言語モデル論※			言語モデル論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	木戸口 善行 <令和2年4月>	兼任	教授	木戸口 善行 <令和2年4月>
		エネルギー環境工学※			エネルギー環境工学※
兼任	教授	衣川 仁 <令和2年4月>	兼任	教授	衣川 仁 <令和2年4月>
		日本歴史文化特論※			日本歴史文化特論※
兼任	教授	木下 和彦 <令和2年4月>	兼任	教授	木下 和彦 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 情報ネットワーク※			科学技術論C※ 情報ネットワーク※
兼任	教授	金 成海 <令和2年4月>	兼任	教授	金 成海 <令和2年4月>
		数理解析方法論			数理解析方法論
兼任	教授	久保 智裕 <令和2年4月>	兼任	教授	久保 智裕 <令和2年4月>
		制御理論特論			制御理論特論
兼任	教授	上月 康則 <令和2年4月>	兼任	教授	上月 康則 <令和2年4月>
		危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※			危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※
兼任	教授	後藤 信夫 <令和2年4月>	兼任	教授	後藤 信夫 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※			科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※
兼任	教授	齊藤 隆仁 <令和2年4月>	兼任	教授	齊藤 隆仁 <令和2年4月>
		データサイエンス 物性計測学			データサイエンス 物性計測学
兼任	教授	佐久間 亮 <令和2年4月>	兼任	教授	佐久間 亮 <令和2年4月>
		英語圏歴史文化特論			英語圏歴史文化特論
兼任	教授	櫻谷 英治 <令和2年4月>	兼任	教授	櫻谷 英治 <令和2年4月>
		応用微生物学特論			応用微生物学特論
兼任	教授	佐藤 充宏 <令和2年4月>	兼任	教授	佐藤 充宏 <令和2年4月>
		健康社会特論			健康社会特論
兼任	教授	獅々堀 正幹 <令和2年4月>	兼任	教授	獅々堀 正幹 <令和2年4月>
		科学技術論C※ マルチメディア工学※			科学技術論C※ マルチメディア工学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	島本 隆 <令和2年4月>	兼任	教授	島本 隆 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 集積回路特論※			科学技術論D※ 集積回路特論※
兼任	教授	下村 直行 <令和2年4月>	兼任	教授	下村 直行 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 高電圧工学特論			科学技術論D※ 高電圧工学特論
兼任	教授	杉山 茂 <令和2年4月>	兼任	教授	杉山 茂 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 化学反応工学特論※			科学技術論B※ 化学反応工学特論※
兼任	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE <令和2年4月>	兼任	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションA 言語コミュニケーション特論			グローバルコミュニケーションA 言語コミュニケーション特論
兼任	教授	田井 章博 <令和2年4月>	兼任	教授	田井 章博 <令和2年4月>
		栄養生化学特論			栄養生化学特論
兼任	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>	兼任	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>
		ロボット工学特論			ロボット工学特論
兼任	教授	高木 均 <令和2年4月>	兼任	教授	高木 均 <令和2年4月>
		材料工学※			材料工学※
兼任	教授	高田 篤 <令和2年4月>	兼任	教授	高田 篤 <令和2年4月>
		科学技術論D※ デジタル通信工学特論			科学技術論D※ デジタル通信工学特論
兼任	教授	高橋 晋一 <令和2年4月>	兼任	教授	高橋 晋一 <令和2年4月>
		グローバル社会文化論 地域文化特論			グローバル社会文化論 地域文化特論
兼任	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>	兼任	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 応用代数特論			科学技術論C※ 応用代数特論
兼任	教授	高柳 俊夫 <令和2年4月>	兼任	教授	高柳 俊夫 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 分析・環境化学特論※			科学技術論B※ 分析・環境化学特論※
兼任	教授	竹内 敏己 <令和2年4月>	兼任	教授	竹内 敏己 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 計算数理特論			科学技術論C※ 計算数理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	田中 保 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	田中 保 ＜令和2年4月＞
		科学技術論B※ 食品評価特論			科学技術論B※ 食品評価特論
兼任	教授	堤 和博 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	堤 和博 ＜令和2年4月＞
		日本語文化特論※			日本語文化特論※
兼任	教授	出口 祥啓 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	出口 祥啓 ＜令和2年4月＞
		分子エネルギー遷移論			分子エネルギー遷移論
兼任	教授	寺田 賢治 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	寺田 賢治 ＜令和2年4月＞
		科学技術論C※ デザイン思考演習 画像応用工学 課題解決型インターンシップ (M)			科学技術論C※ デザイン思考演習 画像応用工学 課題解決型インターンシップ (M)
兼任	教授	豊田 哲也 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	豊田 哲也 ＜令和2年4月＞
		地域構造特論			地域構造特論
兼任	教授	直井 美貴 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	直井 美貴 ＜令和2年4月＞
		科学技術論D※ 光デバイス特論			科学技術論D※ 光デバイス特論
兼任	教授	長尾 文明 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	長尾 文明 ＜令和2年4月＞
		科学技術論A※ 耐風工学特論			科学技術論A※ 耐風工学特論
兼任	教授	永瀬 雅夫 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	永瀬 雅夫 ＜令和2年4月＞
		ナノエレクトロニクス特論			ナノエレクトロニクス特論
兼任	教授	中野 晋 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	中野 晋 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習
兼任	教授	長宗 秀明 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	長宗 秀明 ＜令和2年4月＞
		科学技術論B※ 細胞工学特論			科学技術論B※ 細胞工学特論
兼任	教授	中村 嘉利 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	中村 嘉利 ＜令和2年4月＞
		科学技術論B※ 生物化学工学特論			科学技術論B※ 生物化学工学特論
兼任	教授	中村 浩一 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	中村 浩一 ＜令和2年4月＞
		固体イオニクス			固体イオニクス

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	中村 豊 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	中村 豊 ＜令和2年4月＞
		日本歴史文化特論			日本歴史文化特論
兼任	教授	西尾 芳文 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	西尾 芳文 ＜令和2年4月＞
		回路工学特論※			回路工学特論※
兼任	教授	西野 秀郎 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	西野 秀郎 ＜令和2年4月＞
		機械材料物性特論※			機械材料物性特論※
兼任	教授	任（中川）福継 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	任（中川）福継 ＜令和2年4月＞
		科学技術論E※ 機械翻訳特論			科学技術論E※ 機械翻訳特論
兼任	教授	橋爪 正樹 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	橋爪 正樹 ＜令和2年4月＞
		電子回路特論			電子回路特論
兼任	教授	橋本 親典 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	橋本 親典 ＜令和2年4月＞
		科学技術論A※ 建設材料物性特論			科学技術論A※ 建設材料物性特論
兼任	教授	蓮沼 徹 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	蓮沼 徹 ＜令和2年4月＞
		離散数学特論			離散数学特論
兼任	教授	長谷崎 和洋 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	長谷崎 和洋 ＜令和2年4月＞
		熱力学特論			熱力学特論
兼任	教授	馬場 俊孝 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	馬場 俊孝 ＜令和2年4月＞
		津波解析特論			津波解析特論
兼任	教授	濱野 龍夫 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	濱野 龍夫 ＜令和2年4月＞
		フィールド水圏生物学特論			フィールド水圏生物学特論
兼任	教授	原口 雅宣 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	原口 雅宣 ＜令和2年4月＞
		科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※			科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※
兼任	教授	日野 順市 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	日野 順市 ＜令和2年4月＞
		科学技術論A※ 振動工学特論			科学技術論A※ 振動工学特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	福見 稔 〈令和2年4月〉	兼任	教授	福見 稔 〈令和2年4月〉
		ヒューマンセンシング			ヒューマンセンシング
兼任	教授	泓田 正雄 〈令和2年4月〉	兼任	教授	泓田 正雄 〈令和2年4月〉
		自然言語理解			自然言語理解
兼任	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論			科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論
兼任	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉	兼任	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉
		ナノ光計測工学 光機能材料・光デバイス論2※			ナノ光計測工学 光機能材料・光デバイス論2※
兼任	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉	兼任	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉
		電気機器応用システム特論 電力システム特論			電気機器応用システム特論 電力システム特論
兼任	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉	兼任	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉
		発生情報科学特論			発生情報科学特論
兼任	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉
		量子物性物理学			量子物性物理学
兼任	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉
		情報セキュリティシステム論※			情報セキュリティシステム論※
兼任	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 集団遺伝学特論			科学技術論D※ 集団遺伝学特論
兼任	教授	松木 均 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松木 均 〈令和2年4月〉
		生体熱力学特論			生体熱力学特論
兼任	教授	松本 健志 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松本 健志 〈令和2年4月〉
		バイオメカニカルデザイン※			バイオメカニカルデザイン※
兼任	教授	三浦 哉 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三浦 哉 〈令和2年4月〉
		応用生理学特論 行動科学※			応用生理学特論 行動科学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	三隅 友子 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三隅 友子 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションA			グローバルコミュニケーションA
兼任	教授	南川 慶二 〈令和2年4月〉	兼任	教授	南川 慶二 〈令和2年4月〉
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	教授	三好 徳和 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三好 徳和 〈令和2年4月〉
		有機合成化学特論 物質化学特論※			有機合成化学特論 物質化学特論※
兼任	教授	三好 弘一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三好 弘一 〈令和2年4月〉
		量子化学特論			量子化学特論
兼任	教授	武藤 裕則 〈令和2年4月〉	兼任	教授	武藤 裕則 〈令和2年4月〉
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※			応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※
兼任	教授	村上 敬一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	村上 敬一 〈令和2年4月〉
		地域言語特論			地域言語特論
兼任	教授	村上 公一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	村上 公一 〈令和2年4月〉
		非線形現象解析特論			非線形現象解析特論
兼任	教授	森賀 俊広 〈令和2年4月〉	兼任	教授	森賀 俊広 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 材料科学特論※			科学技術論B※ 材料科学特論※
兼任	教授	森松 文毅 〈令和2年4月〉	兼任	教授	森松 文毅 〈令和2年4月〉
		畜産物利用学特論			畜産物利用学特論
兼任	教授	守安 一峰 〈令和2年4月〉	兼任	教授	守安 一峰 〈令和2年4月〉
		力学系数理特論			力学系数理特論
兼任	教授	安井 武史 〈令和2年4月〉	兼任	教授	安井 武史 〈令和2年4月〉
		非破壊計測学※			非破壊計測学※
兼任	教授	安澤 幹人 〈令和2年4月〉	兼任	教授	安澤 幹人 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※			グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	安野 卓 <令和2年4月>	兼任	教授	安野 卓 <令和2年4月>
		制御応用工学特論			制御応用工学特論
兼任	教授	矢部 拓也 <令和2年4月>	兼任	教授	矢部 拓也 <令和2年4月>
		地域社会特論			地域社会特論
兼任	教授	山口 鉄生 <令和2年4月>	兼任	教授	山口 鉄生 <令和2年4月>
		健康科学特論			健康科学特論
兼任	教授	山口 裕之 <令和2年4月>	兼任	教授	山口 裕之 <令和2年4月>
		応用倫理学特論			応用倫理学特論
兼任	教授	山中 英生 <令和2年4月>	兼任	教授	山中 英生 <令和2年4月>
		科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスクコミュニケーション※ 都市交通計画特論※ 都市・地域計画論※			科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスクコミュニケーション※ 都市交通計画特論 都市・地域計画論
兼任	教授	米倉 大介 <令和2年4月>	兼任	教授	米倉 大介 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 材料強度学特論			科学技術論A※ 材料強度学特論
兼任	教授	依岡 隆児 <令和2年4月>	兼任	教授	依岡 隆児 <令和2年4月>
		グローバル社会文化論 ヨーロッパ文化特論			グローバル社会文化論 ヨーロッパ文化特論
兼任	教授	渡部 稔 <令和2年4月>	兼任	教授	渡部 稔 <令和2年4月>
		生命情報科学特論			生命情報科学特論
兼任	准教授	敷 金平 <令和2年4月>	兼任	准教授	敷 金平 <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 電子デバイス特論			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 電子デバイス特論
兼任	准教授	青矢 睦月 <令和2年4月>	兼任	准教授	青矢 睦月 <令和2年4月>
		岩石・鉱物学特論			岩石・鉱物学特論
兼任	准教授	赤松 徹也 <令和2年4月>	兼任	准教授	赤松 徹也 <令和2年4月>
		生体機能学特論			生体機能学特論
兼任	准教授	浅田 元子 <令和2年4月>	兼任	准教授	浅田 元子 <令和2年4月>
		環境生物学特論			環境生物学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	新田 元規 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	新田 元規 〈令和2年4月〉
		アジア文化特論			アジア文化特論
兼任	准教授	ナカガイト ノリオ アントニオ 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	ナカガイト ノリオ アントニオ 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 材料工学※			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 材料工学※
兼任	准教授	池田 建司 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	池田 建司 〈令和2年4月〉
		情報ネットワーク※			情報ネットワーク※
兼任	准教授	上野 勝利 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上野 勝利 〈令和2年4月〉
		地盤力学特論			地盤力学特論
兼任	准教授	上原 克之 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上原 克之 〈令和2年4月〉
		法律学特論			法律学特論
兼任	准教授	宇野 剛史 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	宇野 剛史 〈令和2年4月〉
		確率計画法特論			確率計画法特論
兼任	准教授	上手 洋子 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上手 洋子 〈令和2年4月〉
		回路工学特論※			回路工学特論※
兼任	准教授	大石 篤哉 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大石 篤哉 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 計算力学特論			データサイエンス 計算力学特論
兼任	准教授	大石 昌嗣 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大石 昌嗣 〈令和2年4月〉
		エネルギー環境工学※			エネルギー環境工学※
兼任	准教授	大沼 正樹 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大沼 正樹 〈令和2年4月〉
		函数方程式特論			函数方程式特論
兼任	准教授	大野 恭秀 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大野 恭秀 〈令和2年4月〉
		デバイスプロセス特論			デバイスプロセス特論
兼任	准教授	岡本 敏弘 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	岡本 敏弘 〈令和2年4月〉
		光物性工学※ フォトリソグラフィ※ 光機能材料・光デバイス論 1 ※			光物性工学※ フォトリソグラフィ※ 光機能材料・光デバイス論 1 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	刑部 祐里子 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	刑部 祐里子 ＜令和2年4月＞
		植物分子生物学特論			植物分子生物学特論
兼任	准教授	掛井 秀一 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	掛井 秀一 ＜令和2年4月＞
		空間デザイン特論			空間デザイン特論
兼任	准教授	加藤 雅裕 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	加藤 雅裕 ＜令和2年4月＞
		化学反応工学特論※			化学反応工学特論※
兼任	准教授	川上 竜巳 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	川上 竜巳 ＜令和2年4月＞
		酵素化学特論			酵素化学特論
兼任	准教授	河口 洋一 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	河口 洋一 ＜令和2年4月＞
		環境生態学特論			環境生態学特論
兼任	准教授	川崎 祐 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	川崎 祐 ＜令和2年4月＞
		強相関物質科学			強相関物質科学
			兼任	准教授	河田 和子 ＜令和2年4月＞
					日本語文化特論※
兼任	准教授	河原崎 貴光 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	河原崎 貴光 ＜令和2年4月＞
		アート表現特論			アート表現特論
兼任	准教授	岸川 博紀 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	岸川 博紀 ＜令和2年4月＞
		光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※			光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※
兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS ＜令和2年4月＞
		グローバル社会文化論			グローバル社会文化論
兼任	准教授	熊坂 元大 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	熊坂 元大 ＜令和2年4月＞
		応用倫理学特論			応用倫理学特論
兼任	准教授	コインカー パンカジ ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	コインカー パンカジ ＜令和2年4月＞
		グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※			グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	越山 顕一郎 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	越山 顕一郎 〈令和2年4月〉
		バイオマテリアル※			バイオマテリアル※
兼任	准教授	小田切 康彦 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	小田切 康彦 〈令和2年4月〉
		公共政策特論			公共政策特論
兼任	准教授	佐々木(田村)千鶴 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	佐々木(田村)千鶴 〈令和2年4月〉
		資源利用学特論			資源利用学特論
兼任	准教授	佐藤 高則 〈令和2年4月〉			
		生物化学特論			
兼任	准教授	佐藤 征弥 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	佐藤 征弥 〈令和2年4月〉
		植物保護学特論			植物保護学特論
兼任	准教授	佐野 雅彦 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	佐野 雅彦 〈令和2年4月〉
		情報セキュリティシステム論※			情報セキュリティシステム論※
兼任	准教授	佐原 理 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	佐原 理 〈令和2年4月〉
		映像デザイン特論			映像デザイン特論
兼任	准教授	SCHIEDGES OLAF 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	SCHIEDGES OLAF 〈令和2年4月〉
		日本文化特論			日本文化特論
兼任	准教授	重光 亨 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	重光 亨 〈令和2年4月〉
		応用流体力学特論※			応用流体力学特論※
兼任	准教授	蔦 景彩 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	蔦 景彩 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 斜面減災工学特論			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 斜面減災工学特論
兼任	准教授	鈴木 良尚 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	鈴木 良尚 〈令和2年4月〉
		物性化学特論※			物性化学特論※
兼任	准教授	宋 天 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	宋 天 〈令和2年4月〉
		データサイエンス グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 集積回路特論※			データサイエンス グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 集積回路特論※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	田口 太郎 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	田口 太郎 ＜令和2年4月＞
		地域計画学特論			地域計画学特論
兼任	准教授	田中 佳 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	田中 佳 ＜令和2年4月＞
		ヨーロッパ文化特論			ヨーロッパ文化特論
兼任	准教授	玉井 伸岳 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	玉井 伸岳 ＜令和2年4月＞
		生物物理化学特論			生物物理化学特論
兼任	准教授	田村 隆雄 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	田村 隆雄 ＜令和2年4月＞
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※			応用水理学特論※ 流域水管理工学※
兼任	准教授	趙 彤 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	趙 彤 ＜令和2年4月＞
		経済学特論			経済学特論
兼任	准教授	塚本 章宏 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	塚本 章宏 ＜令和2年4月＞
		空間情報科学特論			空間情報科学特論
兼任	准教授	土屋 敦 ＜令和2年4月＞			
		福祉社会特論			
兼任	准教授	寺西 研二 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	寺西 研二 ＜令和2年4月＞
		プラズマ応用工学特論			プラズマ応用工学特論
兼任	准教授	富田 卓朗 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	富田 卓朗 ＜令和2年4月＞
		光材料科学特論			光材料科学特論
兼任	准教授	富塚 昌輝 ＜令和2年4月＞			
		日本語文化特論※			
兼任	准教授	友安 俊文 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	友安 俊文 ＜令和2年4月＞
		先端生命科学特論			先端生命科学特論
兼任	准教授	内藤 直樹 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	内藤 直樹 ＜令和2年4月＞
		国際協力論※ グローバル文化特論			国際協力論※ グローバル文化特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	中島 浩二 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	中島 浩二 〈令和2年4月〉
		言語コミュニケーション特論			言語コミュニケーション特論
兼任	准教授	中田 成智 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	中田 成智 〈令和2年4月〉
		耐震工学特論			耐震工学特論
兼任	准教授	永田 裕一 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	永田 裕一 〈令和2年4月〉
		自律知能システム			自律知能システム
兼任	准教授	中塚 健太郎 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	中塚 健太郎 〈令和2年4月〉
		健康心理学特論			健康心理学特論
兼任	准教授	中山 慎一 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	中山 慎一 〈令和2年4月〉
		組合せ最適化特論			組合せ最適化特論
兼任	准教授	名田 諒 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	名田 諒 〈令和2年4月〉
		燃焼工学			燃焼工学
兼任	准教授	鍋島 克輔 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	鍋島 克輔 〈令和2年4月〉
		数式処理特論			数式処理特論
兼任	准教授	滑川 達 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	滑川 達 〈令和2年4月〉
		プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント
兼任	准教授	西野 克志 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	西野 克志 〈令和2年4月〉
		半導体工学特論			半導体工学特論
兼任	准教授	西山 賢一 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	西山 賢一 〈令和2年4月〉
		環境・防災地質学特論			環境・防災地質学特論
兼任	准教授	服部 武文 〈令和2年4月〉	兼任	教授	服部 武文 〈令和2年4月〉
		森林代謝科学特論			森林代謝科学特論
兼任	准教授	樋口 直人 〈令和2年4月〉			
		グローバル社会特論			

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	平田 章 ＜令和2年4月＞ 生物化学特論
兼任	准教授	平野 朋広 ＜令和2年4月＞ 立体化学特論※	兼任	准教授	平野 朋広 ＜令和2年4月＞ 立体化学特論※
兼任	准教授	深貝 暢良 ＜令和2年4月＞ 微分方程式特論	兼任	准教授	深貝 暢良 ＜令和2年4月＞ 微分方程式特論
兼任	准教授	堀河 俊英 ＜令和2年4月＞ 分離工学特論	兼任	准教授	堀河 俊英 ＜令和2年4月＞ 分離工学特論
兼任	准教授	水野 義紀 ＜令和2年4月＞ 代数学特論	兼任	准教授	水野 義紀 ＜令和2年4月＞ 代数学特論
兼任	准教授	三戸 太郎 ＜令和2年4月＞ 分子発生生物学特論	兼任	准教授	三戸 太郎 ＜令和2年4月＞ 分子発生生物学特論
兼任	准教授	南川 丈夫 ＜令和2年4月＞ 分光計測学	兼任	准教授	南川 丈夫 ＜令和2年4月＞ 分光計測学
兼任	准教授	宮脇 克行 ＜令和2年4月＞ 生産システム制御工学特論	兼任	准教授	宮脇 克行 ＜令和2年4月＞ 生産システム制御工学特論
兼任	准教授	三輪 昌史 ＜令和2年4月＞ アクチュエータ理論	兼任	准教授	三輪 昌史 ＜令和2年4月＞ アクチュエータ理論
兼任	准教授	向井(高橋)理恵 ＜令和2年4月＞ 機能性食品学特論	兼任	准教授	向井(高橋)理恵 ＜令和2年4月＞ 機能性食品学特論
兼任	准教授	村井 啓一郎 ＜令和2年4月＞ 材料科学特論※	兼任	准教授	村井 啓一郎 ＜令和2年4月＞ 材料科学特論※
兼任	准教授	森田 和宏 ＜令和2年4月＞ 自然言語理解	兼任	准教授	森田 和宏 ＜令和2年4月＞ 自然言語理解

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	山内 暁彦 <令和2年4月>	兼任	准教授	山内 暁彦 <令和2年4月>
		英語圏文化特論			英語圏文化特論
兼任	准教授	山城 考 <令和2年4月>	兼任	准教授	山城 考 <令和2年4月>
		分子生態学特論			分子生態学特論
兼任	准教授	山田(乾) 仁子 <令和2年4月>	兼任	准教授	山田(乾) 仁子 <令和2年4月>
		言語コミュニケーション特論			言語コミュニケーション特論
兼任	准教授	山本 圭 <令和2年4月>	兼任	准教授	山本 圭 <令和2年4月>
		分子組織代謝学特論			分子組織代謝学特論
兼任	准教授	山本 孝 <令和2年4月>	兼任	准教授	山本 孝 <令和2年4月>
		環境物理化学特論 物質化学特論※			環境物理化学特論 物質化学特論※
兼任	准教授	湯浅 恵造 <令和2年4月>	兼任	准教授	湯浅 恵造 <令和2年4月>
		細胞情報学特論			細胞情報学特論
兼任	准教授	吉田 文美 <令和2年4月>	兼任	准教授	吉田 文美 <令和2年4月>
		英語圏文化特論			英語圏文化特論
兼任	准教授	渡邊 健 <令和2年4月>	兼任	准教授	渡邊 克典 <令和2年4月>
		鉄筋コンクリート工学特論※			福祉社会特論
兼任	講師	芥川 正武 <令和2年4月>	兼任	講師	芥川 正武 <令和2年4月>
		生体工学特論※			生体工学特論※
兼任	講師	石川 真志 <令和2年4月>	兼任	講師	石川 真志 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 生産システム論			科学技術論A※ 生産システム論
兼任	講師	伊藤(大淵) 桃代 <令和2年4月>	兼任	講師	伊藤(大淵) 桃代 <令和2年4月>
		ヒューマンセンシング			ヒューマンセンシング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	犬飼 宗弘 〈令和2年4月〉	兼任	講師	犬飼 宗弘 〈令和2年4月〉
		磁気共鳴科学			磁気共鳴科学
兼任	講師	井ノ崎 敦子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	井ノ崎 敦子 〈令和2年4月〉
		臨床心理実習A（心理実践実習II） 臨床心理実習B			臨床心理実習A（心理実践実習II） 臨床心理実習B
兼任	講師	上野 雅晴 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上野 雅晴 〈令和2年4月〉
		グリーンケミストリー特論 物質化学特論※			グリーンケミストリー特論 物質化学特論※
兼任	講師	浮田 浩行 〈令和2年4月〉	兼任	講師	浮田 浩行 〈令和2年4月〉
		デジタル制御論			デジタル制御論
兼任	講師	榎本 崇宏 〈令和2年4月〉	兼任	講師	榎本 崇宏 〈令和2年4月〉
		生体工学特論※			生体工学特論※
兼任	講師	大野 将樹 〈令和2年4月〉	兼任	講師	大野 将樹 〈令和2年4月〉
		マルチメディア工学※			マルチメディア工学※
兼任	講師	岡 直宏 〈令和2年4月〉	兼任	講師	岡 直宏 〈令和2年4月〉
		水産植物学特論			水産植物学特論
兼任	講師	岡本 邦也 〈令和2年4月〉	兼任	講師	岡本 邦也 〈令和2年4月〉
		応用解析学特論			応用解析学特論
兼任	講師	押村 美幸 〈令和2年4月〉	兼任	講師	押村 美幸 〈令和2年4月〉
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	講師	折戸（窪） 玲子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	折戸（窪） 玲子 〈令和2年4月〉
		宇宙線計測学特論			宇宙線計測学特論
兼任	講師	カルンガル ステファン ギ ディンシ 〈令和2年4月〉	兼任	講師	カルンガル ステファン ギ ディンシ 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学
兼任	講師	岸本 幸治 〈令和2年4月〉	兼任	講師	岸本 幸治 〈令和2年4月〉
		再生医学特論			再生医学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	北岡 和義 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	北岡 和義 ＜令和2年4月＞
		デザイン思考演習			デザイン思考演習
兼任	講師	日下 一也 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	日下 一也 ＜令和2年4月＞
		非破壊計測学※			非破壊計測学※
兼任	講師	佐藤 克也 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	佐藤 克也 ＜令和2年4月＞
		バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※			バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※
兼任	講師	白井 昭博 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	白井 昭博 ＜令和2年4月＞
		微生物工学特論			微生物工学特論
兼任	講師	白根 竹人 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	白根 竹人 ＜令和2年4月＞
		幾何学特論			幾何学特論
兼任	講師	田端 厚之 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	田端 厚之 ＜令和2年4月＞
		微生物検査学特論			微生物検査学特論
兼任	講師	中瀬 理仁 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	中瀬 理仁 ＜令和2年4月＞
		精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）			精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
兼任	講師	中村 光裕 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	中村 光裕 ＜令和2年4月＞
		有機機能性物質化学特論 物質化学特論※			有機機能性物質化学特論 物質化学特論※
兼任	講師	西内 優騎 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	西内 優騎 ＜令和2年4月＞
		有機化学特論			有機化学特論
兼任	講師	西出 俊 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	西出 俊 ＜令和2年4月＞
		機械翻訳特論			機械翻訳特論
兼任	講師	橋本 直史 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	橋本 直史 ＜令和2年4月＞
		農業市場学特論 農業経済学特論			農業市場学特論 農業経済学特論
兼任	講師	島 一樹 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	島 一樹 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	久田 旭彦 <令和2年4月>	兼任	講師	久田 旭彦 <令和2年4月>
		極限環境物性学			極限環境物性学
兼任	講師	水口 仁志 <令和2年4月>	兼任	講師	水口 仁志 <令和2年4月>
		分析・環境化学特論※			分析・環境化学特論※
兼任	講師	水科 晴樹 <令和2年4月>	兼任	講師	水科 晴樹 <令和2年4月>
		ディスプレイ論 視覚情報処理			ディスプレイ論 視覚情報処理
兼任	講師	溝淵 啓 <令和2年4月>	兼任	准教授	溝淵 啓 <令和2年4月>
		生産加工学※			生産加工学※
兼任	講師	光原 弘幸 <令和2年4月>	兼任	准教授	光原 弘幸 <令和2年4月>
		マルチメディア工学※			マルチメディア工学※
兼任	講師	山下 聡 <令和2年4月>	兼任	講師	山下 聡 <令和2年4月>
		森林生物学特論			森林生物学特論
兼任	講師	山田 久嗣 <令和2年4月>	兼任	講師	山田 久嗣 <令和2年4月>
		ケミカルバイオロジー特論			ケミカルバイオロジー特論
兼任	講師	山中 亮一 <令和2年4月>	兼任	講師	山中 亮一 <令和2年4月>
		防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※			防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※
兼任	講師	吉田 健 <令和2年4月>	兼任	講師	吉田 健 <令和2年4月>
		物理化学特論※			物理化学特論※
兼任	講師	吉田 稔 <令和2年4月>	兼任	講師	吉田 稔 <令和2年4月>
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	助教	油井 毅 <令和2年4月>	兼任	助教	油井 毅 <令和2年4月>
		デザイン思考演習			デザイン思考演習
兼任	助教	伊藤 伸一 <令和2年4月>	兼任	講師	伊藤 伸一 <令和2年4月>
		科学技術論C※ ヒューマンセンシング			科学技術論C※ ヒューマンセンシング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	尾野(岩切) 薫 〈令和2年4月〉			
		都市交通計画特論※ 都市・地域計画論※			
兼任	助教	金井 純子 〈令和2年4月〉	兼任	助教	金井 純子 〈令和2年4月〉
		デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスクエア※ 行政・企業のリスクマネジメント※			デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスクエア※ 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	助教	康 鑫 〈令和2年4月〉	兼任	助教	康 鑫 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 機械翻訳特論			データサイエンス 機械翻訳特論
兼任	助教	笹尾 知世 〈令和2年4月〉			
		ビジネスモデル特論			
兼任	助教	谷岡 広樹 〈令和2年4月〉	兼任	助教	谷岡 広樹 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 情報セキュリティシステム論※			データサイエンス 情報セキュリティシステム論※
兼任	助教	中村 有吾 〈令和2年4月〉	兼任	助教	中村 有吾 〈令和2年4月〉
		臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B			臨床心理実習A(心理実践実習Ⅱ) 臨床心理実習B
兼任	助教	松本 和幸 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	松本 和幸 〈令和2年4月〉
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	助教	山本 祐平 〈令和2年4月〉	兼任	講師	山本 祐平 〈令和2年4月〉
		環境無機化学特論※ 物質化学特論※			環境無機化学特論※ 物質化学特論※
兼任	助教	湯浅 恭史 〈令和2年4月〉	兼任	助教	湯浅 恭史 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習
兼任	助教	渡辺 公次郎 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	渡辺 公次郎 〈令和2年4月〉
		都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※			都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※
兼任	講師	青木 正繁 〈令和2年4月〉	兼任	講師	青木 正繁 〈令和2年4月〉
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	磯打 千雅子 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	磯打 千雅子 ＜令和2年4月＞
		危機管理学※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			危機管理学※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※
兼任	講師	伊藤 民武 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	伊藤 民武 ＜令和2年4月＞
		光機能材料・光デバイス論 2 ※			光機能材料・光デバイス論 2 ※
兼任	講師	井面 仁志 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	井面 仁志 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
			兼任	講師	井菅 和久 ＜令和2年4月＞ ミテージョン工学※
兼任	講師	上岡 義典 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	上岡 義典 ＜令和2年4月＞
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）※			学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）※
			兼任	講師	大喜多 一範 ＜令和2年4月＞ デザイン思考演習
兼任	講師	梶谷 義雄 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	梶谷 義雄 ＜令和2年4月＞
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	黒崎 ひろみ ＜令和2年4月＞	兼任	講師	黒崎 ひろみ ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	黒田 泰弘 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	黒田 泰弘 ＜令和2年4月＞
		メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※			メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	小坂 清文 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	小坂 清文 ＜令和2年4月＞
		犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）			犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）
			兼任	講師	小山 博幸 ＜令和2年4月＞ デザイン思考演習
兼任	講師	坂本 考史 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	坂本 考史 ＜令和2年4月＞
		光機能材料・光デバイス論 1 ※			光機能材料・光デバイス論 1 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 寛 〈令和2年4月〉	兼任	講師	佐藤 寛 〈令和2年4月〉
		心理療法特論			心理療法特論
			兼任	講師	志方 寛之 〈令和2年4月〉
					デザイン思考演習
兼任	講師	島 治伸 〈令和2年4月〉	兼任	講師	島 治伸 〈令和2年4月〉
		障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）			障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）
兼任	講師	白木 渡 〈令和2年4月〉	兼任	講師	白木 渡 〈令和2年4月〉
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	高原 龍二 〈令和2年4月〉	兼任	講師	高原 龍二 〈令和2年4月〉
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開			産業・労働分野に関する理論と支援の展開
			兼任	講師	高山 幸秀 〈令和2年4月〉
					言語モデル論※
兼任	講師	田中 健吾 〈令和2年4月〉	兼任	講師	田中 健吾 〈令和2年4月〉
		社会心理学特論			社会心理学特論
			兼任	講師	津田 和彦 〈令和2年4月〉
					自然言語理解
兼任	講師	寺本 陽子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	寺本 陽子 〈令和2年4月〉
		臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ） 臨床心理実習B			臨床心理実習A（心理実践実習Ⅱ） 臨床心理実習B
兼任	講師	長濱 慎一 〈令和2年4月〉	兼任	講師	長濱 慎一 〈令和2年4月〉
		光機能材料・光デバイス論 1 ※			光機能材料・光デバイス論 1 ※
兼任	講師	根来 慎太郎 〈令和2年4月〉	兼任	講師	根来 慎太郎 〈令和2年4月〉
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	野々村 敦子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	野々村 敦子 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	萩池 昌信 〈令和2年4月〉	兼任	講師	萩池 昌信 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 事業継続計画（BCP）の策定と実践※ 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	坂東 淳 〈令和2年4月〉	兼任	講師	坂東 淳 〈令和2年4月〉
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
			兼任	講師	平井 研 〈令和2年4月〉
					ミナゲーション工学※
兼任	講師	平石 香奈子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	平石 香奈子 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	平尾 智広 〈令和2年4月〉	兼任	講師	平尾 智広 〈令和2年4月〉
		メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※			メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※ 防災危機管理実習
兼任	講師	藤澤 一仁 〈令和2年4月〉	兼任	講師	藤澤 一仁 〈令和2年4月〉
		防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※
兼任	講師	松本 秀應 〈令和2年4月〉	兼任	講師	松本 秀應 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※
兼任	講師	水ノ上智邦 〈令和2年4月〉	兼任	講師	水ノ上智邦 〈令和2年4月〉
		国際経済特論			国際経済特論
兼任	講師	向井 孝志 〈令和2年4月〉	兼任	講師	向井 孝志 〈令和2年4月〉
		光機能材料・光デバイス論1※			光機能材料・光デバイス論1※
兼任	講師	森 伸一郎 〈令和2年4月〉	兼任	講師	森 伸一郎 〈令和2年4月〉
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	森 卓史 〈令和2年4月〉	兼任	講師	森 卓史 〈令和2年4月〉
		ビジネスモデル特論			ビジネスモデル特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	山本 秀一 ＜令和2年4月＞ ミテゲーション工学※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
2 名	2 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
3	4	2	0	9	0	3	4	2	0	9	0
(3)	(4)	(2)	(0)	(9)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
8	1	0				8	1	0			
(8)	(1)	(0)				(8)	(1)	(0)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
3	4	2	0	9	0	3	4	2	0	9	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
8	1	0				8	1	0			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
許可時 (令和元年)	1 研究科として設置する必要性の一つとして、「研究分野を超えた修士論文指導体制」を掲げており、その手法として、副指導教員及びアドバイザー教員を、他専攻・他コースの教員が柔軟に選任するとしており、着実な履行が求められる。また、アドバイザー教員がどのような役割をするのか、学生に対してわかりやすく周知すること。【4 専攻共通】	遵守事項 臨床心理学専攻においては、「研究分野を超えた修士論文指導体制」を実質化するため、副指導教員（2名以上）のうち少なくとも1名は他専攻から選任することとしている。この方針に基づき、4月末日までに、新入生全員の主指導教員・副指導教員・アドバイザー教員を確定し、分野横断的観点を踏まえ、具体的な研究指導を進める体制を整えた。副指導教員は、本専攻の専任教員1名と、地域創成専攻・理工学専攻・生物資源学専攻のいずれかの専攻の専任教員1名の計2名が実際に就任している。また、大学院における研究指導体制と、主指導教員・副指導教員・アドバイザー教員のそれぞれの役割について、専攻の『履修の手引』（シート6参考資料①）に掲載するとともに、4月に実施した新入生オリエンテーションで説明した。特に、アドバイザー教員の「直接研究指導を行わず、客観的な立場で大学における学修・生活支援を行う」という役割について、オリエンテーション及び主指導教員を通じて学生に分かりやすく周知した。	履行済	
	研究科代議員の各専攻からの選考方法は公平性と透明性を担保される方策の充実に努めること。【4 専攻共通】	遵守事項 研究科代議員は、別添「徳島大学大学院創成科学研究科代議員会内規」（シート6参考資料②）第2条に基づき、各専攻の副専攻長、コース長など、公平性と透明性を担保された方法で選出された者により構成され、各専攻の代議員数に偏りがないよう組織されている。	履行済	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床心理学専攻教務・入学試験委員会 臨床心理学専攻FD委員会 臨床心理学専攻教育プログラム評価委員会 (規則は別紙のとおり) <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床心理学専攻教務・入学試験委員会 毎月1回開催予定（委員4名が参加） 臨床心理学専攻FD委員会 年間4回程度開催予定（委員4名が参加） 臨床心理学専攻教育プログラム評価委員会 年間3回程度開催予定（委員3名が参加） <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>別紙規則のとおり</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門教育及び入学試験の実施 シラバス、授業計画、教材等の作成 教育の質の保証・向上及び授業評価 上記に係る講演会、研修会、ワークショップ、ポスター発表及びアンケートの実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学FD委員会及び各専攻FD委員会等が連携して講演会、研修会等を開催する。 在学生にアンケートを実施し、結果を分析する。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>総合科学部、総合科学教育部、創成科学研究科地域創成専攻、臨床心理学専攻合同FD企画</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回FD委員会主催 FD企画「manabaを利用した遠隔授業の紹介」（開催：令和2年4月9日 参加者：35人） 創成科学研究科臨床心理学専攻FD委員会 令和2年5月7日開催予定のFD委員会において、授業評価アンケートの様式等について検討予定 全学FD 全学FD遠隔講義ツール説明会（開催：令和2年4月6日 参加者：225人）
--

・すぐ使える90分セミナー「学生の学習を促す質問の作り方」（開催：令和2年4月23日 参加者：10人）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

早急に遠隔授業に対応しなければならない状況の中、FD企画の実施によって、実例の紹介及び意見交換を行うことで、遠隔授業実施を円滑化することができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（各学期末に実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

ホームページ掲載等により、教員及び学生への公開を予定している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成をするため、計画に基づき実施している。今後更なる教育・研究の水準向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年度 公表予定

b 公表方法

・徳島大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・徳島大学は、令和元年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、その結果「大学評価基準を満たしており、内部質保証が優れて機能している」と判定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人徳島大学

(2) 大学名

徳島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒770-8506

徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

(〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ノジ スミハレ) 野地 澄晴 (平成28年4月)		
理事 副学長	(カワムラ ヤスヒコ) 河村 保彦 (令和2年4月)		
	(ササキ タクヤ) 佐々木 卓也 (平成29年4月)		
	(ヨシダ カズフミ) 吉田 和文 (平成28年4月)		
	(タムラ コウイチ) 田村 耕一 (令和2年4月)		
研究科長	(ハンヅメ マサキ) 橋爪 正樹 (令和2年4月)		
理工学専攻長	(ヤマナカ ヒデオ) 山中 英生 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
大学院創成科学研究科 理工学専攻 修士（理工学）	理学関係 工学関係	2年	308人	該当なし	616人	理工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	308人 (—) [若干人]	— (—) [—]	1.00倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	359 (—) [8]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	351 (—) [8]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	321 0 [8]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	310 (—) [8]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	309	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[8]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
							(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	309	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[8]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	310 人	1 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	1 人	0 人	本人死亡による除籍
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{310} = \boxed{0.32} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜大学院創成科学研究科 理工学専攻＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	データサイエンス	1前	2			4	2		2		1
	小計(1科目)	-	2	0	0	4	2	0	2	0	1
	国際協力論	1前		1							2
	グローバル社会文化論	1前		1							4
	グローバルコミュニケーションA	1前		1							2
	グローバルコミュニケーションB	1・2通		1		1	5	1			
	グローバルコミュニケーションC	1・2通		1		1	1				
	小計(5科目)	-	0	5	0	1	5	1	0	0	8
	科学技術論A	1前		1		7		1			
	科学技術論B	1前		1		4					4
	科学技術論C	1前		1		7			1		
	科学技術論D	1前		1		8					
科学技術論E	1前		1		2	5	1				
ビジネスモデル特論	1後		1		1					2	
デザイン思考演習	1・2前		1		1			1		2	
小計(7科目)	-	0	7	0	28	5	2	2	0	8	
理工学専攻	インターンシップ(M)	1・2通		2		1					
	小計(1科目)	-	0	2	0	1	0	0	0	0	0
所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目	耐震工学特論	1・2前		2			1				
	耐風工学特論	1後		2		1					
	斜面減災工学特論	1後		2		1					
	津波解析特論	1・2前		2		1					
	地盤力学特論	1前		2		1					
	応用水理学特論	1・2前		2		1	1				
	鉄筋コンクリート工学特論	1後		4		1	1				
	建設材料物性特論	1・2前		2		1					
	リスクコミュニケーション	1前		2		1			2		8
	危機管理学	1前		2		1			2		7
	メンタルヘルスケア	1後		2		1			1		3
	防災危機管理実習	1後		1		1		1	1		5
	行政・企業のリスクマネジメント	1後		2		2			2		9
	事業継続計画(BCP)の策定と実践	2前		2		2		1			5
	行政・企業防災・危機管理実務演習	2後		1		1		1	1		1
	都市交通計画特論	1・2前		2		1			1		
	建築計画学特論	1前		2		1					
	都市・地域計画論	1・2後		2		1			1		
	プロジェクトマネジメント	1前		2		2		1			
	都市交通システム計画	1・2後		2		1			1		
	都市地域情報システム	1・2前		2		1			1		
	流域水管理工学	1後		2		1	1				
	ミチゲーション工学	1後		2		1		1			
	環境生態学特論	1・2後		2		2		1			
	グリーンインフラ論	1・2後		2		2			1		
小計(25科目)	-	0	50	0	10	7	1	4	0	19	
機械科学コース	生産システム論	1後		2				1			
	応用流体力学特論	1前		2		1	1				
	材料強度学特論	1前		2		1					
	燃焼工学	1後		2			1				
	生産加工学	1前		2		1		1			
	バイオメカニカルデザイン	1後		2		1		1			
バイオマテリアル	1後		2			1	1				

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	データサイエンス	1前	2			4	2		2		1
	小計(1科目)	-	2	0	0	4	2	0	2	0	1
	国際協力論	1前		1							2
	グローバル社会文化論	1前		1							4
	グローバルコミュニケーションA	1前		1							2
	グローバルコミュニケーションB	1・2通		1		1	5	1			
	グローバルコミュニケーションC	1・2通		1		1	1				
	小計(5科目)	-	0	5	0	1	5	1	0	0	8
	科学技術論A	1前		1		7		1			
	科学技術論B	1前		1		4					4
	科学技術論C	1前		1		7			1		
	科学技術論D	1前		1		8					
科学技術論E	1前		1		2	5	1				
ビジネスモデル特論	1後		1		1					1	
デザイン思考演習	1・2前		1		1			1		5	
小計(7科目)	-	0	7	0	28	5	3	1	0	10	
理工学専攻	インターンシップ(M)	1・2通		2		1					
	小計(1科目)	-	0	2	0	1	0	0	0	0	0
所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目	耐震工学特論	1・2前		2			1				
	耐風工学特論	1後		2		1					
	斜面減災工学特論	1後		2		1					
	津波解析特論	1・2前		2		1					
	地盤力学特論	1前		2		1					
	応用水理学特論	1・2前		2		1	1				
	鉄筋コンクリート工学特論	1後		4		1	1				
	建設材料物性特論	1・2前		2		1					
	リスクコミュニケーション	1前		2		1				2	7
	危機管理学	1前		2		1				2	7
	メンタルヘルスケア	1後		2		1			1		3
	防災危機管理実習	1後		1		1		1	1		6
	行政・企業のリスクマネジメント	1後		2		2			2		10
	事業継続計画(BCP)の策定と実践	2前		2		2		1			5
	行政・企業防災・危機管理実務演習	2後		1		1		1	1		1
	都市交通計画特論	1・2前		2		1					
	建築計画学特論	1前		2		1					
	都市・地域計画論	1・2後		2		1			1		
	プロジェクトマネジメント	1前		2		2		1			
	都市交通システム計画	1・2後		2		1		1			
	都市地域情報システム	1・2前		2		1		1			
	流域水管理工学	1後		2		1	1				
	ミチゲーション工学	1後		2		1		1			3
	環境生態学特論	1・2後		2		2		1			
	グリーンインフラ論	1・2後		2		2		2	1		
小計(25科目)	-	0	50	0	10	8	1	2	0	22	
機械科学コース	生産システム論	1後		2				1			
	応用流体力学特論	1前		2		1	1				
	材料強度学特論	1前		2		1					
	燃焼工学	1後		2			1				
	生産加工学	1前		2		1		1			
	バイオメカニカルデザイン	1後		2		1		1			
バイオマテリアル	1後		2				2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
所属基盤コース 専任科目・教育クラスター科目	機械材料物性特論	1前	2			2						
	計算力学特論	1前	2			1						
	流体エネルギー変換工学	1後	2			1						
	振動工学特論	1前	2			1						
	材料工学	1前	2			1	1					
	エネルギー環境工学	1前	2			1	1					
	熱力学特論	1後	2			1						
	分光計測学	1後	2			1						
	ロボット工学特論	1前	2			1						
	デジタル制御論	1後	2					1				
	分子エネルギー遷移論	1後	2			1						
	非破壊計測学	1前	2			1		1				
	アクチュエータ理論	1前	2			1						
	小計(20科目)	-	0	40	0	14	8	5	0	0	0	
	立体化学特論	1後	2			1	1					
	有機化学特論	1・2前	2					1				
	高分子化学特論	1後	2			2		1				
	物理化学特論	1前	2			1		1				
	量子化学特論	1前	2			2					1	
	分析・環境化学特論	1後	2			1		1				
物性化学特論	1前	2			1	1						
化学反応工学特論	1前	2			1	1						
分離工学特論	1前	2			2	1						
材料科学特論	1前	2			1	1						
化学環境工学特論	1後	2			7	5	3					
科学技術コミュニケーション	1前	2			1							
物質合成化学特論	1通	1								1		
物質機能化学特論	1・2通	1								1		
化学プロセス工学特論	2通	1								1		
小計(15科目)	-	0	27	0	8	5	4	0	0	4		
電気工学特論	1・2後	2			1							
電磁環境特論	1・2後	2			1							
制御理論特論	1前	2			1							
高電圧工学特論	1後	2			1							
デジタル通信工学特論	1後	2			1							
光デバイス特論	1前	2			1							
ナノエレクトロニクス特論	1前	2			1							
回路工学特論	1後	2			1	1						
電子回路特論	1前	2			1							
電気機器応用システム特論	1・2後	2			1							
電力システム特論	1・2後	2			1							
制御応用工学特論	1前	2			1							
電子デバイス特論	1前	2			2	1						
デバイスプロセス特論	1前	2			1	1						
集積回路特論	1前	2			1	1						
プラズマ応用工学特論	1後	2			1	1						
光材料科学特論	1後	2			1							
半導体工学特論	1前	2			1							
生体工学特論	1後	2					2					
小計(19科目)	-	0	38	0	11	7	2	0	0	0		
自律知能システム	1前	2			1	1						
複雑系システム工学特論	1前	2			1							
情報ネットワーク	1前	2			1	1						
情報セキュリティシステム論	1前	2			2	1	1					
画像応用工学	1前	2			1		1					
ヒューマンセンシング	1前	2			1		1	1				
自然言語理解	1後	2			1	1						
言語モデル論	1後	2			1	1	1				1	
機械翻訳特論	1後	2			1	1	1				1	
マルチメディア工学	1後	2			1		2					
小計(10科目)	-	0	20	0	9	4	6	4	0	0		
光物性工学	1・2前	2			1	1						
フォトニックデバイス	1・2前	2			1	1						
ナノ光計測工学	1・2後	2			1							
ナノ材料工学	1・2後	2			1	1						
光結晶設計工学	1・2後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
所属基盤コース 専任科目・教育クラスター科目	機械材料物性特論	1前	2			2						
	計算力学特論	1前	2			1						
	流体エネルギー変換工学	1後	2			1						
	振動工学特論	1前	2			1						
	材料工学	1前	2			1	1					
	エネルギー環境工学	1前	2			1	1					
	熱力学特論	1後	2			1						
	分光計測学	1後	2			1						
	ロボット工学特論	1前	2			1						
	デジタル制御論	1後	2					1				
	分子エネルギー遷移論	1後	2			1						
	非破壊計測学	1前	2			1		1				
	アクチュエータ理論	1前	2			1						
	小計(20科目)	-	0	40	0	14	10	3	0	0	0	
	立体化学特論	1後	2			1	1					
	有機化学特論	1・2前	2					1				
	高分子化学特論	1後	2			2		1				
	物理化学特論	1前	2			1		1				
	量子化学特論	1前	2			2					1	
	分析・環境化学特論	1後	2			1		1				
物性化学特論	1前	2			1	1						
化学反応工学特論	1前	2			1	1						
分離工学特論	1前	2			2	1						
材料科学特論	1前	2			1	1						
化学環境工学特論	1後	2			7	5	3					
科学技術コミュニケーション	1前	2			1							
物質合成化学特論	1通	1								1		
物質機能化学特論	1・2通	1								1		
化学プロセス工学特論	2通	1								1		
小計(15科目)	-	0	27	0	8	5	4	0	0	4		
電気工学特論	1・2後	2			1							
電磁環境特論	1・2後	2			1							
制御理論特論	1前	2			1							
高電圧工学特論	1後	2			1							
デジタル通信工学特論	1後	2			1							
光デバイス特論	1前	2			1							
ナノエレクトロニクス特論	1前	2			1							
回路工学特論	1後	2			1	1						
電子回路特論	1前	2			1							
電気機器応用システム特論	1・2後	2			1							
電力システム特論	1・2後	2			1							
制御応用工学特論	1前	2			1							
電子デバイス特論	1前	2			2	1						
デバイスプロセス特論	1前	2			1	1						
集積回路特論	1前	2			1	1						
プラズマ応用工学特論	1後	2			1	1						
光材料科学特論	1後	2			1							
半導体工学特論	1前	2			1							
生体工学特論	1後	2					2					
小計(19科目)	-	0	38	0	11	7	2	0	0	0		
自律知能システム	1前	2			1	1						
複雑系システム工学特論	1前	2			1							
情報ネットワーク	1前	2			1	1						
情報セキュリティシステム論	1前	2			2	1	1					
画像応用工学	1前	2			1		1					
ヒューマンセンシング	1前	2			1		2					
自然言語理解	1後	2			1	1					1	
言語モデル論	1後	2			1	1	1				1	
機械翻訳特論	1後	2			1	1	1				1	
マルチメディア工学	1後	2			1	1	1					
小計(10科目)	-	0	20	0	9	6	6	2	0	2		
光物性工学	1・2前	2			1	1						
フォトニックデバイス	1・2前	2			1	1						
ナノ光計測工学	1・2後	2			1							
ナノ材料工学	1・2後	2			1	1						
光結晶設計工学	1・2後	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目	光機能材料・光デバイス論1	1後	1			1	1					3	
	光機能材料・光デバイス論2	1前	1			1	1					1	
	ディスプレイ論	1・2後	2					1					
	視覚情報処理	1・2前	2					1					
	多元画像処理	1・2前	2			1							
	バーチャルリアリティ技術	1・2前	2			1			1				
	光通信システム工学特論	1・2前	2			1	1						
	フォトニックネットワーク	1・2前	2			1	1						
	光システム工学論	1後	1			1						9	
	小計(14科目)	-	0	25	0	4	3	1	2	0		13	
	数理科学コース	代数構造特論	1前	2			1						
		力学系数理特論	1後	2			1						
		離散数学特論	1前	2			1						
		組合せ最適化特論	1前	2				1					
		数式処理特論	1前	2				1					
幾何学特論		1後	2					1					
現象数理解析特論		1後	2			1							
整数論特論		1前	2			1							
非線形現象解析特論		1後	2			1							
確率計画法特論		1後	2				1						
関数方程式特論		1前	2				1						
小計(11科目)	-	0	22	0	6	4	1	0	0		0		
自然科学コース	量子科学基礎理論	1前	2			1							
	宇宙素粒子科学特論	1前	2			1							
	宇宙線計測学特論	1後	2					1					
	量子物性物理学	1後	2			1							
	超伝導物質科学	1前	2			1							
	強相関物質科学	1後	2				1						
	固体イオニクス	1後	2			1							
	磁気共鳴科学	1前	2					1					
	物性計測学	1前	2			1							
	極限環境物性学	1前	2				1						
	環境物理化学特論	1後	2				1						
	グリーンケミストリー特論	1後	2					1					
	有機機能性物質化学特論	1後	2						1				
	環境無機化学特論	1後	2			1				1			
	環境分析化学特論	1前	2			1							
	有機合成化学特論	1前	2			1							
	物質化学特論	1前	2			3	1	2	1				
	有機金属化学特論	1前	2			1							
	生物化学特論	1前	2				1						
	発生情報科学特論	1前	2			1							
	生命情報科学特論	1後	2			1							
	集団遺伝学特論	1後	2			1							
	構造地質学特論	1後	2			1							
	環境・防災地質学特論	1前	2				1						
	岩石・鉱物学特論	1後	2				1						
小計(25科目)	-	0	50	0	13	5	5	1	0		0		
理工学専攻	計算数理特論	1後	2			1							
	応用代数特論	1後	2			1							
	数理解析方法論	1後	2			1							
	微分方程式特論	1後	2				1						
	代数学特論	1後	2				1						
	応用解析学特論	1後	2					1					
	数学解析特論	1後	2			1							
	課題解決型インターンシップ(M)	1・2通	4			1							
	小計(8科目)	-	0	18	0	5	2	1	0	0		0	
地域創成専攻	地域計画学特論	1・2前	2									1	
	地域社会特論	1・2後	2									1	
	公共政策特論	1・2前	2									1	
	法律学特論	1・2後	2									1	
	経済学特論	1・2前	2									1	
	地域構造特論	1・2前	2									1	
	空間情報科学特論	1・2前	2									1	
	地域文化特論	1・2前	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目	光機能材料・光デバイス論1	1後	1			1	1					3	
	光機能材料・光デバイス論2	1前	1			1	1					1	
	ディスプレイ論	1・2後	2					1					
	視覚情報処理	1・2前	2					1					
	多元画像処理	1・2前	2			1							
	バーチャルリアリティ技術	1・2前	2			1			1				
	光通信システム工学特論	1・2前	2			1	1						
	フォトニックネットワーク	1・2前	2			1	1						
	光システム工学論	1後	1			1						9	
	小計(14科目)	-	0	25	0	4	4	1	1	0		13	
	数理科学コース	代数構造特論	1前	2			1						
		力学系数理特論	1後	2			1						
		離散数学特論	1前	2			1						
		組合せ最適化特論	1前	2				1					
		数式処理特論	1前	2				1					
幾何学特論		1後	2					1					
現象数理解析特論		1後	2			1							
整数論特論		1前	2			1							
非線形現象解析特論		1後	2			1							
確率計画法特論		1後	2				1						
関数方程式特論		1前	2				1						
小計(11科目)	-	0	22	0	6	4	1	0	0		0		
自然科学コース	量子科学基礎理論	1前	2			1							
	宇宙素粒子科学特論	1前	2			1							
	宇宙線計測学特論	1後	2					1					
	量子物性物理学	1後	2			1							
	超伝導物質科学	1前	2			1							
	強相関物質科学	1後	2				1						
	固体イオニクス	1後	2			1							
	磁気共鳴科学	1前	2					1					
	物性計測学	1前	2			1							
	極限環境物性学	1前	2				1						
	環境物理化学特論	1後	2				1						
	グリーンケミストリー特論	1後	2					1					
	有機機能性物質化学特論	1後	2						1				
	環境無機化学特論	1後	2			1				1			
	環境分析化学特論	1前	2			1							
	有機合成化学特論	1前	2			1							
	物質化学特論	1前	2			3	1	2	2				
	有機金属化学特論	1前	2			1							
	生物化学特論	1前	2				1						
	発生情報科学特論	1前	2			1							
	生命情報科学特論	1後	2			1							
	集団遺伝学特論	1後	2			1							
	構造地質学特論	1後	2			1							
	環境・防災地質学特論	1前	2				1						
	岩石・鉱物学特論	1後	2				1						
小計(25科目)	-	0	50	0	13	6	5	0	0		0		
理工学専攻	計算数理特論	1後	2			1							
	応用代数特論	1後	2			1							
	数理解析方法論	1後	2			1							
	微分方程式特論	1後	2				1						
	代数学特論	1後	2				1						
	応用解析学特論	1後	2					1					
	数学解析特論	1後	2			1							
	課題解決型インターンシップ(M)	1・2通	4			1							
	小計(8科目)	-	0	18	0	5	2	1	0	0		0	
地域創成専攻	地域計画学特論	1・2前	2									1	
	地域社会特論	1・2後	2									1	
	公共政策特論	1・2前	2									1	
	法律学特論	1・2後	2									1	
	経済学特論	1・2前	2									1	
	地域構造特論	1・2前	2									1	
	空間情報科学特論	1・2前	2									1	
	地域文化特論	1・2前	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創成専攻	地域言語特論	1・2後	2								1	
	日本歴史文化特論	1・2後	2								2	
	アート表現特論	1・2前	2								1	
	映像デザイン特論	1・2後	2								1	
	空間デザイン特論	1・2後	2								1	
	健康社会特論	1・2前	2								1	
	応用生理学特論	1・2後	2								1	
	福祉社会特論	1・2前	2								1	
	行動科学	1・2後	2								2	
	健康科学特論	1・2後	2								1	
	健康心理学特論	1・2前	2								1	
	グローバル社会特論	1・2前	2								1	
	グローバル文化特論	1・2後	2								1	
	国際関係特論	1・2後	2								1	
	国際経済特論	1・2前	2								1	
	応用倫理学特論	1・2後	2								2	
	言語コミュニケーション特論	1・2後	2								3	
	英語圏文化特論	1・2後	2								2	
	英語圏歴史文化特論	1・2後	2								1	
	ヨーロッパ文化特論	1・2前	2								2	
アジア文化特論	1・2後	2								2		
日本語文化特論	1・2前	2								2		
日本文化特論	1・2前	2								1		
小計(31科目)	-	0	62	0	0	0	0	0	0	0	39	
臨床心理学専攻	認知心理学特論	1・2前	2								1	
	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2前	2								2	
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後	2								2	
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する倫理と実践)	1・2後	2								1	
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2								1	
小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7	
生物資源学専攻	創薬学特論	1前	2								1	
	細胞工学特論	1前	2								1	
	生物化学工学特論	1前	2								1	
	生体熱力学特論	1前	2								1	
	生物物理化学特論	1前	2								1	
	先端生命科学特論	1前	2								1	
	環境生物学特論	1前	2								1	
	再生医学特論	1後	2								1	
	微生物工学特論	1後	2								1	
	ケミカルバイオロジー特論	1後	2								1	
	細胞情報学特論	1後	2								1	
	微生物検査学特論	1後	2								1	
	食安全学特論	1前	2								1	
	酵素化学特論	1前	2								1	
	応用微生物学特論	1後	2								1	
	生体機能学特論	1前	2								1	
	機能性食品学特論	1前	2								1	
	栄養生化学特論	1後	2								1	
	食品評価特論	1後	2								1	
	分子組織代謝学特論	1後	2								1	
	食品加工保蔵特論	1後	2								1	
	資源利用学特論	1後	2								1	
	植物細胞工学特論	1前	2								1	
	動物生殖工学特論	1前	2								1	
フィールド水圏生物学特論	1前	2								1		
畜産物利用学特論	1前	2								1		
植物保護学特論	1前	2								1		
森林代謝科学特論	1前	2								1		
分子発生生物学特論	1前	2								1		
生産システム制御工学特論	1後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域創成専攻	地域言語特論	1・2後	2									1
	日本歴史文化特論	1・2後	2									2
	アート表現特論	1・2前	2									1
	映像デザイン特論	1・2後	2									1
	空間デザイン特論	1・2後	2									1
	健康社会特論	1・2前	2									1
	応用生理学特論	1・2後	2									1
	福祉社会特論	1・2前	2									1
	行動科学	1・2後	2									2
	健康科学特論	1・2後	2									1
	健康心理学特論	1・2前	2									1
	グローバル社会特論	1・2後	2									0
	グローバル文化特論	1・2後	2									1
	国際関係特論	1・2後	2									1
	国際経済特論	1・2前	2									1
	応用倫理学特論	1・2後	2									2
	言語コミュニケーション特論	1・2後	2									3
	英語圏文化特論	1・2後	2									2
	英語圏歴史文化特論	1・2後	2									1
	ヨーロッパ文化特論	1・2前	2									2
アジア文化特論	1・2後	2									2	
日本語文化特論	1・2前	2									2	
日本文化特論	1・2前	2									1	
小計(31科目)	-	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	38
臨床心理学専攻	認知心理学特論	1・2前	2									1
	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2前	2									2
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後	2									2
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する倫理と実践)	1・2後	2									1
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2									1
小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	7
生物資源学専攻	創薬学特論	1後	2									1
	細胞工学特論	1前	2									1
	生物化学工学特論	1前	2									1
	生体熱力学特論	1前	2									1
	生物物理化学特論	1前	2									1
	先端生命科学特論	1前	2									1
	環境生物学特論	1前	2									1
	再生医学特論	1後	2									1
	微生物工学特論	1前	2									1
	ケミカルバイオロジー特論	1後	2									1
	細胞情報学特論	1後	2									1
	微生物検査学特論	1後	2									1
	食安全学特論	1前	2									1
	酵素化学特論	1前	2									1
	応用微生物学特論	1後	2									1
	生体機能学特論	1前	2									1
	機能性食品学特論	1前	2									1
	栄養生化学特論	1後	2									1
	食品評価特論	1後	2									1
	分子組織代謝学特論	1後	2									1
	食品加工保蔵特論	1後	2									1
	資源利用学特論	1後	2									1
	植物細胞工学特論	1前	2									1
	動物生殖工学特論	1前	2									1
フィールド水圏生物学特論	1前	2									1	
畜産物利用学特論	1前	2									1	
植物保護学特論	1前	2									1	
森林代謝科学特論	1前	2									1	
分子発生生物学特論	1前	2									1	
生産システム制御工学特論	1後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手	担	
<p><知能情報システムコース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の知能情報システムコースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち知能情報システムコース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、知能情報システム特別輪講4単位、知能情報システム特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の知能情報システムコースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												
<p><光システムコース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の光システムコースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち光システムコース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、光システム特別輪講4単位、光システム特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の光システムコースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												
<p><数理科学コース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の数理科学コースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち数理科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、数理科学特別輪講4単位、数理科学特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の数理科学コースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												
<p><自然科学コース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の自然科学コースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち自然科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、自然科学特別輪講4単位、自然科学特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の自然科学コースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手	担	
<p><知能情報システムコース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の知能情報システムコースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち知能情報システムコース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、知能情報システム特別輪講4単位、知能情報システム特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の知能情報システムコースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												
<p><光システムコース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の光システムコースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち光システムコース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、光システム特別輪講4単位、光システム特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の光システムコースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												
<p><数理科学コース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の数理科学コースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち数理科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、数理科学特別輪講4単位、数理科学特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の数理科学コースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												
<p><自然科学コース> 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目のグローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目のイノベーション教育科目群の選択科目から1単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の自然科学コースの選択科目から10単位、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の選択科目から6単位(うち自然科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の理工学特別実習4単位、自然科学特別輪講4単位、自然科学特別研究4単位、合計32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、理工学専攻共通科目は、2科目4単位まで所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目の自然科学コースの選択科目10単位に算入することができる。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員の昇任により、「科学技術論C」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。 ・担当教員の就任辞退により、「都市交通計画特論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。 ・担当教員の就任辞退により、「都市・地域計画論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。 ・担当教員の昇任により、「都市交通システム計画」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「都市地域情報システム」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「グリーンインフラ論」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「生産加工学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「バイオメカニカルデザイン」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「バイオマテリアル」の専任教員等の配置を「講師1、准教授1」から「准教授2」に変更。 ・担当教員の昇任により、「ヒューマンセンシング」の専任教員等の配置を「助教1、講師1」から「講師2」に変更。 ・担当教員の昇任により、「言語モデル論」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「マルチメディア工学」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1、准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「光結晶設計工学」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「グリーンケミストリー特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「環境無機化学特論」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。 ・担当教員の昇任により、「物質化学特論」の専任教員等の配置を「助教1、講師2、准教授1」から「講師2、准教授2」に変更。 ・担当教員の昇任及び担当教員の就任辞退により、「理工学特別実習」の専任教員等の配置を「助教2、講師2、准教授4、助教3」から「助教1、講師2、准教授5」に変更。 ・担当教員の就任辞退及び担当教員の昇任により、「社会基盤デザイン特別輪講」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教3」、「准教授6」から「准教授7」に変更。 ・担当教員の就任辞退及び担当教員の昇任により、「社会基盤デザイン特別研究」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教3」、「准教授6」から「准教授7」に変更。 ・担当教員の昇任により、「機械科学特別輪講」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師3」、「准教授8」から「准教授10」に変更。 ・担当教員の昇任により、「機械科学特別研究」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師3」、「准教授8」から「准教授10」に変更。 ・担当教員の昇任により、「知能情報システム特別輪講」の専任教員等の配置を「准教授4、講師6、助教2」から「准教授6、講師6、助教0」に変更。 ・担当教員の昇任により、「知能情報システム特別研究」の専任教員等の配置を「准教授4、講師4、助教1」から「准教授6、講師4、助教0」に変更。 ・担当教員の昇任により、「光システム特別輪講」の専任教員等の配置を「助教2、准教授3」から「助教1、准教授4」に変更。 ・担当教員の昇任により、「光システム特別研究」の専任教員等の配置を「助教2、准教授3」から「助教1、准教授4」に変更。 ・担当教員の昇任により、「自然科学特別輪講」の専任教員等の配置を「准教授5、講師5、助教1」から「准教授6、講師5、助教0」に変更。 ・担当教員の昇任により、「自然科学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授5、助教1」から「准教授6、助教0」に変更。 ・採用予定教員自己都合の理由により、「ビジネスモデル特論」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「1」に変更。 ・教育課程充実の理由により、「デザイン思考演習」の兼任・兼担教員の配置を「2」から「5」に変更。 ・採用予定教員自己都合の理由により、「リスクコミュニケーション」の兼任・兼担教員の配置を「8」から「7」に変更。 ・教育課程充実の理由により、「防災危機管理実習」の兼任・兼担教員の配置を「5」から「6」に変更。 ・教育課程充実の理由により、「行政・企業のリスクマネジメント」の兼任・兼担教員の配置を「9」から「10」に変更。 ・教育課程充実の理由により、「ミチゲーション工学」の兼任・兼担教員の配置を「0」から「3」に変更。 ・教育課程充実の理由により、「自然言語理解」の兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。 ・教育課程充実の理由により、「言語モデル論」の兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。 ・担当教員他大学転出に伴う就任辞退のため、「グローバル社会特論」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に、兼任・兼担教員の配置を「1」から「0」に変更。後任教員を令和2年10月1日採用予定。令和2年3月 専任教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）申請中。） ・担当教員の都合により、「創薬学特論」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。 ・担当教員の都合により、「微生物工学特論」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	232 科目	0 科目	250 科目	18 科目	232 科目	0 科目	250 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{250} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	その他の内、借地100,403㎡を含む 借用期間：5年			
	校舎敷地	253,688㎡	㎡	㎡	253,688㎡				
	運動場用地	61,908㎡	㎡	㎡	61,908㎡				
	小 計	315,596㎡	㎡	㎡	315,596㎡				
	そ の 他	156,104㎡	㎡	㎡	156,104㎡				
	合 計	471,700㎡	㎡	㎡	471,700㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		171,909㎡ (171,909㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	171,909㎡ (171,909㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	専攻単位で特定不能なため、大学全体の数			
	116室	148室	963室	17室 (補助職員 8 人)	2室 (補助職員 2 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	大学院創成科学研究科理工学専攻			164 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、大学全体の数	
		冊	種	〔うち外国書〕					
	大学院創成科学研究科理工学専攻	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)		
	計	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	8,279㎡		1,092		851,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	4,836㎡		テ ニ ス コ ー ト 弓 道 場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
		共 同 研 究 費 等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	徳島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
社会総合科学科	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	同上	
総合科学部	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
人間文化学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
社会創生学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
総合数理学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
医学部	-	288	3年次16	1412	-	1.00	1.01	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
医学科	6	114	-	684	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和24	同上	
医科栄養学科	4	50	-	200	学士(栄養学)	1.02	1.04	-	平成26	同上	
保健学科	4	124	3年次16	528	学士(保健学、看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	学士(看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
放射線技術科学専攻	4	37	3年次3	154	学士(保健学)	1.02	1.00	-	平成13	同上	
検査技術科学専攻	4	17	3年次3	74	学士(保健学)	1.05	1.05	-	平成13	同上	
歯学部	-	55	2年次3	315	-	1.01	1.00	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
歯学科	6	40	2年次3	255	学士(歯学)	1.01	1.00	-	昭和51	同上	
口腔保健学科	4	15	-	60	学士(口腔保健学)	1.00	1.00	-	平成19	同上	
薬学部	-	80	-	400	-	1.06	1.01	-	平成18	徳島県徳島市庄町1丁目78番地15	
薬学科	6	40	-	240	学士(薬学)	1.07	1.00	-	平成18	同上	
創製薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.04	1.02	-	平成18	同上	
理工学部	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
理工学科	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
昼間コース	4	550	3年次35	2270	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
夜間主コース	4	45	-	180	学士(理工学)	1.07	1.06	-	平成28	同上	
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
(もの作り創造システム工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(物質生命工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
化学応用工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(コンピュータ工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	

電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
光応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物資源産業学部	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業学)	1.01	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
生物資源産業学科	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業学)	1.01	1.00	-	平成28	同上	
創成科学研究科	-	375	-	375	-	0.99	0.99	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域創成専攻	-	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
修士課程	2	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
臨床心理学専攻	-	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
修士課程	2	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
理工学専攻	-	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
修士課程	2	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	同上	
生物資源学専攻	-	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
修士課程	2	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
総合科学教育部	-	4	-	59	-	0.84	1.25	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域科学専攻	-	4	-	47	-	0.80	1.25	-	平成21	同上	
博士前期課程	-	-	-	35	修士 (学術)	0.62	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.91	1.25	-	平成21	同上	
臨床心理学専攻	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士前期課程	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
医科学教育部	-	61	-	224	-	0.57	0.42	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
修士課程	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
医学専攻	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
博士課程	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
口腔科学教育部	-	25	-	88	-	0.69	0.44	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
口腔保健学専攻	-	7	-	16	-	1.02	0.42	-	-	同上	
博士前期課程	2	5	-	10	修士 (口腔保健 学)	0.70	0.40	-	平成23	同上	
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (口腔保健 学)	1.16	0.50	-	平成27	同上	
口腔科学専攻	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
博士課程	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
薬科学教育部	-	49	-	116	-	0.72	1.06	-	-	徳島県徳島市庄町1丁目7番地15	
創薬科学専攻	-	45	-	100	-	1.01	1.13	-	-	同上	
博士前期課程	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.02	1.20	-	平成22	同上	
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (薬科学)	1.00	0.90	-	平成24	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
博士課程	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
栄養生命科学教育部	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	

人間栄養科学専攻	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	同上	
博士前期課程	2	22	-	44	修士 (栄養学)	1.15	1.13	-	平成16	同上	
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (栄養学)	0.92	1.00	-	平成16	同上	
保健科学教育部	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
保健学専攻	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	同上	
博士前期課程	2	27	-	54	修士 (保健学、看護学)	1.01	0.92	-	平成18	同上	
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (保健学)	1.06	0.80	-	平成20	同上	
先端技術科学教育部	-	43	-	457	-	0.68	0.37	-	-	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
知的力学システム工学専攻	-	14	-	145	-	0.52	0.28	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	103	修士 (工学)	0.93	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	14	-	42	博士 (工学)	0.42	0.28	-	平成18	同上	
物質生命システム工学専攻	-	9	-	100	-	0.91	0.77	-	平成24	同上	
博士前期課程	-	-	-	73	修士 (工学)	0.98	-	-	平成24	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (工学)	0.88	0.77	-	平成24	同上	
システム創生工学専攻	-	20	-	212	-	0.68	0.25	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	152	修士 (工学)	0.92	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	20	-	60	博士 (工学)	0.61	0.25	-	平成18	同上	
大学全体		1908	56	7122		0.91					

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院創成科学研究科理工学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	安間 了 <令和2年4月>	専	教授	安間 了 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 構造地質学特論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			科学技術論D※ 構造地質学特論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	教授	井澤 健一 <令和2年4月>	専	教授	井澤 健一 <令和2年4月>
		量子科学基礎理論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			量子科学基礎理論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	教授	石田 徹 <令和2年4月>	専	教授	石田 徹 <令和2年4月>
		生産加工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			生産加工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	教授	一宮 昌司 <令和2年4月>	専	教授	一宮 昌司 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	教授	今井 昭二 <令和2年4月>	専	教授	今井 昭二 <令和2年4月>
		環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	教授	今田 泰嗣 <令和2年4月>	専	教授	今田 泰嗣 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 立体化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			科学技術論B※ 立体化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	教授	上田 隆雄 <令和2年4月>	専	教授	上田 隆雄 <令和2年4月>
		鉄筋コンクリート工学特論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			鉄筋コンクリート工学特論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	上田 哲史 <令和2年4月>	専	教授	上田 哲史 <令和2年4月>
		複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究			複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究
専	教授	右手 浩一 <令和2年4月>	専	教授	右手 浩一 <令和2年4月>
		高分子化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			高分子化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	教授	太田 光浩 <令和2年4月>	専	教授	太田 光浩 <令和2年4月>
		応用流体力学特論※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			応用流体力学特論※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	大淵 朗 <令和2年4月>	専	教授	大淵 朗 <令和2年4月>
		代数構造特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			代数構造特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	教授	大山 陽介 <令和2年4月>	専	教授	大山 陽介 <令和2年4月>
		数学解析特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			数学解析特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	教授	小笠原 正道 <令和2年4月>	専	教授	小笠原 正道 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	教授	岡田 達也 <令和2年4月>	専	教授	岡田 達也 <令和2年4月>
		機械材料物性特論※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			機械材料物性特論※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	教授	岡村 英一 <令和2年4月>	専	教授	岡村 英一 <令和2年4月>
		物性化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			物性化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	教授	小川 宏樹 <令和2年4月>	専	教授	小川 宏樹 <令和2年4月>
		建築計画学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			建築計画学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	奥嶋 政嗣 <令和2年4月>	専	教授	奥嶋 政嗣 <令和2年4月>
		データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	小野 公輔 <令和2年4月>	専	教授	小野 公輔 <令和2年4月>
		データサイエンス 現象数理解析特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			データサイエンス 現象数理解析特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	教授	片山 真一 <令和2年4月>	専	教授	片山 真一 <令和2年4月>
		整数論特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			整数論特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>	専	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>
		科学技術論A※ グリーンインフラ論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			科学技術論A※ グリーンインフラ論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	川田 昌武 <令和2年4月>	専	教授	川田 昌武 <令和2年4月>
		電力工学特論 電磁環境特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			電力工学特論 電磁環境特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	河田 佳樹 <令和2年4月>	専	教授	河田 佳樹 <令和2年4月>
		データサイエンス 多元画像処理 バーチャリアリティ技術※ 光システム工学論※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究			データサイエンス 多元画像処理 バーチャリアリティ技術※ 光システム工学論※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究
専	教授	岸本 豊 <令和2年4月>	専	教授	岸本 豊 <令和2年4月>
		超伝導物質科学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			超伝導物質科学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	教授	北 研二 <令和2年4月>	専	教授	北 研二 <令和2年4月>
		言語モデル論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			言語モデル論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	教授	木戸口 善行 <令和2年4月>	専	教授	木戸口 善行 <令和2年4月>
		エネルギー環境工学※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			エネルギー環境工学※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	教授	木下 和彦 <令和2年4月>	専	教授	木下 和彦 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 情報ネットワーク※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			科学技術論C※ 情報ネットワーク※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	教授	金 成海 <令和2年4月>	専	教授	金 成海 <令和2年4月>
		数理解析方法論			数理解析方法論
専	教授	久保 智裕 <令和2年4月>	専	教授	久保 智裕 <令和2年4月>
		制御理論特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			制御理論特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究
専	教授	上月 康則 <令和2年4月>	専	教授	上月 康則 <令和2年4月>
		危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミネゲーション工学※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミネゲーション工学※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	後藤 信夫 <令和2年4月>	専	教授	後藤 信夫 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究			科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究
専	教授	齊藤 隆仁 <令和2年4月>	専	教授	齊藤 隆仁 <令和2年4月>
		データサイエンス 物性計測学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			データサイエンス 物性計測学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	教授	獅々堀 正幹 <令和2年4月>	専	教授	獅々堀 正幹 <令和2年4月>
		科学技術論C※ マルチメディア工学※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			科学技術論C※ マルチメディア工学※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	島本 隆 <令和2年4月>	専	教授	島本 隆 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 集積回路特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究			科学技術論D※ 集積回路特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究
専	教授	下村 直行 <令和2年4月>	専	教授	下村 直行 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 高電圧工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究			科学技術論D※ 高電圧工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究
専	教授	杉山 茂 <令和2年4月>	専	教授	杉山 茂 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 化学反応工学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論講 応用化学システム特別研究			科学技術論B※ 化学反応工学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論講 応用化学システム特別研究
専	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>	専	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>
		ロボット工学特論 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究			ロボット工学特論 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究
専	教授	高木 均 <令和2年4月>	専	教授	高木 均 <令和2年4月>
		材料工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究			材料工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究
専	教授	高田 篤 <令和2年4月>	専	教授	高田 篤 <令和2年4月>
		科学技術論D※ デジタル通信工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究			科学技術論D※ デジタル通信工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究
専	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>	専	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 応用代数特論 理工学特別実習 数理科学特別論講 数理科学特別研究			科学技術論C※ 応用代数特論 理工学特別実習 数理科学特別論講 数理科学特別研究
専	教授	高柳 俊夫 <令和2年4月>	専	教授	高柳 俊夫 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 分析・環境化学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論講 応用化学システム特別研究			科学技術論B※ 分析・環境化学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論講 応用化学システム特別研究
専	教授	竹内 敏己 <令和2年4月>	専	教授	竹内 敏己 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 計算数理特論 理工学特別実習 数理科学特別論講 数理科学特別研究			科学技術論C※ 計算数理特論 理工学特別実習 数理科学特別論講 数理科学特別研究
専	教授	出口 祥啓 <令和2年4月>	専	教授	出口 祥啓 <令和2年4月>
		分子エネルギー遷移論 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究			分子エネルギー遷移論 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究
専	教授	寺田 賢治 <令和2年4月>	専	教授	寺田 賢治 <令和2年4月>
		科学技術論C※ デザイン思考演習 インターンシップ(M) 画像応用工学 課題解決型インターンシップ(M) 理工学特別実習 知能情報システム特別論講 知能情報システム特別研究			科学技術論C※ デザイン思考演習 インターンシップ(M) 画像応用工学 課題解決型インターンシップ(M) 理工学特別実習 知能情報システム特別論講 知能情報システム特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	直井 美貴 〈令和2年4月〉	専	教授	直井 美貴 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 光デバイス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究			科学技術論D※ 光デバイス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究
専	教授	長尾 文明 〈令和2年4月〉	専	教授	長尾 文明 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 耐風工学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論講 社会基盤デザイン特別研究			科学技術論A※ 耐風工学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論講 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	永瀬 雅夫 〈令和2年4月〉	専	教授	永瀬 雅夫 〈令和2年4月〉
		ナノエレクトロニクス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究			ナノエレクトロニクス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究
専	教授	中村 浩一 〈令和2年4月〉	専	教授	中村 浩一 〈令和2年4月〉
		固体イオニクス 理工学特別実習 自然科学特別論講 自然科学特別研究			固体イオニクス 理工学特別実習 自然科学特別論講 自然科学特別研究
専	教授	西尾 芳文 〈令和2年4月〉	専	教授	西尾 芳文 〈令和2年4月〉
		回路工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究			回路工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究
専	教授	西野 秀郎 〈令和2年4月〉	専	教授	西野 秀郎 〈令和2年4月〉
		機械材料物性特論※ 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究			機械材料物性特論※ 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究
専	教授	任(中川) 福継 〈令和2年4月〉	専	教授	任(中川) 福継 〈令和2年4月〉
		科学技術論E※ 機械翻訳特論 理工学特別実習 知能情報システム特別論講 知能情報システム特別研究			科学技術論E※ 機械翻訳特論 理工学特別実習 知能情報システム特別論講 知能情報システム特別研究
専	教授	橋爪 正樹 〈令和2年4月〉	専	教授	橋爪 正樹 〈令和2年4月〉
		電子回路特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究			電子回路特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論講 電気電子システム特別研究
専	教授	橋本 親典 〈令和2年4月〉	専	教授	橋本 親典 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 建設材料物性特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論講 社会基盤デザイン特別研究			科学技術論A※ 建設材料物性特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論講 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	蓮沼 徹 〈令和2年4月〉	専	教授	蓮沼 徹 〈令和2年4月〉
		離散数学特論 理工学特別実習 数理科学特別論講 数理科学特別研究			離散数学特論 理工学特別実習 数理科学特別論講 数理科学特別研究
専	教授	長谷崎 和洋 〈令和2年4月〉	専	教授	長谷崎 和洋 〈令和2年4月〉
		熱力学特論 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究			熱力学特論 理工学特別実習 機械科学特別論講 機械科学特別研究
専	教授	馬場 俊孝 〈令和2年4月〉	専	教授	馬場 俊孝 〈令和2年4月〉
		津波解析特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論講 社会基盤デザイン特別研究			津波解析特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論講 社会基盤デザイン特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	原口 雅宣 〈令和2年4月〉	専	教授	原口 雅宣 〈令和2年4月〉
		科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究			科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究
専	教授	日野 順市 〈令和2年4月〉	専	教授	日野 順市 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 振動工学特論 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			科学技術論A※ 振動工学特論 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	教授	福見 稔 〈令和2年4月〉	専	教授	福見 稔 〈令和2年4月〉
		ヒューマンセンシング 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			ヒューマンセンシング 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	教授	弘田 正雄 〈令和2年4月〉	専	教授	弘田 正雄 〈令和2年4月〉
		自然言語理解 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			自然言語理解 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉	専	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉	専	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉
		ナノ光計測工学 光結晶設計工学※ 光機能材料・光デバイス論2※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究			ナノ光計測工学 光結晶設計工学※ 光機能材料・光デバイス論2※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究
専	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉	専	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉
		電気機器応用システム特論 電力システム特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			電気機器応用システム特論 電力システム特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究
専	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉	専	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉
		発生情報科学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			発生情報科学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉	専	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉
		量子物性物理学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			量子物性物理学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉	専	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉
		情報セキュリティシステム論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			情報セキュリティシステム論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉	専	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 集団遺伝学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			科学技術論D※ 集団遺伝学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松本 健志 〈令和2年4月〉	専	教授	松本 健志 〈令和2年4月〉
		バイオメカニカルデザイン※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			バイオメカニカルデザイン※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	教授	南川 慶二 〈令和2年4月〉	専	教授	南川 慶二 〈令和2年4月〉
		高分子化学特論※ 化学環境工学特論※ 科学技術コミュニケーション 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			高分子化学特論※ 化学環境工学特論※ 科学技術コミュニケーション 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	教授	三好 徳和 〈令和2年4月〉	専	教授	三好 徳和 〈令和2年4月〉
		有機合成化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			有機合成化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	教授	武藤 裕則 〈令和2年4月〉	専	教授	武藤 裕則 〈令和2年4月〉
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究
専	教授	村上 公一 〈令和2年4月〉	専	教授	村上 公一 〈令和2年4月〉
		非線形現象解析特論 理工学特別実習 数理科学特別論議 数理科学特別研究			非線形現象解析特論 理工学特別実習 数理科学特別論議 数理科学特別研究
専	教授	森賀 俊広 〈令和2年4月〉	専	教授	森賀 俊広 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 材料科学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			科学技術論B※ 材料科学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	教授	守安 一峰 〈令和2年4月〉	専	教授	守安 一峰 〈令和2年4月〉
		力学系数理特論 理工学特別実習 数理科学特別論議 数理科学特別研究			力学系数理特論 理工学特別実習 数理科学特別論議 数理科学特別研究
専	教授	安井 武史 〈令和2年4月〉	専	教授	安井 武史 〈令和2年4月〉
		非破壊計測学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			非破壊計測学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	教授	安澤 幹人 〈令和2年4月〉	専	教授	安澤 幹人 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	教授	安野 卓 〈令和2年4月〉	専	教授	安野 卓 〈令和2年4月〉
		制御応用工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究			制御応用工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究
専	教授	山中 英生 〈令和2年4月〉	専	教授	山中 英生 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスコミュニケーション※ 都市交通計画特論※ 都市・地域計画特論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスコミュニケーション※ 都市交通計画特論 都市・地域計画特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	米倉 大介 <令和2年4月>	専	教授	米倉 大介 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 材料強度学特論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			科学技術論A※ 材料強度学特論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	教授	渡部 稔 <令和2年4月>	専	教授	渡部 稔 <令和2年4月>
		生命情報科学特論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			生命情報科学特論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	准教授	敷 金平 <令和2年4月>	専	准教授	敷 金平 <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 電子デバイス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 電子デバイス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究
専	准教授	青矢 睦月 <令和2年4月>	専	准教授	青矢 睦月 <令和2年4月>
		岩石・鉱物学特論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			岩石・鉱物学特論 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	准教授	ナカガイト ノリオ アントニオ <令和2年4月>	専	准教授	ナカガイト ノリオ アントニオ <令和2年4月>
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 材料工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 材料工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	准教授	池田 建司 <令和2年4月>	専	准教授	池田 建司 <令和2年4月>
		情報ネットワーク※ 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究			情報ネットワーク※ 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究
専	准教授	上野 勝利 <令和2年4月>	専	准教授	上野 勝利 <令和2年4月>
		地盤力学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			地盤力学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究
専	准教授	宇野 剛史 <令和2年4月>	専	准教授	宇野 剛史 <令和2年4月>
		確率計画法特論 理工学特別実習 数理学特別論議 数理学特別研究			確率計画法特論 理工学特別実習 数理学特別論議 数理学特別研究
専	准教授	上手 洋子 <令和2年4月>	専	准教授	上手 洋子 <令和2年4月>
		回路工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究			回路工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究
専	准教授	大石 篤哉 <令和2年4月>	専	准教授	大石 篤哉 <令和2年4月>
		データサイエンス 計算力学特論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			データサイエンス 計算力学特論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	准教授	大石 昌嗣 <令和2年4月>	専	准教授	大石 昌嗣 <令和2年4月>
		エネルギー環境工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			エネルギー環境工学※ 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	大沼 正樹 〈令和2年4月〉	専	准教授	大沼 正樹 〈令和2年4月〉
		函数方程式特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			函数方程式特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	准教授	大野 恭秀 〈令和2年4月〉	専	准教授	大野 恭秀 〈令和2年4月〉
		デバイスプロセス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			デバイスプロセス特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究
専	准教授	岡本 敏弘 〈令和2年4月〉	専	准教授	岡本 敏弘 〈令和2年4月〉
		光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究			光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究
専	准教授	加藤 雅裕 〈令和2年4月〉	専	准教授	加藤 雅裕 〈令和2年4月〉
		化学反応工学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			化学反応工学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	准教授	河口 洋一 〈令和2年4月〉	専	准教授	河口 洋一 〈令和2年4月〉
		環境生態学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			環境生態学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	准教授	川崎 祐 〈令和2年4月〉	専	准教授	川崎 祐 〈令和2年4月〉
		強相関物質科学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			強相関物質科学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	准教授	岸川 博紀 〈令和2年4月〉	専	准教授	岸川 博紀 〈令和2年4月〉
		光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究			光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究
専	准教授	コインカー バンカジ 〈令和2年4月〉	専	准教授	コインカー バンカジ 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究			グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※ 理工学特別実習 光システム特別輪講 光システム特別研究
専	准教授	越山 颯一郎 〈令和2年4月〉	専	准教授	越山 颯一郎 〈令和2年4月〉
		バイオマテリアル※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			バイオマテリアル※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	准教授	佐藤 高則 〈令和2年4月〉			
		生物化学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			
専	准教授	佐野 雅彦 〈令和2年4月〉	専	准教授	佐野 雅彦 〈令和2年4月〉
		情報セキュリティシステム論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			情報セキュリティシステム論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	重光 亨 〈令和2年4月〉	専	准教授	重光 亨 〈令和2年4月〉
		応用流体力学特論※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			応用流体力学特論※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	准教授	蔣 景彩 〈令和2年4月〉	専	准教授	蔣 景彩 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 斜面減災工学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 斜面減災工学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	准教授	鈴木 良尚 〈令和2年4月〉	専	准教授	鈴木 良尚 〈令和2年4月〉
		物性化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			物性化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	准教授	宋 天 〈令和2年4月〉	専	准教授	宋 天 〈令和2年4月〉
		データサイエンス グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 集積回路特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			データサイエンス グローバルコミュニケーションB 科学技術論E※ 集積回路特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究
専	准教授	田村 隆雄 〈令和2年4月〉	専	准教授	田村 隆雄 〈令和2年4月〉
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			応用水理学特論※ 流域水管理工学※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	准教授	寺西 研二 〈令和2年4月〉	専	准教授	寺西 研二 〈令和2年4月〉
		プラズマ応用工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			プラズマ応用工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究
専	准教授	富田 卓朗 〈令和2年4月〉	専	准教授	富田 卓朗 〈令和2年4月〉
		光材料科学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			光材料科学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究
専	准教授	中田 成智 〈令和2年4月〉	専	准教授	中田 成智 〈令和2年4月〉
		耐震工学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			耐震工学特論 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	准教授	永田 裕一 〈令和2年4月〉	専	准教授	永田 裕一 〈令和2年4月〉
		自律知能システム 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			自律知能システム 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	准教授	中山 慎一 〈令和2年4月〉	専	准教授	中山 慎一 〈令和2年4月〉
		組合せ最適化特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			組合せ最適化特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	准教授	名田 謙 〈令和2年4月〉	専	准教授	名田 謙 〈令和2年4月〉
		燃焼工学 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			燃焼工学 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鍋島 克輔 <令和2年4月>	専	准教授	鍋島 克輔 <令和2年4月>
		数式処理特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			数式処理特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	准教授	滑川 達 <令和2年4月>	専	准教授	滑川 達 <令和2年4月>
		プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント
専	准教授	西野 克志 <令和2年4月>	専	准教授	西野 克志 <令和2年4月>
		半導体工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究			半導体工学特論 理工学特別実習 電気電子システム特別輪講 電気電子システム特別研究
専	准教授	西山 賢一 <令和2年4月>	専	准教授	西山 賢一 <令和2年4月>
		環境・防災地質学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			環境・防災地質学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
			専	准教授	平田 章 <令和2年4月>
					生物化学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	准教授	平野 朋広 <令和2年4月>	専	准教授	平野 朋広 <令和2年4月>
		立体化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			立体化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	准教授	深貝 暢良 <令和2年4月>	専	准教授	深貝 暢良 <令和2年4月>
		微分方程式特論			微分方程式特論
専	准教授	堀河 俊英 <令和2年4月>	専	准教授	堀河 俊英 <令和2年4月>
		分離工学特論 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			分離工学特論 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	准教授	水野 義紀 <令和2年4月>	専	准教授	水野 義紀 <令和2年4月>
		代数学特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究			代数学特論 理工学特別実習 数理科学特別輪講 数理科学特別研究
専	准教授	南川 丈夫 <令和2年4月>	専	准教授	南川 丈夫 <令和2年4月>
		分光計測学 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			分光計測学 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	准教授	三輪 昌史 <令和2年4月>	専	准教授	三輪 昌史 <令和2年4月>
		アクチュエータ理論 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			アクチュエータ理論 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	准教授	村井 啓一郎 <令和2年4月>	専	准教授	村井 啓一郎 <令和2年4月>
		材料科学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			材料科学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	森田 和宏 〈令和2年4月〉	専	准教授	森田 和宏 〈令和2年4月〉
		自然言語理解 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究			自然言語理解 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究
専	准教授	山本 孝 〈令和2年4月〉	専	准教授	山本 孝 〈令和2年4月〉
		環境物理化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			環境物理化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	准教授	渡邊 健 〈令和2年4月〉	専	准教授	渡邊 健 〈令和2年4月〉
		鉄筋コンクリート工学特論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			鉄筋コンクリート工学特論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究
専	講師	芥川 正武 〈令和2年4月〉	専	講師	芥川 正武 〈令和2年4月〉
		生体工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究			生体工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究
専	講師	石川 真志 〈令和2年4月〉	専	講師	石川 真志 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 生産システム論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			科学技術論A※ 生産システム論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	講師	伊藤(大淵) 桃代 〈令和2年4月〉	専	講師	伊藤(大淵) 桃代 〈令和2年4月〉
		ヒューマンセンシング 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究			ヒューマンセンシング 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究
専	講師	犬飼 宗弘 〈令和2年4月〉	専	講師	犬飼 宗弘 〈令和2年4月〉
		磁気共鳴科学 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			磁気共鳴科学 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	講師	上野 雅晴 〈令和2年4月〉	専	准教授	上野 雅晴 〈令和2年4月〉
		グリーンケミストリー特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			グリーンケミストリー特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	講師	浮田 浩行 〈令和2年4月〉	専	講師	浮田 浩行 〈令和2年4月〉
		デジタル制御論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			デジタル制御論 理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	講師	榎本 崇宏 〈令和2年4月〉	専	講師	榎本 崇宏 〈令和2年4月〉
		生体工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究			生体工学特論※ 理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究
専	講師	大野 将樹 〈令和2年4月〉	専	講師	大野 将樹 〈令和2年4月〉
		マルチメディア工学※			マルチメディア工学※
専	講師	岡本 邦也 〈令和2年4月〉	専	講師	岡本 邦也 〈令和2年4月〉
		応用解析学特論 理工学特別実習 数理学特別論議 数理学特別研究			応用解析学特論 理工学特別実習 数理学特別論議 数理学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	押村 美幸 〈令和2年4月〉	専	講師	押村 美幸 〈令和2年4月〉
		高分子化学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			高分子化学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	講師	折戸（窪） 玲子 〈令和2年4月〉	専	講師	折戸（窪） 玲子 〈令和2年4月〉
		宇宙線計測学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			宇宙線計測学特論 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	講師	カルンガル ステファン ギ ティンシ 〈令和2年4月〉	専	講師	カルンガル ステファン ギ ティンシ 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	講師	日下 一也 〈令和2年4月〉	専	講師	日下 一也 〈令和2年4月〉
		非破壊計測学※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			非破壊計測学※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	講師	佐藤 克也 〈令和2年4月〉	専	准教授	佐藤 克也 〈令和2年4月〉
		バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	講師	白根 竹人 〈令和2年4月〉	専	講師	白根 竹人 〈令和2年4月〉
		幾何学特論 理工学特別実習 数理学特別輪講 数理学特別研究			幾何学特論 理工学特別実習 数理学特別輪講 数理学特別研究
専	講師	中村 光裕 〈令和2年4月〉	専	講師	中村 光裕 〈令和2年4月〉
		有機機能性物質化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			有機機能性物質化学特論 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究
専	講師	西内 優騎 〈令和2年4月〉	専	講師	西内 優騎 〈令和2年4月〉
		有機化学特論 化学環境学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			有機化学特論 化学環境学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	講師	西出 俊 〈令和2年4月〉	専	講師	西出 俊 〈令和2年4月〉
		機械翻訳特論 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			機械翻訳特論 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	講師	西村 良太 〈令和2年4月〉	専	講師	西村 良太 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 知能情報システム特別輪講			理工学特別実習 知能情報システム特別輪講
専	講師	久田 旭彦 〈令和2年4月〉	専	講師	久田 旭彦 〈令和2年4月〉
		極限環境物性学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究			極限環境物性学 理工学特別実習 自然科学特別輪講 自然科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	水口 仁志 <令和2年4月>	専	講師	水口 仁志 <令和2年4月>
		分析・環境化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			分析・環境化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	講師	水科 晴樹 <令和2年4月>	専	講師	水科 晴樹 <令和2年4月>
		ディスプレイ論 視覚情報処理 理工学特別実習 光システム特別輪講			ディスプレイ論 視覚情報処理 理工学特別実習 光システム特別輪講
専	講師	溝淵 啓 <令和2年4月>	専	准教授	溝淵 啓 <令和2年4月>
		生産加工学※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究			生産加工学※ 理工学特別実習 機械科学特別輪講 機械科学特別研究
専	講師	光原 弘幸 <令和2年4月>	専	准教授	光原 弘幸 <令和2年4月>
		マルチメディア工学※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究			マルチメディア工学※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	講師	山中 亮一 <令和2年4月>	専	講師	山中 亮一 <令和2年4月>
		防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務演習 ミタゲーション工学※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務演習 ミタゲーション工学※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	講師	吉田 健 <令和2年4月>	専	講師	吉田 健 <令和2年4月>
		物理化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			物理化学特論※ 化学環境工学特論※ 理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	講師	吉田 稔 <令和2年4月>	専	講師	吉田 稔 <令和2年4月>
		言語モデル論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講			言語モデル論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講
専	助教	荒川 幸弘 <令和2年4月>	専	助教	荒川 幸弘 <令和2年4月>
		理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究			理工学特別実習 応用化学システム特別輪講 応用化学システム特別研究
専	助教	伊藤 伸一 <令和2年4月>	専	講師	伊藤 伸一 <令和2年4月>
		科学技術論C※ ヒューマンセンシング 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講			科学技術論C※ ヒューマンセンシング 理工学特別実習 知能情報システム特別輪講 知能情報システム特別研究
専	助教	井上 貴文 <令和2年4月>	専	助教	井上 貴文 <令和2年4月>
		理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究
専	助教	尾野(岩切) 薫 <令和2年4月>			
		都市交通計画特論※ 都市・地域計画論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別輪講 社会基盤デザイン特別研究			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	金井 純子 〈令和2年4月〉	専	助教	金井 純子 〈令和2年4月〉
		デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究
専	助教	川上 烈生 〈令和2年4月〉	専	助教	川上 烈生 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究			理工学特別実習 電気電子システム特別論議 電気電子システム特別研究
専	助教	草野 剛嗣 〈令和2年4月〉	専	助教	草野 剛嗣 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	助教	倉科 昌 〈令和2年4月〉	専	助教	倉科 昌 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	助教	康 鑫 〈令和2年4月〉	専	助教	康 鑫 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 機械翻訳特論 理工学特別実習			データサイエンス 機械翻訳特論 理工学特別実習
専	助教	霜田 直宏 〈令和2年4月〉	専	助教	霜田 直宏 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	助教	鈴木 秀宣 〈令和2年4月〉	専	助教	鈴木 秀宣 〈令和2年4月〉
		バーチャルリアリティ技術※			バーチャルリアリティ技術※
専	助教	高島 祐介 〈令和2年4月〉	専	助教	高島 祐介 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習			理工学特別実習
専	助教	谷岡 広樹 〈令和2年4月〉	専	助教	谷岡 広樹 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 情報セキュリティシステム論※			データサイエンス 情報セキュリティシステム論※
専	助教	丹羽（谷口） 実輝 〈令和2年4月〉	専	助教	丹羽（谷口） 実輝 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 光システム特別論議 光システム特別研究			理工学特別実習 光システム特別論議 光システム特別研究
専	助教	野口 直樹 〈令和2年4月〉	専	助教	野口 直樹 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	助教	久澤 大夢 〈令和2年4月〉	専	助教	久澤 大夢 〈令和2年4月〉
		理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	松井 保子 <令和2年4月>	専	助教	松井 保子 <令和2年4月>
		理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究			理工学特別実習 機械科学特別論議 機械科学特別研究
専	助教	松本 和幸 <令和2年4月>	専	准教授	松本 和幸 <令和2年4月>
		言語モデル論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究			言語モデル論※ 理工学特別実習 知能情報システム特別論議 知能情報システム特別研究
専	助教	八木下 史敏 <令和2年4月>	専	助教	八木下 史敏 <令和2年4月>
		理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究			理工学特別実習 応用化学システム特別論議 応用化学システム特別研究
専	助教	柳谷 伸一郎 <令和2年4月>	専	准教授	柳谷 伸一郎 <令和2年4月>
		光結晶設計工学※ 理工学特別実習 光システム特別論議 光システム特別研究			光結晶設計工学※ 理工学特別実習 光システム特別論議 光システム特別研究
専	助教	山本 祐平 <令和2年4月>	専	講師	山本 祐平 <令和2年4月>
		環境無機化学特論※ 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究			環境無機化学特論※ 物質化学特論※ 理工学特別実習 自然科学特別論議 自然科学特別研究
専	助教	湯浅 恭史 <令和2年4月>	専	助教	湯浅 恭史 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究
専	助教	渡辺 公次郎 <令和2年4月>	専	准教授	渡辺 公次郎 <令和2年4月>
		都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究			都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※ 理工学特別実習 社会基盤デザイン特別論議 社会基盤デザイン特別研究
兼任	教授	齋場 和彦 <令和2年4月>	兼任	教授	齋場 和彦 <令和2年4月>
		国際関係特論 国際協力論			国際関係特論 国際協力論
兼任	教授	荒武 達朗 <令和2年4月>	兼任	教授	荒武 達朗 <令和2年4月>
		アジア文化特論 グローバル社会文化論			アジア文化特論 グローバル社会文化論
兼任	教授	石田 基広 <令和2年4月>	兼任	教授	石田 基広 <令和2年4月>
		データサイエンス			データサイエンス
兼任	教授	宇都 義浩 <令和2年4月>	兼任	教授	宇都 義浩 <令和2年4月>
		創薬学特論			創薬学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	刑部 敬史 〈令和2年4月〉	兼任	教授	刑部 敬史 〈令和2年4月〉
		植物細胞工学特論			植物細胞工学特論
兼任	教授	音井 威重 〈令和2年4月〉	兼任	教授	音井 威重 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 動物生殖工学特論			科学技術論B※ 動物生殖工学特論
兼任	教授	金丸 芳 〈令和2年4月〉	兼任	教授	金丸 芳 〈令和2年4月〉
		食安全学特論 食品加工保蔵特論			食安全学特論 食品加工保蔵特論
兼任	教授	衣川 仁 〈令和2年4月〉	兼任	教授	衣川 仁 〈令和2年4月〉
		日本歴史文化特論			日本歴史文化特論
兼任	教授	佐久間 亮 〈令和2年4月〉	兼任	教授	佐久間 亮 〈令和2年4月〉
		英語圏歴史文化特論			英語圏歴史文化特論
兼任	教授	櫻谷 英治 〈令和2年4月〉	兼任	教授	櫻谷 英治 〈令和2年4月〉
		応用微生物学特論			応用微生物学特論
兼任	教授	佐藤 充宏 〈令和2年4月〉	兼任	教授	佐藤 充宏 〈令和2年4月〉
		健康社会特論			健康社会特論
兼任	教授	佐藤 裕 〈令和2年4月〉	兼任	教授	佐藤 裕 〈令和2年4月〉
		認知心理学特論 行動科学			認知心理学特論 行動科学
兼任	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE 〈令和2年4月〉	兼任	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE 〈令和2年4月〉
		言語コミュニケーション特論 グローバルコミュニケーションA			言語コミュニケーション特論 グローバルコミュニケーションA
兼任	教授	田井 章博 〈令和2年4月〉	兼任	教授	田井 章博 〈令和2年4月〉
		栄養生化学特論			栄養生化学特論
兼任	教授	高橋 晋一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	高橋 晋一 〈令和2年4月〉
		地域文化特論 グローバル社会文化論			地域文化特論 グローバル社会文化論
兼任	教授	田中 保 〈令和2年4月〉	兼任	教授	田中 保 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 食品評価特論			科学技術論B※ 食品評価特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	堤 和博 〈令和2年4月〉	兼任	教授	堤 和博 〈令和2年4月〉
		日本語文化特論			日本語文化特論
兼任	教授	豊田 哲也 〈令和2年4月〉	兼任	教授	豊田 哲也 〈令和2年4月〉
		地域構造特論			地域構造特論
兼任	教授	中野 晋 〈令和2年4月〉	兼任	教授	中野 晋 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習
兼任	教授	長宗 秀明 〈令和2年4月〉	兼任	教授	長宗 秀明 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 細胞工学特論			科学技術論B※ 細胞工学特論
兼任	教授	中村 嘉利 〈令和2年4月〉	兼任	教授	中村 嘉利 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 生物化学工学特論			科学技術論B※ 生物化学工学特論
兼任	教授	中村 豊 〈令和2年4月〉	兼任	教授	中村 豊 〈令和2年4月〉
		日本歴史文化特論			日本歴史文化特論
兼任	教授	濱野 龍夫 〈令和2年4月〉	兼任	教授	濱野 龍夫 〈令和2年4月〉
		フィールド水圏生物学特論			フィールド水圏生物学特論
兼任	教授	松木 均 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松木 均 〈令和2年4月〉
		生体熱力学特論			生体熱力学特論
兼任	教授	三浦 哉 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三浦 哉 〈令和2年4月〉
		応用生理学特論 行動科学			応用生理学特論 行動科学
兼任	教授	三隅 友子 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三隅 友子 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションA			グローバルコミュニケーションA
兼任	教授	三好 弘一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三好 弘一 〈令和2年4月〉
		量子化学特論			量子化学特論
兼任	教授	村上 敬一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	村上 敬一 〈令和2年4月〉
		地域言語特論			地域言語特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	森松 文毅 〈令和2年4月〉	兼任	教授	森松 文毅 〈令和2年4月〉
		畜産物利用学特論			畜産物利用学特論
兼任	教授	矢部 拓也 〈令和2年4月〉	兼任	教授	矢部 拓也 〈令和2年4月〉
		地域社会特論			地域社会特論
兼任	教授	山口 鉄生 〈令和2年4月〉	兼任	教授	山口 鉄生 〈令和2年4月〉
		健康科学特論			健康科学特論
兼任	教授	山口 裕之 〈令和2年4月〉	兼任	教授	山口 裕之 〈令和2年4月〉
		応用倫理学特論			応用倫理学特論
兼任	教授	依岡 隆児 〈令和2年4月〉	兼任	教授	依岡 隆児 〈令和2年4月〉
		ヨーロッパ文化特論 グローバル社会文化論			ヨーロッパ文化特論 グローバル社会文化論
兼任	准教授	赤松 徹也 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	赤松 徹也 〈令和2年4月〉
		生体機能学特論			生体機能学特論
兼任	准教授	浅田 元子 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	浅田 元子 〈令和2年4月〉
		環境生物学特論			環境生物学特論
兼任	准教授	新田 元規 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	新田 元規 〈令和2年4月〉
		アジア文化特論			アジア文化特論
兼任	准教授	上原 克之 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上原 克之 〈令和2年4月〉
		法律学特論			法律学特論
兼任	准教授	内海（宮川）千種 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	内海（宮川）千種 〈令和2年4月〉
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開） 危機管理学※			学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開） 危機管理学※
兼任	准教授	刑部 祐里子 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	刑部 祐里子 〈令和2年4月〉
		植物分子生物学特論			植物分子生物学特論
兼任	准教授	掛井 秀一 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	掛井 秀一 〈令和2年4月〉
		空間デザイン特論			空間デザイン特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	川上 竜巳 <令和2年4月>	兼任	准教授	川上 竜巳 <令和2年4月>
		酵素化学特論			酵素化学特論
			兼任	准教授	河田 和子 <令和2年4月>
					日本語文化特論
兼任	准教授	河原崎 貴光 <令和2年4月>	兼任	准教授	河原崎 貴光 <令和2年4月>
		アート表現特論			アート表現特論
兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS <令和2年4月>	兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS <令和2年4月>
		グローバル社会文化論			グローバル社会文化論
兼任	准教授	熊坂 元大 <令和2年4月>	兼任	准教授	熊坂 元大 <令和2年4月>
		応用倫理学特論			応用倫理学特論
兼任	准教授	小田切 康彦 <令和2年4月>	兼任	准教授	小田切 康彦 <令和2年4月>
		公共政策特論			公共政策特論
兼任	准教授	佐々木(田村) 千鶴 <令和2年4月>	兼任	准教授	佐々木(田村) 千鶴 <令和2年4月>
		資源利用学特論			資源利用学特論
兼任	准教授	佐藤 征弥 <令和2年4月>	兼任	准教授	佐藤 征弥 <令和2年4月>
		植物保護学特論			植物保護学特論
兼任	准教授	佐原 理 <令和2年4月>	兼任	准教授	佐原 理 <令和2年4月>
		映像デザイン特論			映像デザイン特論
兼任	准教授	SCHIEDGES OLAF <令和2年4月>	兼任	准教授	SCHIEDGES OLAF <令和2年4月>
		日本文化特論			日本文化特論
兼任	准教授	田口 太郎 <令和2年4月>	兼任	准教授	田口 太郎 <令和2年4月>
		地域計画学特論			地域計画学特論
兼任	准教授	田中 佳 <令和2年4月>	兼任	准教授	田中 佳 <令和2年4月>
		ヨーロッパ文化特論			ヨーロッパ文化特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	玉井 伸岳 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	玉井 伸岳 〈令和2年4月〉
		生物物理化学特論			生物物理化学特論
兼任	准教授	趙 彤 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	趙 彤 〈令和2年4月〉
		経済学特論			経済学特論
兼任	准教授	塚本 章宏 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	塚本 章宏 〈令和2年4月〉
		空間情報科学特論			空間情報科学特論
兼任	准教授	土屋 敦 〈令和2年4月〉			
		福祉社会特論			
兼任	准教授	富塚 昌輝 〈令和2年4月〉			
		日本語文化特論			
兼任	准教授	友安 俊文 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	友安 俊文 〈令和2年4月〉
		先端生命科学特論			先端生命科学特論
兼任	准教授	内藤 直樹 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	内藤 直樹 〈令和2年4月〉
		グローバル文化特論 国際協力論			グローバル文化特論 国際協力論
兼任	准教授	中島 浩二 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	中島 浩二 〈令和2年4月〉
		言語コミュニケーション特論			言語コミュニケーション特論
兼任	准教授	中塚 健太郎 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	中塚 健太郎 〈令和2年4月〉
		健康心理学特論			健康心理学特論
兼任	准教授	服部 武文 〈令和2年4月〉	兼任	教授	服部 武文 〈令和2年4月〉
		森林代謝科学特論			森林代謝科学特論
兼任	准教授	樋口 直人 〈令和2年4月〉			
		グローバル社会特論			
兼任	准教授	三戸 太郎 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	三戸 太郎 〈令和2年4月〉
		分子発生生物学特論			分子発生生物学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	宮脇 克行 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	宮脇 克行 〈令和2年4月〉
		生産システム制御工学特論			生産システム制御工学特論
兼任	准教授	向井（高橋）理恵 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	向井（高橋）理恵 〈令和2年4月〉
		機能性食品学特論			機能性食品学特論
兼任	准教授	山内 暁彦 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	山内 暁彦 〈令和2年4月〉
		英語圏文化特論			英語圏文化特論
兼任	准教授	山城 考 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	山城 考 〈令和2年4月〉
		分子生態学特論			分子生態学特論
兼任	准教授	山田（乾） 仁子 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	山田（乾） 仁子 〈令和2年4月〉
		言語コミュニケーション特論			言語コミュニケーション特論
兼任	准教授	山本 圭 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	山本 圭 〈令和2年4月〉
		分子組織代謝学特論			分子組織代謝学特論
兼任	准教授	湯浅 恵造 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	湯浅 恵造 〈令和2年4月〉
		細胞情報学特論			細胞情報学特論
兼任	准教授	横谷 謙次 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	横谷 謙次 〈令和2年4月〉
		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する倫理と実践）			家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する倫理と実践）
兼任	准教授	吉田 文美 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	吉田 文美 〈令和2年4月〉
		英語圏文化特論			英語圏文化特論
兼任	講師	岡 直宏 〈令和2年4月〉	兼任	講師	岡 直宏 〈令和2年4月〉
		水産植物学特論			水産植物学特論
兼任	講師	岸本 幸治 〈令和2年4月〉	兼任	講師	岸本 幸治 〈令和2年4月〉
		再生医学特論			再生医学特論
			兼任	准教授	渡邊 克典 〈令和2年4月〉
					福祉社会特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	北岡 和義 〈令和2年4月〉	兼任	講師	北岡 和義 〈令和2年4月〉
		デザイン思考演習			デザイン思考演習
兼任	講師	甲田 宗良 〈令和2年4月〉	兼任	講師	甲田 宗良 〈令和2年4月〉
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開※			産業・労働分野に関する理論と支援の展開※
兼任	講師	白井 昭博 〈令和2年4月〉	兼任	講師	白井 昭博 〈令和2年4月〉
		微生物工学特論			微生物工学特論
兼任	講師	田端 厚之 〈令和2年4月〉	兼任	講師	田端 厚之 〈令和2年4月〉
		微生物検査学特論			微生物検査学特論
兼任	講師	津村 秀樹 〈令和2年4月〉	兼任	講師	津村 秀樹 〈令和2年4月〉
		心の健康教育に関する理論と実践			心の健康教育に関する理論と実践
兼任	講師	橋本 直史 〈令和2年4月〉	兼任	講師	橋本 直史 〈令和2年4月〉
		農業市場学特論 農業経済学特論			農業市場学特論 農業経済学特論
兼任	講師	畠 一樹 〈令和2年4月〉	兼任	講師	畠 一樹 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	山下 聡 〈令和2年4月〉	兼任	講師	山下 聡 〈令和2年4月〉
		森林生物学特論			森林生物学特論
兼任	講師	山田 久嗣 〈令和2年4月〉	兼任	講師	山田 久嗣 〈令和2年4月〉
		ケミカルバイオロジー特論			ケミカルバイオロジー特論
兼任	助教	油井 毅 〈令和2年4月〉	兼任	助教	油井 毅 〈令和2年4月〉
		デザイン思考演習			デザイン思考演習
兼任	助教	笹尾 知世 〈令和2年4月〉			
		ビジネスモデル特論			
兼任	講師	青木 正繁 〈令和2年4月〉	兼任	講師	青木 正繁 〈令和2年4月〉
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	石橋 聡 〈令和2年4月〉	兼任	講師	石橋 聡 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
兼任	講師	磯打 千雅子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	磯打 千雅子 〈令和2年4月〉
		危機管理学※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			危機管理学※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※
兼任	講師	伊藤 民武 〈令和2年4月〉	兼任	講師	伊藤 民武 〈令和2年4月〉
		光機能材料・光デバイス論2※			光機能材料・光デバイス論2※
兼任	講師	井上 勝博 〈令和2年4月〉	兼任	講師	井上 勝博 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
兼任	講師	井面 仁志 〈令和2年4月〉	兼任	講師	井面 仁志 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
			兼任	講師	井若 和久 〈令和2年4月〉
					ミテゲーション工学※
兼任	講師	上岡 義典 〈令和2年4月〉	兼任	講師	上岡 義典 〈令和2年4月〉
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）			学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）
兼任	講師	鵜飼 裕司 〈令和2年4月〉	兼任	講師	鵜飼 裕司 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
			兼任	講師	大喜多 一範 〈令和2年4月〉
					デザイン思考演習
兼任	講師	奥村 治彦 〈令和2年4月〉	兼任	講師	奥村 治彦 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
兼任	講師	小野 努 〈令和2年4月〉	兼任	講師	小野 努 〈令和2年4月〉
		化学プロセス工学特論			化学プロセス工学特論
兼任	講師	埴内 孝祐 〈令和2年4月〉	兼任	講師	埴内 孝祐 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	梶谷 義雄 〈令和2年4月〉	兼任	講師	梶谷 義雄 〈令和2年4月〉
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
			兼任	講師	門田 功 〈令和2年4月〉
					物質合成化学特論
兼任	講師	川本 靖 〈令和2年4月〉	兼任	講師	川本 靖 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
兼任	講師	黒崎 ひろみ 〈令和2年4月〉	兼任	講師	黒崎 ひろみ 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	黒田 泰弘 〈令和2年4月〉	兼任	講師	黒田 泰弘 〈令和2年4月〉
		メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※			メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※
			兼任	講師	小山 博幸 〈令和2年4月〉
					デザイン思考演習
兼任	講師	坂本 考史 〈令和2年4月〉	兼任	講師	坂本 考史 〈令和2年4月〉
		光機能材料・光デバイス論 1 ※			光機能材料・光デバイス論 1 ※
			兼任	講師	志方 直之 〈令和2年4月〉
					デザイン思考演習
兼任	講師	白木 渡 〈令和2年4月〉	兼任	講師	白木 渡 〈令和2年4月〉
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	高原 龍二 〈令和2年4月〉	兼任	講師	高原 龍二 〈令和2年4月〉
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開※			産業・労働分野に関する理論と支援の展開※
			兼任	講師	高山 幸秀 〈令和2年4月〉
					言語モデル論※
			兼任	講師	津田 和彦 〈令和2年4月〉
					自然言語理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	寺本 修二 〈令和2年4月〉	兼任	講師	寺本 修二 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
兼任	講師	長濱 慎一 〈令和2年4月〉	兼任	講師	長濱 慎一 〈令和2年4月〉
		光機能材料・光デバイス論1※			光機能材料・光デバイス論1※
兼任	講師	瀧 浩樹 〈令和2年4月〉			
		物質機能化学特論			
兼任	講師		兼任	講師	西山 桂 〈令和2年4月〉
					物質機能化学特論
兼任	講師	根来 慎太郎 〈令和2年4月〉	兼任	講師	根来 慎太郎 〈令和2年4月〉
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	野々村 敦子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	野々村 敦子 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※
兼任	講師	延 昌秀 〈令和2年4月〉	兼任	講師	延 昌秀 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
兼任	講師	萩池 昌信 〈令和2年4月〉	兼任	講師	萩池 昌信 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 事業継続計画（BCP）の策定と実践※ 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	橋爪 章仁 〈令和2年4月〉			
		物質合成化学特論			
兼任	講師	坂東 淳 〈令和2年4月〉	兼任	講師	坂東 淳 〈令和2年4月〉
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師		兼任	講師	平井 研 〈令和2年4月〉
					ミチゲーション工学※
兼任	講師	平石 香奈子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	平石 香奈子 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	平尾 智広 〈令和2年4月〉	兼任	講師	平尾 智広 〈令和2年4月〉
		メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※			メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※ 防災危機管理実習
兼任	講師	藤澤 一仁 〈令和2年4月〉	兼任	講師	藤澤 一仁 〈令和2年4月〉
		防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※
兼任	講師	松本 秀應 〈令和2年4月〉	兼任	講師	松本 秀應 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※
兼任	講師	水ノ上 智邦 〈令和2年4月〉	兼任	講師	水ノ上 智邦 〈令和2年4月〉
		国際経済特論			国際経済特論
兼任	講師	向井 孝志 〈令和2年4月〉	兼任	講師	向井 孝志 〈令和2年4月〉
		光機能材料・光デバイス論1※			光機能材料・光デバイス論1※
兼任	講師	森 伸一郎 〈令和2年4月〉	兼任	講師	森 伸一郎 〈令和2年4月〉
		危機管理学※			危機管理学※
			兼任	講師	山本 秀一 〈令和2年4月〉
					ミテゲーション工学※
兼任	講師	和田 健司 〈令和2年4月〉	兼任	講師	和田 健司 〈令和2年4月〉
		光システム工学論※			光システム工学論※
兼任	講師	森 卓史 〈令和2年4月〉	兼任	講師	森 卓史 〈令和2年4月〉
		ビジネスモデル特論			ビジネスモデル特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・伊藤伸一助教，令和2年4月講師昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・渡辺公次郎助教，令和2年4月准教授昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・溝渕啓講師，令和2年4月准教授昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・佐藤克也講師，令和2年4月准教授昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・松本和幸助教，令和2年4月准教授昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・光原弘幸講師，令和2年4月准教授昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・柳谷伸一郎助教，令和2年4月准教授昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・山本祐平助教，令和2年4月講師昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・上野雅晴講師，令和2年4月准教授昇任。（令和2年2月教員審査済）
- ・佐藤高則准教授（死亡）の後任として，平田章准教授が令和2年4月に就任。（令和2年2月教員審査済）
- ・尾野（岩切）薫助教，令和2年3月就任辞退。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
44 名	30 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
79	45	27	23	174	0	79	52	25	17	173	0
(79)	(52)	(25)	(17)	(173)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
162	6	6				162	5	6			
(162)	(5)	(6)				(162)	(5)	(6)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
79	52	25	17	173	0	80	52	25	16	173	0
[0]	[7]	[Δ2]	[Δ6]	[Δ1]	[0]	[1]	[7]	[Δ2]	[Δ7]	[Δ1]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
162	5	6				162	5	6			
[0]	[Δ1]	[0]				[0]	[Δ1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{173}{174} = \boxed{99.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	佐藤 高則	R1.8	選択	生物化学特論	①	R1.8 死亡のため未就任（2）			
				必修	理工学特別実習	①				
				必修	自然科学特別輪講	①				
				必修	自然科学特別研究	①				
2	助教	尾野（岩切）薫	R2.3	選択	都市交通計画特論	①	R2.3 他大学転出のため就任辞退（2）			
				選択	都市・地域計画論	①				
				必修	理工学特別実習	①				
				必修	社会基盤デザイン特別輪講	①				
				必修	社会基盤デザイン特別研究	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
2	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{174} = \boxed{1.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【大学の所見】 未就任(就任辞退)となった教員の後任を担当する専任教員は、当該授業科目を担当するにあたり十分な業績を保持しており、設置計画履行に支障はない。</p> <p>【学生への周知方法】 シラバス及び時間割等の修正により、担当教員変更を周知している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画	
認 可 時 (令和元年)	1 研究科として設置する必要性の一つとして、「研究分野を超えた修士論文指導体制」を掲げており、その手法として、副指導教員及びアドバイザー教員を、他専攻・他コースの教員が柔軟に選任するとしており、着実な履行が求められる。また、アドバイザー教員がどのような役割をするのかについては、学生に対して分かりやすく周知すること。【4専攻共通】	副指導教員及びアドバイザー教員は、他専攻・他コースも併せて柔軟に適任者を選考し、マッチングのため、教員と学生との面談等を実施することとしている。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、学生の登校自粛が続いていることから、副指導教員及びアドバイザー教員を選考する面接作業が遅れている状況である。なお、アドバイザー教員がどのような役割をするのかについては、理工学専攻入学時の新入生オリエンテーションにおいて、教務委員長から別添資料（シート6参考資料①）を基に説明を行った。また、理工学専攻ホームページ上に別添資料（シート6参考資料②）を掲載し、副指導教員及びアドバイザー教員が学生の研究指導にどのように関わるかについて分かりやすく周知した。	履行中	新型コロナウイルス感染症の拡大がある程度収束し、対面授業が再開され次第、副指導教員及びアドバイザー教員と学生との面談等を速やかに実施し、選考手続きを進める。 アドバイザー教員がどのような役割をするのかについては、新入生オリエンテーション及び理工学専攻ホームページでの周知に加え、学務係掲示板及び電子ポータルにおいても、周知する予定である。
	研究科代議員の各専攻からの選考方法は公平性と透明性を担保される方策の充実に努めること。【4専攻共通】	研究科代議員は、別添「徳島大学大学院創成科学研究科代議員会内規」（シート6参考資料③）第2条に基づき、各専攻の副専攻長、コース長など、公平性と透明性を担保された方法で選出された者により構成され、各専攻の代議員数に偏りがないよう組織されている。	履行済	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院創成科学研究科 理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 徳島大学工学部教務委員会・ 徳島大学工学部FD委員会・ 徳島大学大学院創成科学研究科理工学専攻教育プログラム評価委員会 (委員会規則は別紙のとおり) <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 徳島大学工学部教務委員会 年間約13回開催予定（委員10名、毎回10名参加）・ 徳島大学工学部FD委員会 年間約4回開催予定（委員11名、毎回11名参加）・ 徳島大学大学院創成科学研究科理工学専攻教育プログラム評価委員会 年間約4回開催予定（委員17名、過半数以上参加） <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>別紙委員会規則のとおり</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 専門教育・ 教育の質の保証・向上及び授業評価・ シラバス、授業計画、教材等の作成・ アクティブラーニングの推進・ 新任教職員のための研修・ 授業参観、授業研究会 <p>上記に係る講演会、研修会、ワークショップ、ポスター発表及びアンケートの実施</p> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学FD委員会と各専攻等が連携して後援会、研修会等を開催する。・ 在学生に授業アンケートを実施し、結果を分析する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

部局FD

- ・ 部局FD活動は令和2年5月1日現在未実施であるが、今後実施予定である。

全学FD

- ・ 全学FD遠隔講義ツール説明会（開催：令和2年4月6日 参加者：225人）
- ・ すぐ使える90分セミナー「学生の学習を促す質問の作り方」（開催：令和2年4月23日 参加者：10人）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 令和2年5月1日現在未実施であるが、今後実施予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期・後期の最終講義の際、授業評価アンケートを実施する予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケートの分析結果を掲示板に掲載予定。
- ・ 報告書を大学院創成科学研究科理工学専攻ホームページで公開予定。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するため、計画に基づき実施している。今後更なる教育・研究の水準向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年度 公表予定

b 公表方法

・徳島大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・徳島大学は、令和元年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、その結果「大学評価基準を満たしており、内部質保証が優れて機能している。」と判定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 徳島大学

(2) 大学名

徳島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒770-8513

徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

(本部：〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ノジ スミハレ) 野地 澄晴 (平成28年4月)		
理事 副学長	(カワムラ ヤスヒコ) 河村 保彦 (令和2年4月)		
	(ササキ タクヤ) 佐々木 卓也 (平成29年4月)		
	(ヨシダ カズフミ) 吉田 和文 (平成28年4月)		
	(タムラ コウイチ) 田村 耕一 (令和2年4月)		
研究科長	(ハシヅメ マサキ) 橋爪 正樹 (令和2年4月)		
生物資源学専攻長	(ナガムネ ヒデアキ) 長宗 秀明 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
大学院創成科学研究科 生物資源学専攻 修士(生物資源学)	農学関係	2年	39人	該当なし	78人	生物資源産業学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	39人 39 (—) [—]	1.10倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [1]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [1]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [1]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [1]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		—		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	-
	[-]	[-]			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次					-	-	-	-	-	-	-	-	-
	[-]	[-]			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計			-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	43 人	0 人	平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院創成科学研究科 生物資源学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	データサイエンス	1前	2								9
	小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	グローバル教育科目群	国際協力論	1前	1							2
	グローバル社会文化論	1前	1							4	
	グローバルコミュニケーションA	1前	1							2	
	グローバルコミュニケーションB	1・2通	1							7	
	グローバルコミュニケーションC	1・2通	1							2	
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	15
	イノベーション教育科目群	科学技術論A	1前	1							8
	科学技術論B	1前	1		4					4	
	科学技術論C	1前	1							8	
	科学技術論D	1前	1							8	
	科学技術論E	1前	1							8	
	ビジネスモデル特論	1後	1							3	
	デザイン思考演習	1・2前	1							4	
小計(7科目)	-	0	7	0	4	0	0	0	0	41	
専攻共通	生物資源学研究	1通	4			13	15	7	9		
	小計(1科目)	-	4	0	0	13	15	7	9	0	0
所属基盤コース	創薬学特論	1前	2		1						
	細胞工学特論	1前	2		1						
	生物化学工学特論	1前	2		1						
	生体熱力学特論	1前	2		1						
	生物物理化学特論	1前	2		1						
	先端生命科学特論	1前	2		1						
	環境生物学特論	1前	2		1						
	再生医学特論	1後	2				1				
	微生物工学特論	1後	2				1				
	ケミカルバイオロジー特論	1後	2				1				
	細胞情報学特論	1後	2			1					
	微生物検査学特論	1後	2				1				
	応用生命科学特別実習	1後	1			3					1
	応用生命科学特別講義	2前	1								1
小計(14科目)	-	2	24	0	4	4	4	0	0	1	
食料生物科学コース	食安全学特論	1前	2		1						
	酵素化学特論	1前	2			1					
	応用微生物学特論	1後	2		1						
	生体機能学特論	1前	2		1						
	機能性食品学特論	1前	2		1						
	栄養化学特論	1後	2		1						
	食品評価特論	1後	2		1						
	分子組織代謝学特論	1後	2		1						
	食品加工保蔵特論	1後	2		1						
	資源利用学特論	1後	2		1						
	食料生物学特別実習	1後	1			3					3
	食料生物学特別講義	2前	1								3
	小計(12科目)	-	2	20	0	4	5	0	0	0	3
生物生産科学コース	植物細胞工学特論	1前	2		1						
	動物生殖工学特論	1前	2		1						
	フィールド水圏生物学特論	1前	2		1						
	畜産物利用学特論	1前	2		1						
	植物保護学特論	1前	2			1					
	森林代謝科学特論	1前	2			1					
	分子発生生物学特論	1前	2			1					
	生産システム制御工学特論	1後	2			1					
	分子生態学特論	1後	2			1					
	植物分子生物学特論	1後	2			1					

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	データサイエンス	1前	2								9
	小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	グローバル教育科目群	国際協力論	1前	1							2
	グローバル社会文化論	1前	1							4	
	グローバルコミュニケーションA	1前	1							2	
	グローバルコミュニケーションB	1・2通	1							7	
	グローバルコミュニケーションC	1・2通	1							2	
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	15
	イノベーション教育科目群	科学技術論A	1前	1							8
	科学技術論B	1前	1		4					4	
	科学技術論C	1前	1							8	
	科学技術論D	1前	1							8	
	科学技術論E	1前	1							8	
	ビジネスモデル特論	1後	1							2	
	デザイン思考演習	1・2前	1							7	
小計(7科目)	-	0	7	0	4	0	0	0	0	43	
専攻共通	生物資源学研究	1通	4			14	14	7	9		
	小計(1科目)	-	4	0	0	14	14	7	9	0	0
所属基盤コース	創薬学特論	1後	2		1						
	細胞工学特論	1前	2		1						
	生物化学工学特論	1前	2		1						
	生体熱力学特論	1前	2		1						
	生物物理化学特論	1前	2		1						
	先端生命科学特論	1前	2		1						
	環境生物学特論	1前	2		1						
	再生医学特論	1後	2				1				
	微生物工学特論	1前	2				1				
	ケミカルバイオロジー特論	1後	2				1				
	細胞情報学特論	1後	2			1					
	微生物検査学特論	1後	2				1				
	応用生命科学特別実習	1後	1			3					1
	応用生命科学特別講義	2前	1								1
小計(14科目)	-	2	24	0	4	4	4	0	0	1	
食料生物科学コース	食安全学特論	1前	2		1						
	酵素化学特論	1前	2			1					
	応用微生物学特論	1後	2		1						
	生体機能学特論	1前	2		1						
	機能性食品学特論	1前	2		1						
	栄養化学特論	1後	2		1						
	食品評価特論	1後	2		1						
	分子組織代謝学特論	1後	2		1						
	食品加工保蔵特論	1後	2		1						
	資源利用学特論	1後	2		1						
	食料生物学特別実習	1後	1			3					3
	食料生物学特別講義	2前	1								3
	小計(12科目)	-	2	20	0	4	5	0	0	0	3
生物生産科学コース	植物細胞工学特論	1前	2		1						
	動物生殖工学特論	1前	2		1						
	フィールド水圏生物学特論	1前	2		1						
	畜産物利用学特論	1前	2		1						
	植物保護学特論	1前	2			1					
	森林代謝科学特論	1前	2			1					
	分子発生生物学特論	1前	2			1					
	生産システム制御工学特論	1後	2			1					
	分子生態学特論	1後	2			1					
	植物分子生物学特論	1後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
所属基礎コース専門科目・ 教育クラスター科目	水産植物学特論	1後	2										
	農業市場学特論	1後	2										
	森林生物学特論	1後	2										
	発生生物学	1後	2			1							
	農業経済学特論	2前	2										
	生物生産科学特別実習	1後	1				3				4		
	生物生産科学特別講義	2前	1									4	
	小計(17科目)	-	2	30	0	5	6	4	0	0	4		
	地域創成専攻	地域計画学特論	1・2前	2									1
		地域社会特論	1・2後	2									1
公共政策特論		1・2前	2									1	
法学特論		1・2後	2									1	
経済学特論		1・2前	2									1	
地域構造特論		1・2前	2									1	
空間情報科学特論		1・2前	2									1	
地域文化特論		1・2前	2									1	
地域言語特論		1・2後	2									1	
日本歴史文化特論		1・2後	2									2	
アート表現特論		1・2前	2									1	
映像デザイン特論		1・2後	2									1	
空間デザイン特論		1・2後	2									1	
健康社会特論		1・2前	2									1	
応用生理学特論		1・2後	2									1	
福祉社会特論		1・2前	2									1	
行動科学		1・2後	2									2	
健康科学特論		1・2後	2									1	
健康心理学特論		1・2前	2									1	
グローバル社会特論		1・2前	2									1	
グローバル文化特論		1・2後	2									1	
国際関係特論		1・2後	2									1	
国際経済特論		1・2前	2									1	
応用倫理学特論		1・2後	2									2	
言語コミュニケーション特論		1・2後	2									2	
英語圏文化特論		1・2後	2									3	
英語圏歴史文化特論		1・2後	2									1	
ヨーロッパ文化特論		1・2前	2									2	
アジア文化特論		1・2後	2									2	
日本語文化特論		1・2前	2									2	
日本文化特論		1・2前	2									1	
小計(31科目)	-	0	62	0	0	0	0	0	0	0	39		
臨床心理学専攻	認知心理学特論	1・2前	2									1	
	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2前	2									2	
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後	2									2	
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後	2									1	
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2									1	
小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7		
理工学専攻	耐震工学特論	1・2前	2									1	
	耐風工学特論	1後	2									1	
	斜面減災工学特論	1後	2									1	
	津波解析特論	1・2前	2									1	
	地盤力学特論	1前	2									1	
	応用水理学特論	1・2前	2									2	
	鉄筋コンクリート工学特論	1後	4									2	
	建設材料物性特論	1・2前	2									2	
	リスクコミュニケーション	1前	2									11	
	危機管理学	1前	2									10	
	メンタルヘルスクエア	1後	2									4	
	防災危機管理実習	1後	1									8	
	行政・企業のリスクマネジメント	1後	2									11	
	事業継続計画(BCP)の策定と実践	2前	2									6	
	行政・企業防災・危機管理実務演習	2後	1									4	
	都市交通計画特論	1・2前	2									2	
	建築計画学特論	1前	2									1	
都市・地域計画論	1・2後	2									2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
所属基礎コース専門科目・ 教育クラスター科目	水産植物学特論	1後	2										
	農業市場学特論	1後	2										
	森林生物学特論	1後	2										
	発生生物学	1後	2				1						
	農業経済学特論	2前	2										
	生物生産科学特別実習	1後	1					3				4	
	生物生産科学特別講義	2前	1									4	
	小計(17科目)	-	2	30	0	6	5	4	0	0	4		
	地域創成専攻	地域計画学特論	1・2前	2									1
		地域社会特論	1・2後	2									1
公共政策特論		1・2前	2									1	
法学特論		1・2後	2									1	
経済学特論		1・2前	2									1	
地域構造特論		1・2前	2									1	
空間情報科学特論		1・2前	2									1	
地域文化特論		1・2前	2									1	
地域言語特論		1・2後	2									1	
日本歴史文化特論		1・2後	2									2	
アート表現特論		1・2前	2									1	
映像デザイン特論		1・2後	2									1	
空間デザイン特論		1・2後	2									1	
健康社会特論		1・2前	2									1	
応用生理学特論		1・2後	2									1	
福祉社会特論		1・2前	2									1	
行動科学		1・2後	2									2	
健康科学特論		1・2後	2									1	
健康心理学特論		1・2前	2									1	
グローバル社会特論		1・2後	2									0	
グローバル文化特論		1・2後	2									1	
国際関係特論		1・2後	2									1	
国際経済特論		1・2前	2									1	
応用倫理学特論		1・2後	2									2	
言語コミュニケーション特論		1・2後	2									2	
英語圏文化特論		1・2後	2									3	
英語圏歴史文化特論		1・2後	2									1	
ヨーロッパ文化特論		1・2前	2									2	
アジア文化特論		1・2後	2									2	
日本語文化特論		1・2前	2									2	
日本文化特論		1・2前	2									1	
小計(31科目)	-	0	62	0	0	0	0	0	0	0	38		
臨床心理学専攻	認知心理学特論	1・2前	2									1	
	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2前	2									2	
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後	2									2	
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後	2									1	
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2									1	
小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7		
理工学専攻	耐震工学特論	1・2前	2									1	
	耐風工学特論	1後	2									1	
	斜面減災工学特論	1後	2									1	
	津波解析特論	1・2前	2									1	
	地盤力学特論	1前	2									1	
	応用水理学特論	1・2前	2									2	
	鉄筋コンクリート工学特論	1後	4									2	
	建設材料物性特論	1・2前	2									2	
	リスクコミュニケーション	1前	2									11	
	危機管理学	1前	2									10	
	メンタルヘルスクエア	1後	2									4	
	防災危機管理実習	1後	1									9	
	行政・企業のリスクマネジメント	1後	2									12	
	事業継続計画(BCP)の策定と実践	2前	2									6	
	行政・企業防災・危機管理実務演習	2後	1									4	
	都市交通計画特論	1・2前	2									1	
	建築計画学特論	1前	2									1	
都市・地域計画論	1・2後	2									1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育クラスター科目 理工学専攻	プロジェクトマネジメント	1前		2							1
	都市交通システム計画	1・2後		2							2
	都市地域情報システム	1・2前		2							2
	流域水管理工学	1後		2							2
	ミチゲーション工学	1後		2							2
	環境生態学特論	1・2後		2							1
	グリーンインフラ論	1・2後		2							3
	生産システム論	1後		2							1
	応用流体力学特論	1前		2							2
	材料強度学特論	1前		2							1
	燃焼工学	1後		2							1
	生産加工学	1前		2							2
	バイオメカニカルデザイン	1後		2							2
	バイオマテリアル	1後		2							2
	機械材料物性特論	1前		2							2
	計算力学特論	1前		2							1
	流体エネルギー変換工学	1後		2							1
	振動工学特論	1前		2							1
	材料工学	1前		2							2
	エネルギー環境工学	1前		2							2
	熱力学特論	1後		2							1
	分光計測学	1後		2							1
	ロボット工学特論	1前		2							1
	デジタル制御論	1後		2							1
	分子エネルギー遷移論	1後		2							1
	非破壊計測学	1前		2							2
	アクチュエータ理論	1前		2							1
	立体化学特論	1後		2							2
	有機化学特論	1・2前		2							1
	高分子化学特論	1後		2							3
	物理化学特論	1前		2							2
	量子化学特論	1前		2							1
	分析・環境化学特論	1後		2							2
	物性化学特論	1前		2							2
	化学反応工学特論	1前		2							2
	分離工学特論	1前		2							1
	材料科学特論	1前		2							2
	電力量工学特論	1・2後		2							1
	電磁環境特論	1・2後		2							1
	制御理論特論	1前		2							1
高電圧工学特論	1後		2							1	
デジタル通信工学特論	1後		2							1	
光デバイス特論	1前		2							1	
ナノエレクトロニクス特論	1前		2							1	
回路工学特論	1後		2							2	
電子回路特論	1前		2							1	
電気機器応用システム特論	1・2後		2							1	
電力システム特論	1・2後		2							1	
制御応用工学特論	1前		2							1	
電子デバイス特論	1前		2							1	
デバイスプロセス特論	1前		2							1	
集積回路特論	1前		2							2	
プラズマ応用工学特論	1後		2							1	
光材料科学特論	1後		2							1	
半導体工学特論	1前		2							1	
生体工学特論	1後		2							2	
自律知能システム	1前		2							1	
複雑系システム工学特論	1前		2							1	
情報ネットワーク	1前		2							2	
情報セキュリティシステム論	1前		2							4	
画像応用工学	1前		2							2	
ヒューマンセンシング	1前		2							3	
自然言語理解	1後		2							3	
言語モデル論	1後		2							4	
機械翻訳特論	1後		2							3	
マルチメディア工学	1後		2							3	
光物性工学	1・2前		2							2	
フォトニックデバイス	1・2前		2							2	
ナノ光計測工学	1・2後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育クラスター科目 理工学専攻	プロジェクトマネジメント	1前		2							1
	都市交通システム計画	1・2後		2							2
	都市地域情報システム	1・2前		2							2
	流域水管理工学	1後		2							2
	ミチゲーション工学	1後		2							5
	環境生態学特論	1・2後		2							1
	グリーンインフラ論	1・2後		2							3
	生産システム論	1後		2							1
	応用流体力学特論	1前		2							2
	材料強度学特論	1前		2							1
	燃焼工学	1後		2							1
	生産加工学	1前		2							2
	バイオメカニカルデザイン	1後		2							2
	バイオマテリアル	1後		2							2
	機械材料物性特論	1前		2							2
	計算力学特論	1前		2							1
	流体エネルギー変換工学	1後		2							1
	振動工学特論	1前		2							1
	材料工学	1前		2							2
	エネルギー環境工学	1前		2							2
	熱力学特論	1後		2							1
	分光計測学	1後		2							1
	ロボット工学特論	1前		2							1
	デジタル制御論	1後		2							1
	分子エネルギー遷移論	1後		2							1
	非破壊計測学	1前		2							2
	アクチュエータ理論	1前		2							1
	立体化学特論	1後		2							2
	有機化学特論	1・2前		2							1
	高分子化学特論	1後		2							3
	物理化学特論	1前		2							2
	量子化学特論	1前		2							1
	分析・環境化学特論	1後		2							2
	物性化学特論	1前		2							2
	化学反応工学特論	1前		2							2
	分離工学特論	1前		2							1
	材料科学特論	1前		2							2
	電力量工学特論	1・2後		2							1
	電磁環境特論	1・2後		2							1
	制御理論特論	1前		2							1
高電圧工学特論	1後		2							1	
デジタル通信工学特論	1後		2							1	
光デバイス特論	1前		2							1	
ナノエレクトロニクス特論	1前		2							1	
回路工学特論	1後		2							2	
電子回路特論	1前		2							1	
電気機器応用システム特論	1・2後		2							1	
電力システム特論	1・2後		2							1	
制御応用工学特論	1前		2							1	
電子デバイス特論	1前		2							1	
デバイスプロセス特論	1前		2							1	
集積回路特論	1前		2							2	
プラズマ応用工学特論	1後		2							1	
光材料科学特論	1後		2							1	
半導体工学特論	1前		2							1	
生体工学特論	1後		2							2	
自律知能システム	1前		2							1	
複雑系システム工学特論	1前		2							1	
情報ネットワーク	1前		2							2	
情報セキュリティシステム論	1前		2							4	
画像応用工学	1前		2							2	
ヒューマンセンシング	1前		2							3	
自然言語理解	1後		2							3	
言語モデル論	1後		2							4	
機械翻訳特論	1後		2							3	
マルチメディア工学	1後		2							3	
光物性工学	1・2前		2							2	
フォトニックデバイス	1・2前		2							2	
ナノ光計測工学	1・2後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育クラスター科目 理工学専攻	ナノ材料工学	1・2後		2							1
	光機能材料・光デバイス論1	1後		1							5
	光機能材料・光デバイス論2	1前		1							3
	ディスプレイ論	1・2後		2							1
	視覚情報処理	1・2前		2							1
	多元画像処理	1・2前		2							1
	光通信システム工学特論	1・2前		2							2
	フォトニックネットワーク	1・2前		2							2
	代数構造特論	1前		2							1
	力学系数理特論	1後		2							1
	離散数学特論	1前		2							1
	組合せ最適化特論	1前		2							1
	数式処理特論	1前		2							1
	幾何学特論	1後		2							1
	現象数理解析特論	1後		2							1
	整数論特論	1前		2							1
	非線形現象解析特論	1後		2							1
	確率計画法特論	1後		2							1
	函数方程式特論	1前		2							1
	量子科学基礎理論	1前		2							1
	宇宙素粒子科学特論	1前		2							1
	宇宙線計測学特論	1後		2							1
	量子物性物理学	1後		2							1
	超伝導物質科学	1前		2							1
	強相関物質科学	1後		2							1
	固体イオニクス	1後		2							1
	磁気共鳴科学	1前		2							1
	物性計測学	1前		2							1
	極限環境物性学	1後		2							1
	環境物理化学特論	1後		2							1
	グリーンケミストリー特論	1後		2							1
	有機機能性物質化学特論	1後		2							1
	環境無機化学特論	1後		2							2
	環境分析化学特論	1前		2							1
	有機合成化学特論	1前		2							1
	物質化学特論	1前		2							7
	有機金属化学特論	1前		2							1
	生物化学特論	1前		2							1
	発生情報科学特論	1前		2							1
	生命情報科学特論	1後		2							1
	集団遺伝学特論	1後		2							1
	構造地質学特論	1後		2							1
	環境・防災地質学特論	1前		2							1
	岩石・鉱物学特論	1後		2							1
	計算数理特論	1後		2							1
応用代数特論	1後		2							1	
数理解析方法論	1後		2							1	
微分方程式特論	1後		2							1	
代数学特論	1後		2							1	
応用解析学特論	1後		2							1	
数学解析特論	1後		2							1	
課題解決型インターンシップ(M)	1・2通		4							1	
小計(139科目)	-	0	278	0	0	0	0	0	0	0	183
学位論文指導科目	応用生命科学特別演習	1通	4			4	4	4			
	応用生命科学特別研究	2通	4			4	4	4			
	食料生物学特別演習	1通	4			4	5				
	食料生物学特別研究	2通	4			4	5				
	生物生産科学特別演習	1通	4			5	6	3			
	生物生産科学特別研究	2通	4			5	6	3			
	小計(1科目)	-	24	0	0	13	15	7	0	0	0
合計(238科目)	-	36	436	0	13	15	7	9	0	0	242

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育クラスター科目 理工学専攻	ナノ材料工学	1・2後		2							1
	光機能材料・光デバイス論1	1後		1							5
	光機能材料・光デバイス論2	1前		1							3
	ディスプレイ論	1・2後		2							1
	視覚情報処理	1・2前		2							1
	多元画像処理	1・2前		2							1
	光通信システム工学特論	1・2前		2							2
	フォトニックネットワーク	1・2前		2							2
	代数構造特論	1前		2							1
	力学系数理特論	1後		2							1
	離散数学特論	1前		2							1
	組合せ最適化特論	1前		2							1
	数式処理特論	1前		2							1
	幾何学特論	1後		2							1
	現象数理解析特論	1後		2							1
	整数論特論	1前		2							1
	非線形現象解析特論	1後		2							1
	確率計画法特論	1後		2							1
	函数方程式特論	1前		2							1
	量子科学基礎理論	1前		2							1
	宇宙素粒子科学特論	1前		2							1
	宇宙線計測学特論	1後		2							1
	量子物性物理学	1後		2							1
	超伝導物質科学	1前		2							1
	強相関物質科学	1後		2							1
	固体イオニクス	1後		2							1
	磁気共鳴科学	1前		2							1
	物性計測学	1前		2							1
	極限環境物性学	1後		2							1
	環境物理化学特論	1後		2							1
	グリーンケミストリー特論	1後		2							1
	有機機能性物質化学特論	1後		2							1
	環境無機化学特論	1後		2							2
	環境分析化学特論	1前		2							1
	有機合成化学特論	1前		2							1
	物質化学特論	1前		2							7
	有機金属化学特論	1前		2							1
	生物化学特論	1前		2							1
	発生情報科学特論	1前		2							1
	生命情報科学特論	1後		2							1
	集団遺伝学特論	1後		2							1
	構造地質学特論	1後		2							1
	環境・防災地質学特論	1前		2							1
	岩石・鉱物学特論	1後		2							1
	計算数理特論	1後		2							1
応用代数特論	1後		2							1	
数理解析方法論	1後		2							1	
微分方程式特論	1後		2							1	
代数学特論	1後		2							1	
応用解析学特論	1後		2							1	
数学解析特論	1後		2							1	
課題解決型インターンシップ(M)	1・2通		4							1	
小計(139科目)	-	0	278	0	0	0	0	0	0	0	187
学位論文指導科目	応用生命科学特別演習	1通	4			4	4	4			
	応用生命科学特別研究	2通	4			4	4	4			
	食料生物学特別演習	1通	4			4	5				
	食料生物学特別研究	2通	4			4	5				
	生物生産科学特別演習	1通	4			5	6	3			
	生物生産科学特別研究	2通	4			5	6	3			
	小計(1科目)	-	24	0	0	14	14	7	0	0	0
合計(238科目)	-	36	436	0	14	14	7	9	0	0	247

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
<p>【応用生命科学コース】 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目グローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目イノベーション教育科目群の選択科目から1単位、専攻共通科目4単位、応用生命科学コースの所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から10単位以上(必修科目2単位、選択科目8単位以上)、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、教育クラスター科目から6単位以上(うち応用生命科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、又は教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の応用生命科学特別演習4単位、応用生命科学特別研究4単位、合計32単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【生物生産科学コース】 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目グローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目イノベーション教育科目群の選択科目から1単位、専攻共通科目4単位、生物生産科学コースの所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から10単位以上(必修科目2単位、選択科目8単位以上)、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、教育クラスター科目から6単位以上(うち生物生産科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、又は教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の生物生産科学特別演習4単位、生物生産科学特別研究4単位、合計32単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【食料生物学コース】 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目グローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目イノベーション教育科目群の選択科目から1単位、専攻共通科目4単位、食料生物学コースの所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から10単位以上(必修科目2単位、選択科目8単位以上)、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、教育クラスター科目から6単位以上(うち食料生物学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、又は教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の食料生物学特別演習4単位、食料生物学特別研究4単位、合計32単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
<p>【応用生命科学コース】 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目グローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目イノベーション教育科目群の選択科目から1単位、専攻共通科目4単位、応用生命科学コースの所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から10単位以上(必修科目2単位、選択科目8単位以上)、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、教育クラスター科目から6単位以上(うち応用生命科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、又は教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の応用生命科学特別演習4単位、応用生命科学特別研究4単位、合計32単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【生物生産科学コース】 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目グローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目イノベーション教育科目群の選択科目から1単位、専攻共通科目4単位、生物生産科学コースの所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から10単位以上(必修科目2単位、選択科目8単位以上)、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、教育クラスター科目から6単位以上(うち生物生産科学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、又は教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の生物生産科学特別演習4単位、生物生産科学特別研究4単位、合計32単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【食料生物学コース】 研究科共通科目の必修科目2単位、研究科共通科目グローバル教育科目群の選択科目から1単位、研究科共通科目イノベーション教育科目群の選択科目から1単位、専攻共通科目4単位、食料生物学コースの所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目から10単位以上(必修科目2単位、選択科目8単位以上)、所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、教育クラスター科目から6単位以上(うち食料生物学コース以外の所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目、又は教育クラスター科目から2単位以上)、学位論文指導科目の食料生物学特別演習4単位、食料生物学特別研究4単位、合計32単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当教員の昇任により、「森林代謝科学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「生物資源学研究」の専任教員等の配置を「准教授15」から「准教授14」、「教授13」から「教授14」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「生物生産科学特別演習」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」、「教授5」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「生物生産科学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」、「教授5」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の他大学転出に伴う就任辞退により、担当科目であった「グローバル社会特論」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に、兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。（後任教員を令和2年10月1日採用予定。令和2年3月 専任教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）申請中。）
- ・教員の都合による、「創薬科学特論」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・教員の都合による、「微生物工学特論」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・採用予定教員の自己都合により「ビジネスモデル特論」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「デザイン思考演習」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「7」に変更。
- ・採用予定教員自己都合の理由により、「リスクコミュニケーション」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「10」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「防災危機管理実習」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「行政・企業のリスクマネジメント」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「12」に変更。
- ・担当教員の辞退により、「都市交通計画特論」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の辞退により、「都市・地域計画論」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「ミチゲーション工学」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「5」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「自然言語理解」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「言語モデル論」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	224 科目	0 科目	238 科目	14 科目 [0]	224 科目 [0]	0 科目 [0]	238 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{238} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	その他の内、借地100,403㎡を含む 借用期間：5年			
	校舎敷地	253,688㎡	㎡	㎡	253,688㎡				
	運動場用地	61,908㎡	㎡	㎡	61,908㎡				
	小 計	315,596㎡	㎡	㎡	315,596㎡				
	そ の 他	156,104㎡	㎡	㎡	156,104㎡				
	合 計	471,700㎡	㎡	㎡	471,700㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		171,909㎡ (171,909㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	171,909㎡ (171,909㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	専攻単位で特定不能なため、大学全体の数			
	116室	148室	963室	17室 (補助職員 8 人)	2室 (補助職員 2 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	大学院創成科学研究科 生物資源学専攻			44 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位での特定不能なため、大学全体の数	
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	大学院創成科学研究科 生物資源学専攻	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)		
	計	668,433 [230,890] (668,433 [230,890])	19,300 [6,886] (19,300 [6,886])	5,672 [4,215] (5,672 [4,215])	7,764 (7,764)	137 (137)	34 (34)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	8,279㎡		1,092		851,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	4,836㎡		テ ニ ス コ ー ト 弓 道 場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
		共 同 研 究 費 等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	徳島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
社会総合科学科	4	170	-	680	学士(総合科学)	1.05	1.02	-	平成28	同上	
総合科学部	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
人間文化学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
社会創生学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
総合数理学科	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	-	平成21	同上	
医学部	-	288	3年次16	1412	-	1.00	1.01	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
医学科	6	114	-	684	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和24	同上	
医科栄養学科	4	50	-	200	学士(栄養学)	1.02	1.04	-	平成26	同上	
保健学科	4	124	3年次16	528	学士(保健学、看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	学士(看護学)	1.02	1.02	-	平成13	同上	
放射線技術科学専攻	4	37	3年次3	154	学士(保健学)	1.02	1.00	-	平成13	同上	
検査技術科学専攻	4	17	3年次3	74	学士(保健学)	1.05	1.05	-	平成13	同上	
歯学部	-	55	2年次3	315	-	1.01	1.00	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15	
歯学科	6	40	2年次3	255	学士(歯学)	1.01	1.00	-	昭和51	同上	
口腔保健学科	4	15	-	60	学士(口腔保健学)	1.00	1.00	-	平成19	同上	
薬学部	-	80	-	400	-	1.06	1.01	-	平成18	徳島県徳島市庄町1丁目78番地15	
薬学科	6	40	-	240	学士(薬学)	1.07	1.00	-	平成18	同上	
創製薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.04	1.02	-	平成18	同上	
理工学部	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
理工学科	4	595	3年次35	2450	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
昼間コース	4	550	3年次35	2270	学士(理工学)	1.00	1.00	-	平成28	同上	
夜間主コース	4	45	-	180	学士(理工学)	1.07	1.06	-	平成28	同上	
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
(もの作り創造システム工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(物質生命工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
化学応用工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	
(コンピュータ工学系)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	昭和24	同上	

電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
夜間主コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
光応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
昼間コース	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和24	同上	
生物資源産業界学部	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業界学)	1.01	1.00	-	平成28	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
生物資源産業界学科	4	100	2年次 2	406	学士 (生物資源 産業界学)	1.01	1.00	-	平成28	同上	
創成科学研究科	-	375	-	375	-	0.99	0.99	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域創成専攻	-	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
修士課程	2	16	-	16	修士 (学術)	0.68	0.68	-	令和2	同上	
臨床心理学専攻	-	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
修士課程	2	12	-	12	修士 (臨床心理 学)	0.83	0.83	-	令和2	同上	
理工学専攻	-	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
修士課程	2	308	-	308	修士 (理学、工 学)	1.00	1.00	-	令和2	同上	
生物資源学専攻	-	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
修士課程	2	39	-	39	修士 (生物資源 学)	1.10	1.10	-	令和2	同上	
総合科学教育部	-	4	-	59	-	0.84	1.25	-	平成21	徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地	
地域科学専攻	-	4	-	47	-	0.80	1.25	-	平成21	同上	
博士前期課程	-	-	-	35	修士 (学術)	0.62	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.91	1.25	-	平成21	同上	
臨床心理学専攻	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
博士前期課程	-	-	-	12	修士 (臨床心理 学)	1.16	-	-	平成21	同上	令和2年より学生募集停止
医科学教育部	-	61	-	224	-	0.57	0.42	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
修士課程	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	0.60	-	平成16	同上	
医学専攻	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
博士課程	4	51	-	204	博士 (医学)	0.57	0.39	-	平成16	同上	
口腔科学教育部	-	25	-	88	-	0.69	0.44	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
口腔保健学専攻	-	7	-	16	-	1.02	0.42	-	-	同上	
博士前期課程	2	5	-	10	修士 (口腔保健 学)	0.70	0.40	-	平成23	同上	
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (口腔保健 学)	1.16	0.50	-	平成27	同上	
口腔科学専攻	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
博士課程	4	18	-	72	博士 (歯学、学 術)	0.63	0.44	-	平成16	同上	
薬科学教育部	-	49	-	116	-	0.72	1.06	-	-	徳島県徳島市庄町1丁目7番地15	
創薬科学専攻	-	45	-	100	-	1.01	1.13	-	-	同上	
博士前期課程	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.02	1.20	-	平成22	同上	
博士後期課程	3	10	-	30	博士 (薬科学)	1.00	0.90	-	平成24	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
博士課程	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.37	0.25	-	平成24	同上	
栄養生命科学教育部	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	

人間栄養科学専攻	-	31	-	71	-	1.05	1.09	-	平成16	同上	
博士前期課程	2	22	-	44	修士 (栄養学)	1.15	1.13	-	平成16	同上	
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (栄養学)	0.92	1.00	-	平成16	同上	
保健科学教育部	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	徳島県徳島市蔵本町3丁目1番地15	
保健学専攻	-	32	-	69	-	1.07	0.90	-	-	同上	
博士前期課程	2	27	-	54	修士 (保健学、看護学)	1.01	0.92	-	平成18	同上	
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (保健学)	1.06	0.80	-	平成20	同上	
先端技術科学教育部	-	43	-	457	-	0.68	0.37	-	-	徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地	
知的力学システム工学専攻	-	14	-	145	-	0.52	0.28	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	103	修士 (工学)	0.93	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	14	-	42	博士 (工学)	0.42	0.28	-	平成18	同上	
物質生命システム工学専攻	-	9	-	100	-	0.91	0.77	-	平成24	同上	
博士前期課程	-	-	-	73	修士 (工学)	0.98	-	-	平成24	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	9	-	27	博士 (工学)	0.88	0.77	-	平成24	同上	
システム創生工学専攻	-	20	-	212	-	0.68	0.25	-	平成18	同上	
博士前期課程	-	-	-	152	修士 (工学)	0.92	-	-	平成18	同上	令和2年より学生募集停止
博士後期課程	3	20	-	60	博士 (工学)	0.61	0.25	-	平成18	同上	
大学全体		1908	56	7122		0.91					

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院創成科学研究科 生物資源学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	宇都 義浩 <令和2年4月>	専	教授	宇都 義浩 <令和2年4月>
		生物資源学研究 創薬学特論 応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 創薬学特論 応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	教授	刑部 敬史 <令和2年4月>	専	教授	刑部 敬史 <令和2年4月>
		生物資源学研究 植物細胞工学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 植物細胞工学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	教授	音井 威重 <令和2年4月>	専	教授	音井 威重 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 生物資源学研究 動物生体工学特論 生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			科学技術論B※ 生物資源学研究 動物生体工学特論 生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	教授	金丸 芳 <令和2年4月>	専	教授	金丸 芳 <令和2年4月>
		生物資源学研究 食安全学特論 食品加工保蔵特論 食料生物学特別実習※ 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 食安全学特論 食品加工保蔵特論 食料生物学特別実習※ 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	教授	櫻谷 英治 <令和2年4月>	専	教授	櫻谷 英治 <令和2年4月>
		生物資源学研究 応用微生物学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 応用微生物学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	教授	田井 章博 <令和2年4月>	専	教授	田井 章博 <令和2年4月>
		生物資源学研究 栄養生化学特論 食料生物学特別実習※ 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 栄養生化学特論 食料生物学特別実習※ 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	教授	竹本 龍也 <令和2年4月>	専	教授	竹本 龍也 <令和2年4月>
		生物資源学研究 発生生物学 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 発生生物学 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	教授	田中 保 <令和2年4月>	専	教授	田中 保 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 生物資源学研究 食品評価特論 食料生物学特別実習※ 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			科学技術論B※ 生物資源学研究 食品評価特論 食料生物学特別実習※ 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	教授	長宗 秀明 <令和2年4月>	専	教授	長宗 秀明 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 生物資源学研究 細胞工学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			科学技術論B※ 生物資源学研究 細胞工学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	中村 嘉利 <令和2年4月>	専	教授	中村 嘉利 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 生物資源学研究 生物化学工学特論 応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			科学技術論B※ 生物資源学研究 生物化学工学特論 応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	教授	濱野 龍夫 <令和2年4月>	専	教授	濱野 龍夫 <令和2年4月>
		生物資源学研究 フィールド水圏生物学特論 生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 フィールド水圏生物学特論 生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	教授	松木 均 <令和2年4月>	専	教授	松木 均 <令和2年4月>
		生物資源学研究 生体熱力学特論 応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 生体熱力学特論 応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	教授	森松 文毅 <令和2年4月>	専	教授	森松 文毅 <令和2年4月>
		生物資源学研究 畜産物利用学特論 生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 畜産物利用学特論 生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	准教授	赤松 徹也 <令和2年4月>	専	准教授	赤松 徹也 <令和2年4月>
		生物資源学研究 生体機能学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 生体機能学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	准教授	淺田 元子 <令和2年4月>	専	准教授	淺田 元子 <令和2年4月>
		生物資源学研究 環境生物学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 環境生物学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	准教授	刑部 祐里子 <令和2年4月>	専	准教授	刑部 祐里子 <令和2年4月>
		生物資源学研究 植物分子生物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 植物分子生物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	准教授	川上 竜巳 <令和2年4月>	専	准教授	川上 竜巳 <令和2年4月>
		生物資源学研究 酵素化学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 酵素化学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	准教授	佐々木(田村)千鶴 <令和2年4月>	専	准教授	佐々木(田村)千鶴 <令和2年4月>
		生物資源学研究 資源利用学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 資源利用学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	准教授	佐藤 征弥 <令和2年4月>	専	准教授	佐藤 征弥 <令和2年4月>
		生物資源学研究 植物保護学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 植物保護学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	准教授	玉井 伸岳 <令和2年4月>	専	准教授	玉井 伸岳 <令和2年4月>
		生物資源学研究 生物物理化学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 生物物理化学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	友安 俊文 <令和2年4月>	専	准教授	友安 俊文 <令和2年4月>
		生物資源学研究 先端生命科学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 先端生命科学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	准教授	服部 武文 <令和2年4月>	専	教授	服部 武文 <令和2年4月>
		生物資源学研究 森林代謝科学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 森林代謝科学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	准教授	三戸 太郎 <令和2年4月>	専	准教授	三戸 太郎 <令和2年4月>
		生物資源学研究 分子発生生物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 分子発生生物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	准教授	宮脇 克行 <令和2年4月>	専	准教授	宮脇 克行 <令和2年4月>
		生物資源学研究 生産システム制御工学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 生産システム制御工学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	准教授	向井(高橋)理恵 <令和2年4月>	専	准教授	向井(高橋)理恵 <令和2年4月>
		生物資源学研究 機能性食品学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 機能性食品学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	准教授	山城 考 <令和2年4月>	専	准教授	山城 考 <令和2年4月>
		生物資源学研究 分子生態学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 分子生態学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	准教授	山本 圭 <令和2年4月>	専	准教授	山本 圭 <令和2年4月>
		生物資源学研究 分子組織代謝学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究			生物資源学研究 分子組織代謝学特論 食料生物学特別演習 食料生物学特別研究
専	准教授	湯浅 恵造 <令和2年4月>	専	准教授	湯浅 恵造 <令和2年4月>
		生物資源学研究 細胞情報学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 細胞情報学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	講師	岡 直宏 <令和2年4月>	専	講師	岡 直宏 <令和2年4月>
		生物資源学研究 水産植物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 水産植物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	講師	岸本 幸治 <令和2年4月>	専	講師	岸本 幸治 <令和2年4月>
		生物資源学研究 再生医学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 再生医学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	講師	白井 昭博 <令和2年4月>	専	講師	白井 昭博 <令和2年4月>
		生物資源学研究 微生物工学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 微生物工学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	講師	田端 厚之 <令和2年4月>	専	講師	田端 厚之 <令和2年4月>
		生物資源学研究 微生物検査学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 微生物検査学特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	橋本 直史 <令和2年4月>	専	講師	橋本 直史 <令和2年4月>
		生物資源学研究 農業市場学特論 農業経済学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 農業市場学特論 農業経済学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	講師	山下 聡 <令和2年4月>	専	講師	山下 聡 <令和2年4月>
		生物資源学研究 森林生物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究			生物資源学研究 森林生物学特論 生物生産科学特別演習 生物生産科学特別研究
専	講師	山田 久嗣 <令和2年4月>	専	講師	山田 久嗣 <令和2年4月>
		生物資源学研究 ケミカルバイオロジー特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究			生物資源学研究 ケミカルバイオロジー特論 応用生命科学特別演習 応用生命科学特別研究
専	助教	石丸 善康 <令和2年4月>	専	助教	石丸 善康 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	鬼塚 正義 <令和2年4月>	専	助教	鬼塚 正義 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	後藤 優樹 <令和2年4月>	専	助教	後藤 優樹 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	阪本 鷹行 <令和2年4月>	専	助教	阪本 鷹行 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	谷原 史倫 <令和2年4月>	専	助教	谷原 史倫 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	中橋 睦美 <令和2年4月>	専	助教	夏飯原 睦美 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	林 順司 <令和2年4月>	専	助教	林 順司 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	山田 晃嗣 <令和2年4月>	専	助教	山田 晃嗣 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究
専	助教	渡邊 崇人 <令和2年4月>	専	助教	渡邊 崇人 <令和2年4月>
		生物資源学研究			生物資源学研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	齋場 和彦 〈令和2年4月〉	兼任	教授	齋場 和彦 〈令和2年4月〉
		国際協力論 国際関係特論			国際協力論 国際関係特論
兼任	教授	荒武 達朗 〈令和2年4月〉	兼任	教授	荒武 達朗 〈令和2年4月〉
		アジア文化特論 グローバル社会文化論			アジア文化特論 グローバル社会文化論
兼任	教授	安間 了 〈令和2年4月〉	兼任	教授	安間 了 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 構造地質学特論			科学技術論D※ 構造地質学特論
兼任	教授	井澤 健一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	井澤 健一 〈令和2年4月〉
		量子科学基礎理論			量子科学基礎理論
兼任	教授	石田 徹 〈令和2年4月〉	兼任	教授	石田 徹 〈令和2年4月〉
		生産加工学※			生産加工学※
兼任	教授	石田 基広 〈令和2年4月〉	兼任	教授	石田 基広 〈令和2年4月〉
		データサイエンス			データサイエンス
兼任	教授	一宮 昌司 〈令和2年4月〉	兼任	教授	一宮 昌司 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学			科学技術論A※ 流体エネルギー変換工学
兼任	教授	今井 昭二 〈令和2年4月〉	兼任	教授	今井 昭二 〈令和2年4月〉
		環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※			環境無機化学特論※ 環境分析化学特論 物質化学特論※
兼任	教授	今田 泰嗣 〈令和2年4月〉	兼任	教授	今田 泰嗣 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 立体化学特論※			科学技術論B※ 立体化学特論※
兼任	教授	上田 隆雄 〈令和2年4月〉	兼任	教授	上田 隆雄 〈令和2年4月〉
		鉄筋コンクリート工学特論※			鉄筋コンクリート工学特論※
兼任	教授	上田 哲史 〈令和2年4月〉	兼任	教授	上田 哲史 〈令和2年4月〉
		複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※			複雑系システム工学特論 情報セキュリティシステム論※
兼任	教授	右手 浩一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	右手 浩一 〈令和2年4月〉
		高分子化学特論※			高分子化学特論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	太田 光浩 <令和2年4月>	兼任	教授	太田 光浩 <令和2年4月>
		応用流体力学特論※			応用流体力学特論※
兼任	教授	大淵 朗 <令和2年4月>	兼任	教授	大淵 朗 <令和2年4月>
		代数構造特論			代数構造特論
兼任	教授	大山 陽介 <令和2年4月>	兼任	教授	大山 陽介 <令和2年4月>
		数学解析特論			数学解析特論
兼任	教授	小笠原 正道 <令和2年4月>	兼任	教授	小笠原 正道 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論			科学技術論D※ 物質化学特論※ 有機金属化学特論
兼任	教授	岡田 達也 <令和2年4月>	兼任	教授	岡田 達也 <令和2年4月>
		機械材料物性特論※			機械材料物性特論※
兼任	教授	岡村 英一 <令和2年4月>	兼任	教授	岡村 英一 <令和2年4月>
		物性化学特論※			物性化学特論※
兼任	教授	小川 宏樹 <令和2年4月>	兼任	教授	小川 宏樹 <令和2年4月>
		建築計画学特論			建築計画学特論
兼任	教授	奥嶋 政嗣 <令和2年4月>	兼任	教授	奥嶋 政嗣 <令和2年4月>
		データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※			データサイエンス 都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※
兼任	教授	小野 公輔 <令和2年4月>	兼任	教授	小野 公輔 <令和2年4月>
		データサイエンス 現象数理解析特論			データサイエンス 現象数理解析特論
兼任	教授	片山 真一 <令和2年4月>	兼任	教授	片山 真一 <令和2年4月>
		整数論特論			整数論特論
兼任	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>	兼任	教授	鎌田 磨人 <令和2年4月>
		科学技術論A※ グリーンインフラ論※			科学技術論A※ グリーンインフラ論※
兼任	教授	川田 昌武 <令和2年4月>	兼任	教授	川田 昌武 <令和2年4月>
		電力工学特論 電磁環境特論			電力工学特論 電磁環境特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	河田 佳樹 〈令和2年4月〉	兼任	教授	河田 佳樹 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 多元画像処理			データサイエンス 多元画像処理
兼任	教授	岸本 豊 〈令和2年4月〉	兼任	教授	岸本 豊 〈令和2年4月〉
		超伝導物質科学			超伝導物質科学
兼任	教授	北 研二 〈令和2年4月〉	兼任	教授	北 研二 〈令和2年4月〉
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	教授	木戸口 善行 〈令和2年4月〉	兼任	教授	木戸口 善行 〈令和2年4月〉
		エネルギー環境工学※			エネルギー環境工学※
兼任	教授	衣川 仁 〈令和2年4月〉	兼任	教授	衣川 仁 〈令和2年4月〉
		日本歴史文化特論			日本歴史文化特論
兼任	教授	木下 和彦 〈令和2年4月〉	兼任	教授	木下 和彦 〈令和2年4月〉
		科学技術論C※ 情報ネットワーク※			科学技術論C※ 情報ネットワーク※
兼任	教授	金 成海 〈令和2年4月〉	兼任	教授	金 成海 〈令和2年4月〉
		数理解析方法論			数理解析方法論
兼任	教授	久保 智裕 〈令和2年4月〉	兼任	教授	久保 智裕 〈令和2年4月〉
		制御理論特論			制御理論特論
兼任	教授	上月 康則 〈令和2年4月〉	兼任	教授	上月 康則 〈令和2年4月〉
		危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※			危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※
兼任	教授	後藤 信夫 〈令和2年4月〉	兼任	教授	後藤 信夫 〈令和2年4月〉
		科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※			科学技術論C※ 光通信システム工学特論※ フォトニックネットワーク※
兼任	教授	齊藤 隆仁 〈令和2年4月〉	兼任	教授	齊藤 隆仁 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 物性計測学			データサイエンス 物性計測学
兼任	教授	佐久間 亮 〈令和2年4月〉	兼任	教授	佐久間 亮 〈令和2年4月〉
		英語圏歴史文化特論			英語圏歴史文化特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 充宏 <令和2年4月>	兼任	教授	佐藤 充宏 <令和2年4月>
		健康社会特論			健康社会特論
兼任	教授	佐藤 裕 <令和2年4月>	兼任	教授	佐藤 裕 <令和2年4月>
		認知心理学特論 行動科学			認知心理学特論 行動科学
兼任	教授	獅々堀 正幹 <令和2年4月>	兼任	教授	獅々堀 正幹 <令和2年4月>
		科学技術論C※ マルチメディア工学※			科学技術論C※ マルチメディア工学※
兼任	教授	島本 隆 <令和2年4月>	兼任	教授	島本 隆 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 集積回路特論※			科学技術論D※ 集積回路特論※
兼任	教授	下村 直行 <令和2年4月>	兼任	教授	下村 直行 <令和2年4月>
		科学技術論D※ 高電圧工学特論			科学技術論D※ 高電圧工学特論
兼任	教授	杉山 茂 <令和2年4月>	兼任	教授	杉山 茂 <令和2年4月>
		科学技術論B※ 化学反応工学特論※			科学技術論B※ 化学反応工学特論※
兼任	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE <令和2年4月>	兼任	教授	STEPHENS (BLIGHT) MEREDITH ANNE <令和2年4月>
		言語コミュニケーション特論 グローバルコミュニケーションA			言語コミュニケーション特論 グローバルコミュニケーションA
兼任	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>	兼任	教授	高岩 昌弘 <令和2年4月>
		ロボット工学特論			ロボット工学特論
兼任	教授	高木 均 <令和2年4月>	兼任	教授	高木 均 <令和2年4月>
		材料工学※			材料工学※
兼任	教授	高田 篤 <令和2年4月>	兼任	教授	高田 篤 <令和2年4月>
		科学技術論D※ デジタル通信工学特論			科学技術論D※ デジタル通信工学特論
兼任	教授	高橋 晋一 <令和2年4月>	兼任	教授	高橋 晋一 <令和2年4月>
		地域文化特論 グローバル社会文化論			地域文化特論 グローバル社会文化論
兼任	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>	兼任	教授	高橋 浩樹 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 応用代数特論			科学技術論C※ 応用代数特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	高柳 俊夫 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	高柳 俊夫 ＜令和2年4月＞
		科学技術論B※ 分析・環境化学特論※			科学技術論B※ 分析・環境化学特論※
兼任	教授	竹内 敏己 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	竹内 敏己 ＜令和2年4月＞
		科学技術論C※ 計算数理特論			科学技術論C※ 計算数理特論
兼任	教授	堤 和博 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	堤 和博 ＜令和2年4月＞
		日本語文化特論			日本語文化特論
兼任	教授	出口 祥啓 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	出口 祥啓 ＜令和2年4月＞
		分子エネルギー遷移論			分子エネルギー遷移論
兼任	教授	寺田 賢治 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	寺田 賢治 ＜令和2年4月＞
		科学技術論C※ デザイン思考演習 画像応用工学 課題解決型インターンシップ (M)			科学技術論C※ デザイン思考演習 画像応用工学 課題解決型インターンシップ (M)
兼任	教授	豊田 哲也 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	豊田 哲也 ＜令和2年4月＞
		地域構造特論			地域構造特論
兼任	教授	直井 美貴 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	直井 美貴 ＜令和2年4月＞
		科学技術論D※ 光デバイス特論			科学技術論D※ 光デバイス特論
兼任	教授	長尾 文明 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	長尾 文明 ＜令和2年4月＞
		科学技術論A※ 耐風工学特論			科学技術論A※ 耐風工学特論
兼任	教授	永瀬 雅夫 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	永瀬 雅夫 ＜令和2年4月＞
		ナノエレクトロニクス特論			ナノエレクトロニクス特論
兼任	教授	中野 晋 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	中野 晋 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画（BCP）の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習
兼任	教授	中村 浩一 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	中村 浩一 ＜令和2年4月＞
		固体イオニクス			固体イオニクス
兼任	教授	中村 豊 ＜令和2年4月＞	兼任	教授	中村 豊 ＜令和2年4月＞
		日本歴史文化特論			日本歴史文化特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	西尾 芳文 <令和2年4月>	兼任	教授	西尾 芳文 <令和2年4月>
		回路工学特論※			回路工学特論※
兼任	教授	西野 秀郎 <令和2年4月>	兼任	教授	西野 秀郎 <令和2年4月>
		機械材料物性特論※			機械材料物性特論※
兼任	教授	任(中川) 福継 <令和2年4月>	兼任	教授	任(中川) 福継 <令和2年4月>
		科学技術論E※ 機械翻訳特論			科学技術論E※ 機械翻訳特論
兼任	教授	橋爪 正樹 <令和2年4月>	兼任	教授	橋爪 正樹 <令和2年4月>
		電子回路特論			電子回路特論
兼任	教授	橋本 親典 <令和2年4月>	兼任	教授	橋本 親典 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 建設材料物性特論			科学技術論A※ 建設材料物性特論
兼任	教授	蓮沼 徹 <令和2年4月>	兼任	教授	蓮沼 徹 <令和2年4月>
		離散数学特論			離散数学特論
兼任	教授	長谷崎 和洋 <令和2年4月>	兼任	教授	長谷崎 和洋 <令和2年4月>
		熱力学特論			熱力学特論
兼任	教授	馬場 俊孝 <令和2年4月>	兼任	教授	馬場 俊孝 <令和2年4月>
		津波解析特論			津波解析特論
兼任	教授	原口 雅宣 <令和2年4月>	兼任	教授	原口 雅宣 <令和2年4月>
		科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※			科学技術論C※ 光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※
兼任	教授	日野 順市 <令和2年4月>	兼任	教授	日野 順市 <令和2年4月>
		科学技術論A※ 振動工学特論			科学技術論A※ 振動工学特論
兼任	教授	福見 稔 <令和2年4月>	兼任	教授	福見 稔 <令和2年4月>
		ヒューマンセンシング			ヒューマンセンシング
兼任	教授	泓田 正雄 <令和2年4月>	兼任	教授	泓田 正雄 <令和2年4月>
		自然言語理解			自然言語理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	伏見 賢一 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論			科学技術論D※ 宇宙素粒子科学特論
兼任	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉	兼任	教授	古部 昭広 〈令和2年4月〉
		ナノ光計測工学 光機能材料・光デバイス論2※			ナノ光計測工学 光機能材料・光デバイス論2※
兼任	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉	兼任	教授	北條 昌秀 〈令和2年4月〉
		電気機器応用システム特論 電力システム特論			電気機器応用システム特論 電力システム特論
兼任	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉	兼任	教授	真壁 和裕 〈令和2年4月〉
		発生情報科学特論			発生情報科学特論
兼任	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	真岸 孝一 〈令和2年4月〉
		量子物性物理学			量子物性物理学
兼任	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松浦 健二 〈令和2年4月〉
		情報セキュリティシステム論※			情報セキュリティシステム論※
兼任	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松尾 義則 〈令和2年4月〉
		科学技術論D※ 集団遺伝学特論			科学技術論D※ 集団遺伝学特論
兼任	教授	松本 健志 〈令和2年4月〉	兼任	教授	松本 健志 〈令和2年4月〉
		バイオメカニカルデザイン※			バイオメカニカルデザイン※
兼任	教授	三浦 哉 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三浦 哉 〈令和2年4月〉
		応用生理学特論 行動科学			応用生理学特論 行動科学
兼任	教授	三隅 友子 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三隅 友子 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーション A			グローバルコミュニケーション A
兼任	教授	南川 慶二 〈令和2年4月〉	兼任	教授	南川 慶二 〈令和2年4月〉
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	教授	三好 徳和 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三好 徳和 〈令和2年4月〉
		有機合成化学特論 物質化学特論※			有機合成化学特論 物質化学特論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	三好 弘一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	三好 弘一 〈令和2年4月〉
		量子化学特論			量子化学特論
兼任	教授	武藤 裕則 〈令和2年4月〉	兼任	教授	武藤 裕則 〈令和2年4月〉
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※			応用水理学特論※ 流域水管理工学※ グリーンインフラ論※
兼任	教授	村上 敬一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	村上 敬一 〈令和2年4月〉
		地域言語特論			地域言語特論
兼任	教授	村上 公一 〈令和2年4月〉	兼任	教授	村上 公一 〈令和2年4月〉
		非線形現象解析特論			非線形現象解析特論
兼任	教授	森賀 俊広 〈令和2年4月〉	兼任	教授	森賀 俊広 〈令和2年4月〉
		科学技術論B※ 材料科学特論※			科学技術論B※ 材料科学特論※
兼任	教授	守安 一峰 〈令和2年4月〉	兼任	教授	守安 一峰 〈令和2年4月〉
		力学系数理解特論			力学系数理解特論
兼任	教授	安井 武史 〈令和2年4月〉	兼任	教授	安井 武史 〈令和2年4月〉
		非破壊計測学※			非破壊計測学※
兼任	教授	安澤 幹人 〈令和2年4月〉	兼任	教授	安澤 幹人 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※			グローバルコミュニケーションB グローバルコミュニケーションC 科学技術論E※ 物理化学特論※
兼任	教授	安野 卓 〈令和2年4月〉	兼任	教授	安野 卓 〈令和2年4月〉
		制御応用工学特論			制御応用工学特論
兼任	教授	矢部 拓也 〈令和2年4月〉	兼任	教授	矢部 拓也 〈令和2年4月〉
		地域社会特論			地域社会特論
兼任	教授	山口 鉄生 〈令和2年4月〉	兼任	教授	山口 鉄生 〈令和2年4月〉
		健康科学特論			健康科学特論
兼任	教授	山口 裕之 〈令和2年4月〉	兼任	教授	山口 裕之 〈令和2年4月〉
		応用倫理学特論			応用倫理学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	山中 英生 〈令和2年4月〉	兼任	教授	山中 英生 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスクコミュニケーション※ 都市交通計画特論※ 都市・地域計画論※			科学技術論A※ ビジネスモデル特論 リスクコミュニケーション※ 都市交通計画特論 都市・地域計画論
兼任	教授	米倉 大介 〈令和2年4月〉	兼任	教授	米倉 大介 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 材料強度学特論			科学技術論A※ 材料強度学特論
兼任	教授	依岡 隆児 〈令和2年4月〉	兼任	教授	依岡 隆児 〈令和2年4月〉
		グローバル社会文化論 ヨーロッパ文化特論			グローバル社会文化論 ヨーロッパ文化特論
兼任	教授	渡部 稔 〈令和2年4月〉	兼任	教授	渡部 稔 〈令和2年4月〉
		生命情報科学特論			生命情報科学特論
兼任	准教授	敷 金平 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	敷 金平 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 電子デバイス特論			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 電子デバイス特論
兼任	准教授	青矢 睦月 (49) 〈令和2年4月〉 博士（理学）	兼任	准教授	青矢 睦月 (49) 〈令和2年4月〉 博士（理学）
		岩石・鉱物学特論			岩石・鉱物学特論
兼任	准教授	新田 元規 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	新田 元規 〈令和2年4月〉
		アジア文化特論			アジア文化特論
兼任	准教授	ナカガイト ノリオ アントニ オ 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	ナカガイト ノリオ アントニ オ 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 材料工学※			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 材料工学※
兼任	准教授	池田 建司 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	池田 建司 〈令和2年4月〉
		情報ネットワーク※			情報ネットワーク※
兼任	准教授	上野 勝利 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上野 勝利 〈令和2年4月〉
		地盤力学特論			地盤力学特論
兼任	准教授	上原 克之 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上原 克之 〈令和2年4月〉
		法学特論			法学特論
兼任	准教授	内海（宮川）千種 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	内海（宮川）千種 〈令和2年4月〉
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開） 危機管理学			学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開） 危機管理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	宇野 剛史 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	宇野 剛史 〈令和2年4月〉
		確率計画法特論			確率計画法特論
兼任	准教授	上手 洋子 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上手 洋子 〈令和2年4月〉
		回路工学特論※			回路工学特論※
兼任	准教授	大石 篤哉 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大石 篤哉 〈令和2年4月〉
		データサイエンス 計算力学特論			データサイエンス 計算力学特論
兼任	准教授	大石 昌嗣 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大石 昌嗣 〈令和2年4月〉
		エネルギー環境工学※			エネルギー環境工学※
兼任	准教授	大沼 正樹 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大沼 正樹 〈令和2年4月〉
		函数方程式特論			函数方程式特論
兼任	准教授	大野 恭秀 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	大野 恭秀 〈令和2年4月〉
		デバイスプロセス特論			デバイスプロセス特論
兼任	准教授	岡本 敏弘 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	岡本 敏弘 〈令和2年4月〉
		光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※			光物性工学※ フォトニックデバイス※ 光機能材料・光デバイス論1※
兼任	准教授	掛井 秀一 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	掛井 秀一 〈令和2年4月〉
		空間デザイン特論			空間デザイン特論
兼任	准教授	加藤 雅裕 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	加藤 雅裕 (52) 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		化学反応工学特論※			化学反応工学特論※
兼任	准教授	河口 洋一 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	河口 洋一 〈令和2年4月〉
		環境生態学特論			環境生態学特論
兼任	准教授	川崎 祐 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	川崎 祐 〈令和2年4月〉
		強相関物質科学			強相関物質科学
兼任	准教授	河原崎 貴光 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	河原崎 貴光 〈令和2年4月〉
		アート表現特論			アート表現特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	岸川 博紀 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	岸川 博紀 ＜令和2年4月＞
		光通信システム工学特論※ フォトリソグラフィ※			光通信システム工学特論※ フォトリソグラフィ※
兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	GUENTHER DIERK CLEMENS ＜令和2年4月＞
		グローバル社会文化論			グローバル社会文化論
兼任	准教授	熊坂 元大 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	熊坂 元大 ＜令和2年4月＞
		応用倫理学特論			応用倫理学特論
兼任	准教授	コインカー バンカジ ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	コインカー バンカジ ＜令和2年4月＞
		グローバルコミュニケーション B グローバルコミュニケーション C 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※			グローバルコミュニケーション B グローバルコミュニケーション C 科学技術論E※ ナノ材料工学 光機能材料・光デバイス論2※
兼任	准教授	越山 顕一郎 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	越山 顕一郎 ＜令和2年4月＞
		バイオマテリアル※			バイオマテリアル※
兼任	准教授	小田切 康彦 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	小田切 康彦 ＜令和2年4月＞
		公共政策特論			公共政策特論
兼任	准教授	佐藤 高則 ＜令和2年4月＞			
		生物化学特論			
兼任	准教授	佐野 雅彦 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	佐野 雅彦 ＜令和2年4月＞
		情報セキュリティシステム論※			情報セキュリティシステム論※
兼任	准教授	佐原 理 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	佐原 理 ＜令和2年4月＞
		映像デザイン特論			映像デザイン特論
兼任	准教授	SCHIEDGES OLAF ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	SCHIEDGES OLAF ＜令和2年4月＞
		日本文化特論			日本文化特論
兼任	准教授	重光 亨 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	重光 亨 ＜令和2年4月＞
		応用流体力学特論※			応用流体力学特論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	蔦 景彩 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	蔦 景彩 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 斜面減災工学特論			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 斜面減災工学特論
兼任	准教授	鈴木 良尚 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	鈴木 良尚 〈令和2年4月〉
		物性化学特論※			物性化学特論※
兼任	准教授	宋 天 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	宋 天 〈令和2年4月〉
		データサイエンス グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 集積回路特論※			データサイエンス グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 集積回路特論※
兼任	准教授	田口 太郎 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	田口 太郎 〈令和2年4月〉
		地域計画学特論			地域計画学特論
兼任	准教授	田中 佳 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	田中 佳 〈令和2年4月〉
		ヨーロッパ文化特論			ヨーロッパ文化特論
兼任	准教授	田村 隆雄 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	田村 隆雄 〈令和2年4月〉
		応用水理学特論※ 流域水管理工学※			応用水理学特論※ 流域水管理工学※
兼任	准教授	趙 彤 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	趙 彤 〈令和2年4月〉
		経済学特論			経済学特論
兼任	准教授	塚本 章宏 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	塚本 章宏 〈令和2年4月〉
		空間情報科学特論			空間情報科学特論
兼任	准教授	土屋 敦 〈令和2年4月〉			
		福祉社会特論			
兼任	准教授		兼任	准教授	渡邊 克典 〈令和2年4月〉
					福祉社会特論
兼任	准教授	寺西 研二 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	寺西 研二 〈令和2年4月〉
		プラズマ応用工学特論			プラズマ応用工学特論
兼任	准教授	富田 卓朗 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	富田 卓朗 〈令和2年4月〉
		光材料科学特論			光材料科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	富塚 昌輝 <令和2年4月>			
		日本語文化特論			
			兼任	准教授	河田 和子 (令和2年4月)
					日本語文化特論
兼任	准教授	内藤 直樹 <令和2年4月>	兼任	准教授	内藤 直樹 <令和2年4月>
		グローバル文化特論 国際協力論			グローバル文化特論 国際協力論
兼任	准教授	中島 浩二 <令和2年4月>	兼任	准教授	中島 浩二 <令和2年4月>
		言語コミュニケーション特論			言語コミュニケーション特論
兼任	准教授	中田 成智 <令和2年4月>	兼任	准教授	中田 成智 <令和2年4月>
		耐震工学特論			耐震工学特論
兼任	准教授	永田 裕一 <令和2年4月>	兼任	准教授	永田 裕一 <令和2年4月>
		自律知能システム			自律知能システム
兼任	准教授	中塚 健太郎 <令和2年4月>	兼任	准教授	中塚 健太郎 <令和2年4月>
		健康心理学特論			健康心理学特論
兼任	准教授	中山 慎一 <令和2年4月>	兼任	准教授	中山 慎一 <令和2年4月>
		組合せ最適化特論			組合せ最適化特論
兼任	准教授	名田 諒 <令和2年4月>	兼任	准教授	名田 諒 <令和2年4月>
		燃焼工学			燃焼工学
兼任	准教授	鍋島 克輔 <令和2年4月>	兼任	准教授	鍋島 克輔 <令和2年4月>
		数式処理特論			数式処理特論
兼任	准教授	滑川 達 <令和2年4月>	兼任	准教授	滑川 達 <令和2年4月>
		プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント
兼任	准教授	西野 克志 <令和2年4月>	兼任	准教授	西野 克志 <令和2年4月>
		半導体工学特論			半導体工学特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	西山 賢一 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	西山 賢一 ＜令和2年4月＞
		環境・防災地質学特論			環境・防災地質学特論
兼任	准教授	樋口 直人 ＜令和2年4月＞			
		グローバル社会特論			
兼任	准教授	平野 朋広 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	平野 朋広 ＜令和2年4月＞
		立体化学特論※			立体化学特論※
兼任	准教授	深貝 暢良 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	深貝 暢良 ＜令和2年4月＞
		微分方程式特論			微分方程式特論
兼任	准教授	堀河 俊英 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	堀河 俊英 ＜令和2年4月＞
		分離工学特論			分離工学特論
兼任	准教授	水野 義紀 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	水野 義紀 ＜令和2年4月＞
		代数学特論			代数学特論
兼任	准教授	南川 丈夫 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	南川 丈夫 ＜令和2年4月＞
		分光計測学			分光計測学
兼任	准教授	三輪 昌史 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	三輪 昌史 ＜令和2年4月＞
		アクチュエータ理論			アクチュエータ理論
兼任	准教授	村井 啓一郎 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	村井 啓一郎 ＜令和2年4月＞
		材料科学特論※			材料科学特論※
兼任	准教授	森田 和宏 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	森田 和宏 ＜令和2年4月＞
		自然言語理解			自然言語理解
兼任	准教授	山内 暁彦 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	山内 暁彦 ＜令和2年4月＞
		英語圏文化特論			英語圏文化特論
兼任	准教授	山田（乾） 仁子 ＜令和2年4月＞	兼任	准教授	山田（乾） 仁子 ＜令和2年4月＞
		言語コミュニケーション特論			言語コミュニケーション特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	山本 孝 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	山本 孝 〈令和2年4月〉
		環境物理化学特論 物質化学特論※			環境物理化学特論 物質化学特論※
兼任	准教授	横谷 謙次 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	横谷 謙次 〈令和2年4月〉
		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）			家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）
兼任	准教授	吉田 文美 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	吉田 文美 〈令和2年4月〉
		英語圏文化特論			英語圏文化特論
兼任	准教授	渡邊 健 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	渡邊 健 〈令和2年4月〉
		鉄筋コンクリート工学特論※			鉄筋コンクリート工学特論※
兼任	講師	芥川 正武 〈令和2年4月〉	兼任	講師	芥川 正武 〈令和2年4月〉
		生体工学特論※			生体工学特論※
兼任	講師	石川 真志 〈令和2年4月〉	兼任	講師	石川 真志 〈令和2年4月〉
		科学技術論A※ 生産システム論			科学技術論A※ 生産システム論
兼任	講師	伊藤（大淵） 桃代 〈令和2年4月〉	兼任	講師	伊藤（大淵） 桃代 〈令和2年4月〉
		ヒューマンセンシング			ヒューマンセンシング
兼任	講師	犬飼 宗弘 〈令和2年4月〉	兼任	講師	犬飼 宗弘 〈令和2年4月〉
		磁気共鳴科学			磁気共鳴科学
兼任	講師	上野 雅晴 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	上野 雅晴 〈令和2年4月〉
		グリーンケミストリー特論 物質化学特論※			グリーンケミストリー特論 物質化学特論※
兼任	講師	浮田 浩行 〈令和2年4月〉	兼任	講師	浮田 浩行 〈令和2年4月〉
		デジタル制御論			デジタル制御論
兼任	講師	榎本 崇宏 〈令和2年4月〉	兼任	講師	榎本 崇宏 〈令和2年4月〉
		生体工学特論※			生体工学特論※
兼任	講師	大野 将樹 〈令和2年4月〉	兼任	講師	大野 将樹 〈令和2年4月〉
		マルチメディア工学※			マルチメディア工学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	岡本 邦也 〈令和2年4月〉	兼任	講師	岡本 邦也 〈令和2年4月〉
		応用解析学特論			応用解析学特論
兼任	講師	押村 美幸 〈令和2年4月〉	兼任	講師	押村 美幸 〈令和2年4月〉
		高分子化学特論※			高分子化学特論※
兼任	講師	折戸（窪） 玲子 〈令和2年4月〉	兼任	講師	折戸（窪） 玲子 〈令和2年4月〉
		宇宙線計測学特論			宇宙線計測学特論
兼任	講師	カルンガル ステファイン ギ ディンシ 〈令和2年4月〉	兼任	講師	カルンガル ステファイン ギ ディンシ 〈令和2年4月〉
		グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学			グローバルコミュニケーション B 科学技術論E※ 画像応用工学
兼任	講師	北岡 和義 〈令和2年4月〉	兼任	講師	北岡 和義 〈令和2年4月〉
		デザイン思考演習			デザイン思考演習
兼任	講師	日下 一也 〈令和2年4月〉	兼任	講師	日下 一也 〈令和2年4月〉
		非破壊計測学※			非破壊計測学※
兼任	講師	甲田 宗良 〈令和2年4月〉	兼任	講師	甲田 宗良 〈令和2年4月〉
		産業・労働分野に関する理論と 支援の展開			産業・労働分野に関する理論と 支援の展開
兼任	講師	佐藤 克也 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	佐藤 克也 〈令和2年4月〉
		バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※			バイオメカニカルデザイン※ バイオマテリアル※
兼任	講師	白根 竹人 〈令和2年4月〉	兼任	講師	白根 竹人 〈令和2年4月〉
		幾何学特論			幾何学特論
兼任	講師	津村 秀樹 〈令和2年4月〉	兼任	講師	津村 秀樹 〈令和2年4月〉
		心の健康教育に関する理論と実 践			心の健康教育に関する理論と実 践
兼任	講師	中村 光裕 〈令和2年4月〉	兼任	講師	中村 光裕 〈令和2年4月〉
		有機機能性物質化学特論 物質化学特論※			有機機能性物質化学特論 物質化学特論※
兼任	講師	西内 優騎 〈令和2年4月〉	兼任	講師	西内 優騎 〈令和2年4月〉
		有機化学特論			有機化学特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 〈就任（予定）年月〉
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	西出 俊 〈令和2年4月〉	兼任	講師	西出 俊 〈令和2年4月〉
		機械翻訳特論			機械翻訳特論
兼任	講師	島 一樹 〈令和2年4月〉	兼任	講師	島 一樹 〈令和2年4月〉
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	久田 旭彦 〈令和2年4月〉	兼任	講師	久田 旭彦 〈令和2年4月〉
		極限環境物性学			極限環境物性学
兼任	講師	水口 仁志 〈令和2年4月〉	兼任	講師	水口 仁志 〈令和2年4月〉
		分析・環境化学特論※			分析・環境化学特論※
兼任	講師	水科 晴樹 〈令和2年4月〉	兼任	講師	水科 晴樹 〈令和2年4月〉
		ディスプレイ論 視覚情報処理			ディスプレイ論 視覚情報処理
兼任	講師	溝淵 啓 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	溝淵 啓 〈令和2年4月〉
		生産加工学※			生産加工学※
兼任	講師	光原 弘幸 〈令和2年4月〉	兼任	准教授	光原 弘幸 〈令和2年4月〉
		マルチメディア工学※			マルチメディア工学※
兼任	講師	山中 亮一 〈令和2年4月〉	兼任	講師	山中 亮一 〈令和2年4月〉
		防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※			防災危機管理実習 行政・企業防災・危機管理実務 演習 ミテゲーション工学※
兼任	講師	吉田 健 〈令和2年4月〉	兼任	講師	吉田 健 〈令和2年4月〉
		物理化学特論※			物理化学特論※
兼任	講師	吉田 稔 〈令和2年4月〉	兼任	講師	吉田 稔 〈令和2年4月〉
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	助教	油井 毅 〈令和2年4月〉	兼任	助教	油井 毅 〈令和2年4月〉
		デザイン思考演習			デザイン思考演習
兼任	助教	伊藤 伸一 〈令和2年4月〉	兼任	講師	伊藤 伸一 〈令和2年4月〉
		科学技術論C※ ヒューマンセンシング			科学技術論C※ ヒューマンセンシング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	尾野(岩切) 薫 <令和2年4月>			
		都市交通計画特論※ 都市・地域計画論※			
兼任	助教	金井 純子 <令和2年4月>	兼任	助教	金井 純子 <令和2年4月>
		デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※			デザイン思考演習 リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	助教	康 轟 <令和2年4月>	兼任	助教	康 轟 <令和2年4月>
		データサイエンス 機械翻訳特論			データサイエンス 機械翻訳特論
兼任	助教	笹尾 和世 <令和2年4月>			
		ビジネスモデル特論			
兼任	助教	谷岡 広樹 <令和2年4月>	兼任	助教	谷岡 広樹 <令和2年4月>
		データサイエンス 情報セキュリティシステム論※			データサイエンス 情報セキュリティシステム論※
兼任	助教	松本 和幸 <令和2年4月>	兼任	准教授	松本 和幸 <令和2年4月>
		言語モデル論※			言語モデル論※
兼任	助教	山本 祐平 <令和2年4月>	兼任	講師	山本 祐平 <令和2年4月>
		環境無機化学特論※ 物質化学特論※			環境無機化学特論※ 物質化学特論※
兼任	助教	湯浅 恭史 <令和2年4月>	兼任	助教	湯浅 恭史 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※ 行政・企業防災・危機管理実務演習
兼任	助教	渡辺 公次郎 <令和2年4月>	兼任	准教授	渡辺 公次郎 <令和2年4月>
		都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※			都市交通システム計画※ 都市地域情報システム※ グリーンインフラ論※
兼任	講師	青木 正繁 <令和2年4月>	兼任	講師	青木 正繁 <令和2年4月>
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	磯打 千雅子 <令和2年4月>	兼任	講師	磯打 千雅子 <令和2年4月>
		危機管理学※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※			危機管理学※ 事業継続計画(BCP)の策定と実践※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	市岡 沙織 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	市岡 沙織 ＜令和2年4月＞
		食料生物科学特別実習※ 食料生物科学特別講義※			食料生物科学特別実習※ 食料生物科学特別講義※
兼任	講師	伊藤 民武 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	伊藤 民武 ＜令和2年4月＞
		光機能材料・光デバイス論2※			光機能材料・光デバイス論2※
兼任	講師	井面 仁志 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	井面 仁志 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
			兼任	講師	井善 和久 ＜令和2年4月＞
					ミテゲーション工学※
兼任	講師	上岡 義典 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	上岡 義典 ＜令和2年4月＞
		学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)			学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)
			兼任	講師	大喜多 一範 ＜令和2年4月＞
					デザイン思考演習
兼任	講師	梶谷 義雄 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	梶谷 義雄 ＜令和2年4月＞
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	黒崎 ひろみ ＜令和2年4月＞	兼任	講師	黒崎 ひろみ ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	黒田 泰弘 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	黒田 泰弘 ＜令和2年4月＞
		メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※			メンタルヘルスケア※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※
			兼任	講師	小山 博幸 ＜令和2年4月＞
					デザイン思考演習
兼任	講師	坂本 考史 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	坂本 考史 ＜令和2年4月＞
		光機能材料・光デバイス論1※			光機能材料・光デバイス論1※
			兼任	講師	志方 寛之 ＜令和2年4月＞
					デザイン思考演習
兼任	講師	白木 渡 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	白木 渡 ＜令和2年4月＞
		危機管理学※			危機管理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高木 和彦 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	高木 和彦 ＜令和2年4月＞
		生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※			生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※
兼任	講師	高原 龍二 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	高原 龍二 ＜令和2年4月＞
		産業・労働分野に関する理論と 支援の展開			産業・労働分野に関する理論と 支援の展開
兼任	講師	立川 進 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	立川 進 ＜令和2年4月＞
		生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※			生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※
			兼任	講師	高山 幸秀 ＜令和2年4月＞
					言語モデル論※
			兼任	講師	津田 和彦 ＜令和2年4月＞
					自然言語理解
兼任	講師	長濱 慎一 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	長濱 慎一 ＜令和2年4月＞
		光機能材料・光デバイス論1※			光機能材料・光デバイス論1※
兼任	講師	根来 慎太郎 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	根来 慎太郎 ＜令和2年4月＞
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	野田 優子 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	野田 優子 ＜令和2年4月＞
		応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別講義※			応用生命科学特別実習※ 応用生命科学特別講義※
兼任	講師	野々村 敦子 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	野々村 敦子 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※			リスクコミュニケーション※ 危機管理学※
兼任	講師	萩池 昌信 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	萩池 昌信 ＜令和2年4月＞
		リスクコミュニケーション※ 危機管理学※ メンタルヘルスクエア※ 防災危機管理実習 事業継続計画（BCP）の策定と実践※			危機管理学※ メンタルヘルスクエア※ 防災危機管理実習 事業継続計画（BCP）の策定と実践※ 行政・企業のリスクマネジメント※
兼任	講師	坂東 淳 ＜令和2年4月＞	兼任	講師	坂東 淳 ＜令和2年4月＞
		行政・企業のリスクマネジメント※			行政・企業のリスクマネジメント※
			兼任	講師	平井 研 ＜令和2年4月＞
					ミテゲーション工学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	平石 香奈子 <令和2年4月>	兼任	講師	平石 香奈子 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※			リスクコミュニケーション※
兼任	講師	平尾 智広 <令和2年4月>	兼任	講師	平尾 智広 <令和2年4月>
		メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※			メンタルヘルスケア※ 行政・企業のリスクマネジメント※ 防災危機管理実習
兼任	講師	藤澤 一仁 <令和2年4月>	兼任	講師	藤澤 一仁 <令和2年4月>
		防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※			防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※
兼任	講師	前田 康人 <令和2年4月>	兼任	講師	前田 康人 <令和2年4月>
		食料生物学特別実習※ 食料生物学特別講義※			食料生物学特別実習※ 食料生物学特別講義※
兼任	講師	松本 秀應 <令和2年4月>	兼任	講師	松本 秀應 <令和2年4月>
		リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※			リスクコミュニケーション※ 防災危機管理実習 行政・企業のリスクマネジメント※ 事業継続計画 (BCP) の策定と実践※
兼任	講師	水ノ上智邦 <令和2年4月>	兼任	講師	水ノ上智邦 <令和2年4月>
		国際経済特論			国際経済特論
兼任	講師	向井 孝志 <令和2年4月>	兼任	講師	向井 孝志 <令和2年4月>
		光機能材料・光デバイス論1※			光機能材料・光デバイス論1※
兼任	講師	森 伸一郎 <令和2年4月>	兼任	講師	森 伸一郎 <令和2年4月>
		危機管理学※			危機管理学※
兼任	講師	森 卓史 <令和2年4月>	兼任	講師	森 卓史 <令和2年4月>
		ビジネスモデル特論			ビジネスモデル特論
兼任	講師	盛田 隆行 <令和2年4月>	兼任	講師	盛田 隆行 <令和2年4月>
		食料生物学特別実習※ 食料生物学特別講義※			食料生物学特別実習※ 食料生物学特別講義※
兼任	講師	森田 文雄 <令和2年4月>	兼任	講師	森田 文雄 <令和2年4月>
		生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※			生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※
			兼任	講師	山本 秀一 <令和2年4月>
					ミテゲーション工学※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	横石 知二 <令和2年4月>	兼任	講師	横石 知二 <令和2年4月>
		生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※			生物生産科学特別実習※ 生物生産科学特別講義※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・服部武文准教授、令和2年4月教授に昇任。(令和2年2月教員審査済)・中橋睦美助教、令和2年4月改姓。(栗飯原に改姓) |
|--|

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6 名	4 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	15	7	9	44	0	14	14	7	9	44	0
(14)	(14)	(7)	(9)	(44)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
33	2	9				33	2	9			
(33)	(2)	(9)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
14	14	7	9	44	0	15	14	7	8	44	0
[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[△1]	[0]	[△1]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
33	2	9				34	2	8			
[0]	[0]	[0]							[1]	[0]	[△1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{44}{44} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{44} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{44} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	1 研究科として設置する必要性の一つとして、「研究分野を超えた修士論文指導体制」を掲げており、その手法として、副指導教員及びアドバイザー教員を、他専攻・他コースの教員が柔軟に選任するとしており、着実な履行が求められる。また、アドバイザー教員がどのような役割をするのかについては、学生に対して分かりやすく周知すること。【4 専攻共通】	遵守事項 生物資源学専攻においては、副指導教員及びアドバイザー教員を他専攻・他コースの教員から適任者を柔軟に選任することとしており、令和2年度については、他コースの教員を副指導教員及びアドバイザー教員に選任した。なお、学生に対して、入学時の大学院オリエンテーション時に副指導教員及びアドバイザー教員の役割について分かりやすく説明を行った。また、生物資源産業学部・生物資源学専攻ホームページ（シート6参考資料①）にも副指導教員及びアドバイザー教員の役割を明記している、徳島大学大学院研究指導ガイドライン（シート6参考資料②）を掲載し、周知している。	履行済
	研究科代議員の各専攻からの選考方法は公平性と透明性を担保される方策の充実に努めること。【4 専攻共通】	遵守事項 研究科代議員は、「徳島大学大学院創成科学研究科代議員会内規」（シート6参考資料③）第2条に基づき、各専攻の副専攻長、コース長など、公平性と透明性を担保された方法で選出された者により構成され、各専攻の代議員数に偏りがないよう組織されている。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院創成科学研究科 生物資源学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 徳島大学生物資源産業学部教務委員会
- ・ 徳島大学生物資源産業学部学生委員会
- ・ 徳島大学生物資源産業学部FD委員会
- ・ 徳島大学生物資源産業学部入学試験委員会
- ・ 徳島大学生物資源産業学部自己点検・評価委員会
(規則是別紙のとおり)

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 徳島大学生物資源産業学部教務委員会
令和2年4月に3回開催（委員5名のうち、毎回5名が参加）
5月以降必要に応じて開催（委員5名）
- ・ 徳島大学生物資源産業学部学生委員会
令和2年4月に1回開催（委員5名のうち、5名が参加）
5月以降必要に応じて開催（委員5名）
- ・ 徳島大学生物資源産業学部FD委員会
年数回必要に応じて開催（委員5名）
- ・ 徳島大学生物資源産業学部入学試験委員会
令和2年4月に1回開催（委員6名のうち、6名が参加）
- ・ 徳島大学生物資源産業学部自己点検・評価委員会
年数回必要に応じて開催予定（委員8名）

c 委員会の審議事項等

別紙規則のとおり

② 実施状況

a 実施内容

- ・ WEB利用のラーニングポートフォリオ勉強会
- ・ 授業設計ワークショップ
- ・ 授業参観

b 実施方法

全学FD委員会と各専攻が連携して、講演会、研修会を実施する。
在学生にアンケートを実施し、結果を分析する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

部局FD

- ・部局FD活動は令和2年5月1日現在未実施であるが、今後実施予定である。

全学FD

- ・全学FD遠隔講義ツール説明会（開催：令和2年4月6日 参加者：225人）
- ・すぐ使える90分セミナー「学生の学習を促す質問の作り方」（開催：令和2年4月23日 参加者：10人）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・開催した講演会等の内容や学生アンケートの結果を反映させた授業改善に取り組む予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期の全ての授業が終了した時点で実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各授業科目の担当責任者の教員へ結果を報告し、教員はアンケート結果に対応した授業の改善案を作成し、FD委員会へ提出する。学生へはアンケート結果をHPで公表する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するため、計画に基づき実施している。今後更なる教育・研究の水準向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年度 公表予定

b 公表方法

・徳島大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・徳島大学は、令和元年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、その結果「大学評価基準を満たしており、内部質保証が優れて機能している。」と判定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。